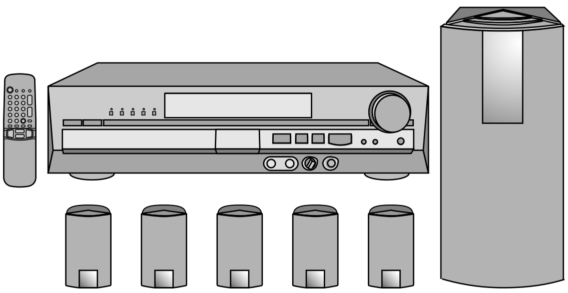
Panasonic®



DVD ホームシアターサウンドシステム
取扱説明書

品番 SC-HT100



保証書別添付

上手に使って上手に節電

このたびは、DVD ホームシアターサウンドシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVD VIDEO
COMPACT disc DIGITAL VIDEO

RQT5524-S

リージョン番号について

リージョン番号とは、発売地域ごとに DVD のソフトと機器に割り当てられた番号です。

- **本機のリージョン番号は「2」です。**
- **本機は「2」(または「2」を含むもの) と「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。**

ディスクについて

○ 本機で再生できるディスク

DVD VIDEO / DVD VIDEO / COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO

× 本機で再生できないディスク

- リージョン番号に「2」または「ALL」の含まれない DVD ビデオディスク
- DVD オーディオディスク
- PAL 方式で記録されたディスク
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- CD-ROM
- CDV
- CD-RW
- SACD
- CD-R
- DVD-R
- DVD+RW
- VSD
- CD-G
- CVD
- SVCD
- フォト CD　など

本書で使用しているディスク記号について

ディスクの種類によって、使える機能が異なります。
本書では以下の記号を用いて、その説明箇所に当てはまるディスクを表わしています。

DVD	DVD で楽しめる機能です。
VCD	ビデオ CD で楽しめる機能です。
CD	音楽 CD で楽しめる機能です。

ディスクによっては、これらの記号が付いている操作でも、できないものがあります。

DVD、ビデオCDのなかには、ディスク側の制約により、本書の記載どおりに動作しないものがあります。
ディスクのジャケットなども合わせてご参照ください。

もくじ

ご使用前に

使いかた

必要なとき

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

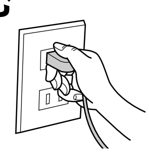
- 感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



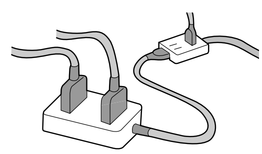
- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

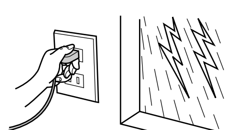


- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止



- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

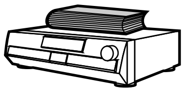
- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない



- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
- 本機上面・後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの重いものを載せない**
- **取扱説明書に記載されている以外の方法で壁などへ取り付けない**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

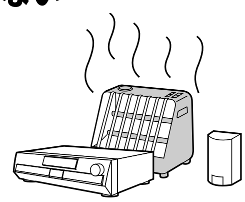
スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



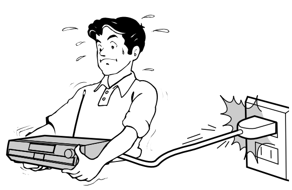
- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

使用方法

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

コードを接続した状態で移動しない



- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

ディスク挿入口の奥には手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

機器に乗らない



- 倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

電池について

電池は正しく取り扱う

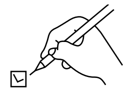
- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使い方をしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない。**
- **被覆のはがれた電池は使用しない**

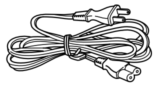
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品



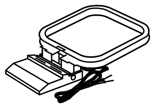
設置・接続のまえに、まず付属品を確かめてください。

□ 電源コード ....1 本



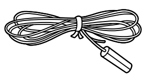
（品番：RJA0059-J）

□ AM ループアンテナ ....1 個



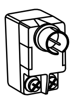
（品番：RSA0033）

□ FM 簡易型アンテナ ....1 本



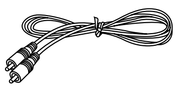
（品番：RSA0007）

□ FM アンテナアダプター ....1 個



（品番：RFE0014）

□ ビデオコード ....1 本



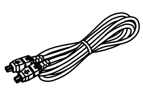
（品番：RJL1P016B15A）

□ オプティカルデジタルケーブル ......1 本



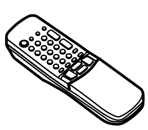
（品番：RJL1X011B15）

□ i.LINKケーブル ....1 本



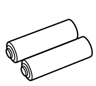
（品番：K1HA04DB0002）

□ リモコン ....1 個

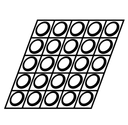


（品番：EUR51983）

□ リモコン用単 3 形乾電池 ....2 個



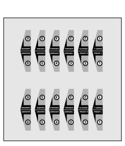
□ スピーカー用ゴム足 .....1シート (25 個)



（品番：RFA0631A-K）

※買い替え時のサービス供給品は 1 シート (4 個) です。

□ スピーカー用シール ......1 シート (2 組)

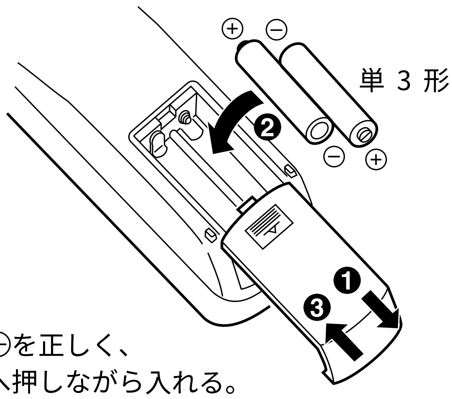


※ 1 組を予備として、お使いください。サービス供給品はありません。

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
カッコ（　）内は買い替え時の品番です。

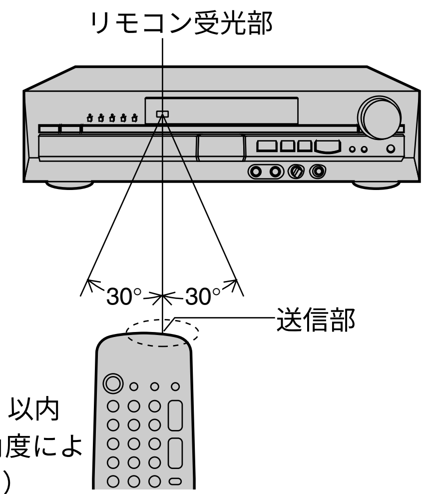
リモコンの準備

乾電池の入れかた



⊕と⊖を正しく、
⊖側へ押しながら入れる。

リモコンの使いかた



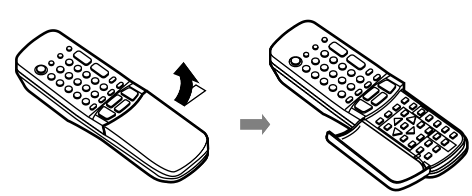
正面で約 7 m 以内
（使用範囲は角度により異なります。）

使用上のお願い
- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部とリモコンの先端のほこりに注意。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。

故障防止のために
- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

本体をラックに入れて使用するとき
ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

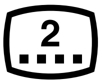
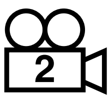
リモコンのふたの開けかた



DVD の表示／カラオケディスクについて

DVD の表示について

DVD ビデオディスクのジャケットの裏には、次のような表示があります。

リージョン番号 	著作権保護のために設定された地域限定番号です。 ディスクの番号と機器の番号が一致していないと再生できません。 本機で再生できるディスクは「2」(または「2」を含むもの) と「ALL」の表示のあるディスクです。
音声トラック数 **音声記録方式**  1:オリジナル(英語)(5.1chサラウンド) 2:日本語(5.1chサラウンド)	数字は音声トラックが何種類記録されているかを表わしています。右側に記載されているのは、そのトラックに収録されている言語と記録方式です。 表示例は、英語と日本語の 2 種類の言語の記録があり、それらが、Dolby Digital 5.1 チャンネルで記録されていることを表わしています。
字幕  1:日本語字幕 2:英語字幕	収録されている字幕の数と、その言語を表わします。 表示例は、日本語字幕と、英語字幕の 2 種類で記録されていることを表わしています。
マルチアングル 	マルチアングルのディスクであることを表わしています。また、数字は、何種類のアングルで記録されているかを表わします。
画面サイズ	どのような画面サイズで記録されているかを表わします。
4:3	4：3 画面サイズで記録されています。
LB	レターボックス (4：3 で上下に帯が入っている画面) で記録されています。
16:9 LB	ワイドテレビではワイド画像を、4：3 のテレビではレターボックスサイズ画像を楽しめるように記録されています。
16:9 PS	ワイドテレビではワイド画像を、4：3 のテレビでは左右をカットした 4：3 の画像を楽しめるように記録されています。

カラオケディスクについて

DVD

カラオケ用のDVDにはいくつかの種類があります。

●例のように、カラオケ用の成分が各チャンネルに分けて記録されているディスク

⇒16 ～18ページの方法で操作してください。

音声番号 1	
1ch	ステレオ伴奏 (左)
2ch	ステレオ伴奏 (右)
3ch	ガイドメロディー
4ch	模範歌唱 1
5ch	模範歌唱 2

●カラオケ用の音声とボーカル入りの音声が別々に記録されているディスク

[音声]を押して切り換えます。⇒26ページ

●ボイスミュートを使ってカラオケを楽しめるディスクもあります。⇒18ページ

ビデオCD

⇒16、17 または18ページの方法で操作してください。

スピーカーの接続

※別添チラシ “スピーカーの設置と接続について” もご覧ください。

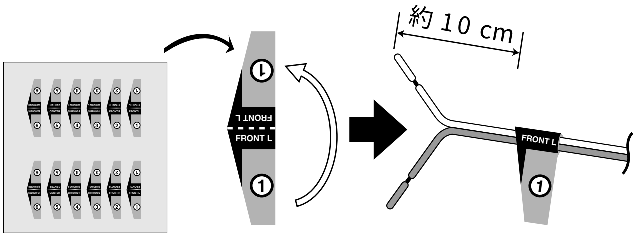
1 スピーカーコードにシールを貼る

小さいスピーカーは 5 つとも同じ大きさ、同じ性能です。

付属のシールを貼る。

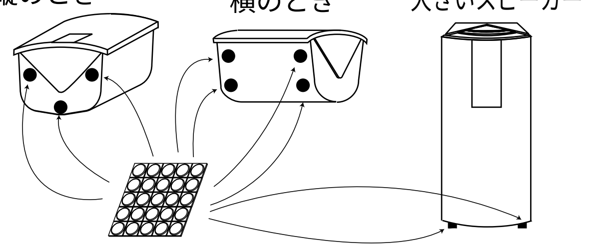
①〜⑤：小さいスピーカーに
(フロント×2、サラウンド×2、センター×1)

⑥　　：大きいスピーカーに（サブウーハー）



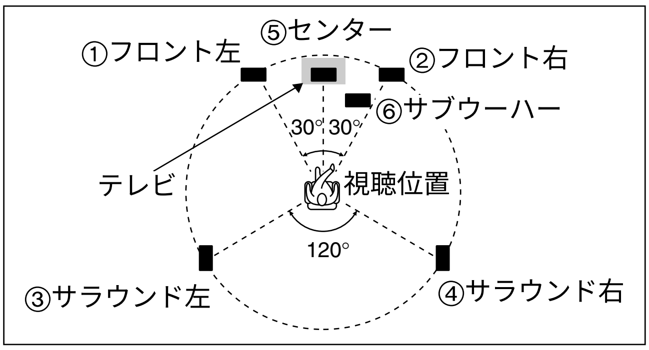
2 スピーカーにゴム足を貼る

小さいスピーカーは縦横どちらでも設置できます。
各スピーカーとも振動による移動や転倒を防ぐため、設置する方向の底面にゴム足 (付属) を貼ってください。



ゴム足は 1 シート (25 個) 付属しています。スピーカー 1つにつき 3〜4 個の割合で使用してください。

3 スピーカーを設置する



①〜⑥のシールを貼ったスピーカーが上の図のような位置になるように設置してください。

視聴位置からフロント/センター/サラウンドの各スピーカーを同じ距離に設置するのが理想です。なお、角度はあくまでも目安です。

フロントスピーカー (①, ②) はテレビの左右に、
センタースピーカー (⑤) はテレビ近くの上または下に、
サラウンドスピーカー (③, ④) は視聴位置の左右（横またはやや後ろ）に、耳の位置より 1 m ほど高く、
サブウーハー(⑥)はテレビの近くで、床やしっかりした台など、振動しにくい場所に、
それぞれ設置してください。

お知らせ

- センタースピーカーを直接テレビの上に設置すると、振動によりテレビの画面が乱れることがあります。ラックや棚などに設置してください。
- サラウンドスピーカーを設置する場所がないときは、フロントスピーカーに並べて設置することもできます。(バーチャルリアサラウンド⇒ 41 ページ)

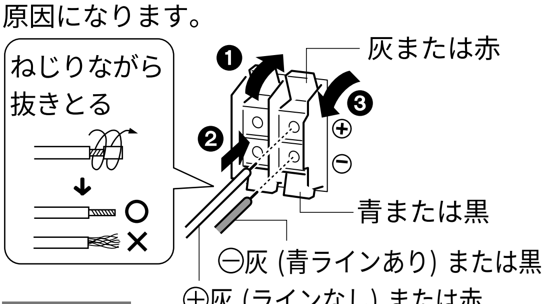
4 スピーカーと本機を接続する

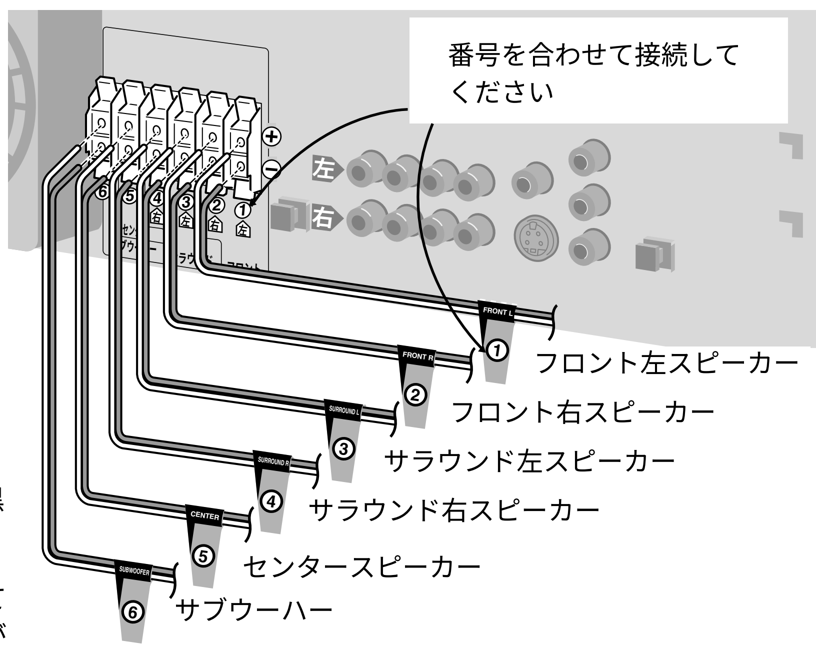
スピーカーコード

端子のレバーと同じ色のコードを接続します。

- **左、右と⊕、⊖を正しく**接続する。
- 芯線は、ショートしないよう**奥までしっかり**差し込む。

誤った接続をすると、スピーカーの故障の原因になります。



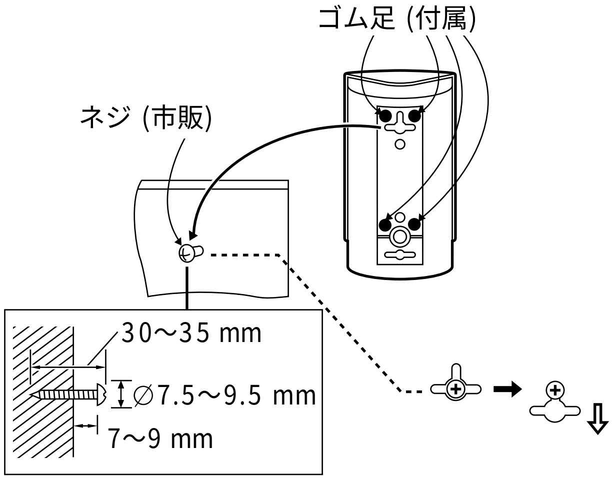


お願い

スピーカーコードの配線処理は確実に行ってください。スピーカーコードの長さに余裕があるときは、束ねてひもでくくるなどして、邪魔にならないようにしてください。

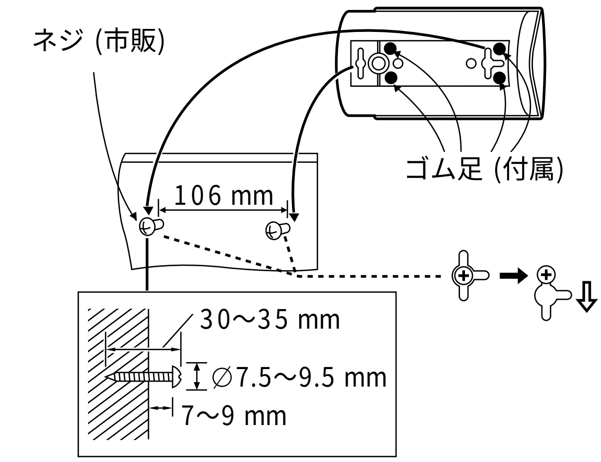
壁に取り付ける

縦向きに取り付けるときは



ゴム足 (付属) はネジを引っかける穴に沿って穴をふさがないように 4 ヶ所に貼ってください。

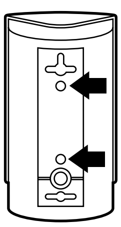
横向きに取り付けるときは



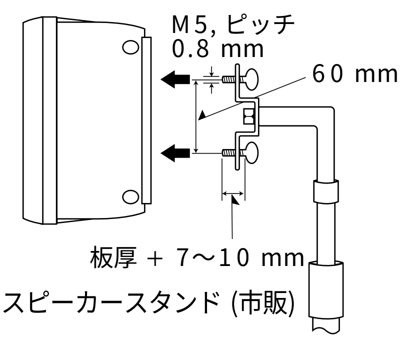
お願い

- 壁に取り付ける場合は、壁に、5 kg 以上の重量を支えられる強度が必要です。くわしくは施工者の方などにご相談ください。

スピーカースタンドに取り付ける



このねじ穴にスタンドを取り付けます。



スピーカースタンド (市販)

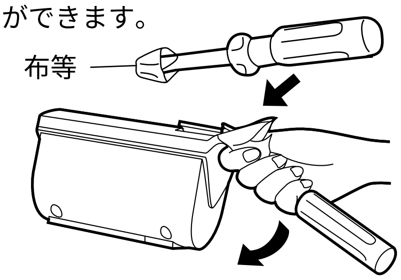
お願い

スピーカースタンドをお買い求めの際は、下記の点をご確認ください。

- スピーカーを取り付けるためのネジの径および長さ、ネジとネジとの間隔が左の図のようになっていること。
- 5 kg 以上の重量に耐えうる強度を持っていること。
- スピーカーの位置を高くしても、安定した設置が可能であること。

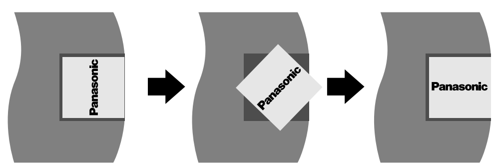
ブランドプレートの向きを変える

小さいスピーカーを横に向けて設置するときは、Panasonic のブランドプレートを水平になるように回転させることができます。



(スピーカーに傷が付く恐れがあります。マイナスドライバーの先に布等を必ず巻いてから行ってください。)

ブランドプレートの下にマイナスドライバーを差し込みプレートを浮かせます。プレートを浮かせたまま、手で回転させてください。



⚠ 落下の危険がありますので、必ず水平な場所にぐらつきなどのないように設置してください。それ以外の場所への設置は、落下防止などの十分な安全対策を行ってください。

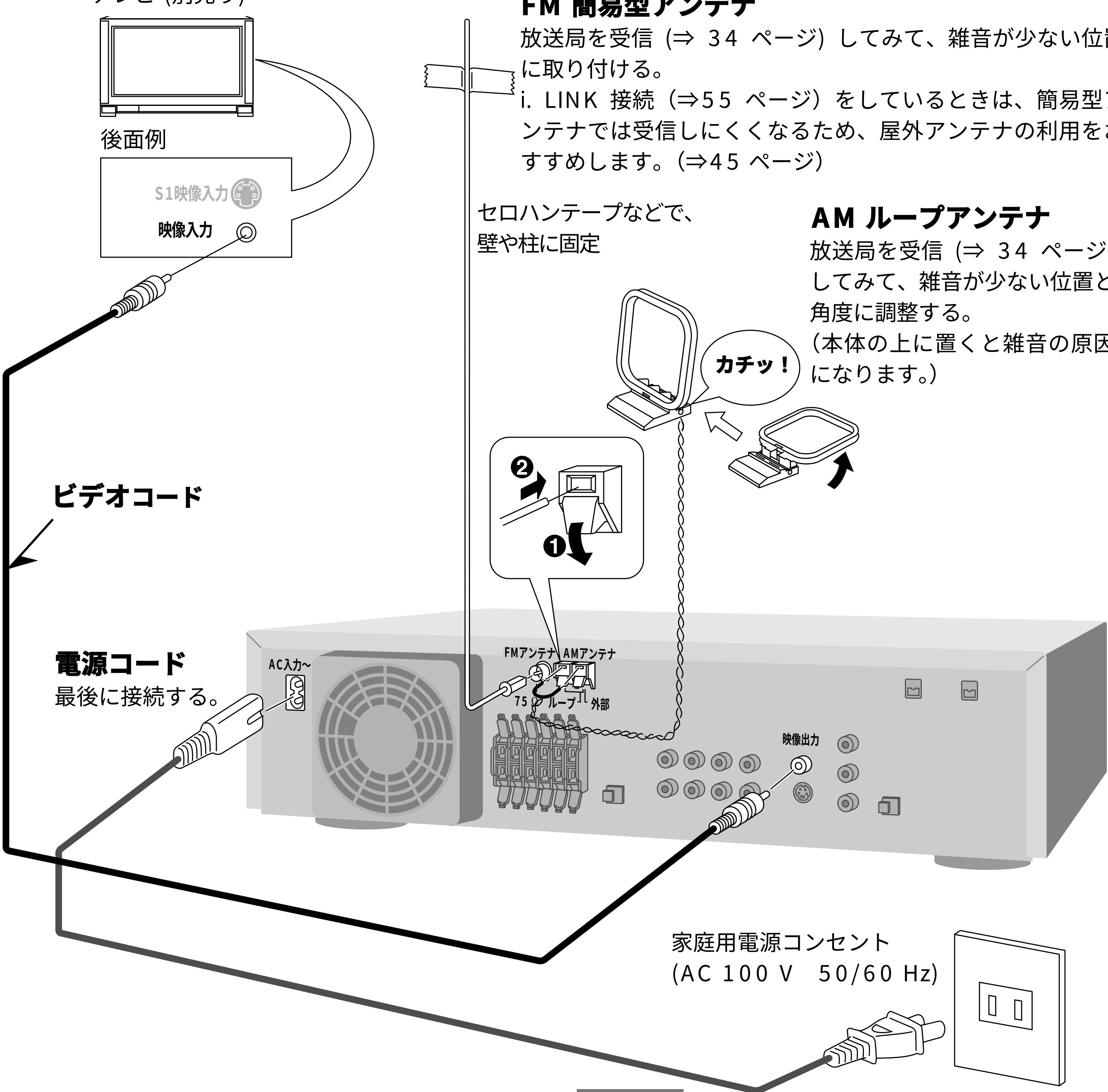
お知らせ

- スピーカーネットは取り外しができません。

お願い

- スピーカーは、床の上やしっかりとした台、棚などの安定した場所に置いてください。
- 再生音がひずみかけているような大きな音量では、長時間使用しないでください。
- 大きなノイズなどが加わった場合、スピーカーが破壊されることがありますので、以下のような場合は音量を下げてください。
  - ・電源を入／切するとき
  - ・FM 放送の局間ノイズが長く続くとき

テレビ、アンテナ、電源コードの接続



FM 簡易型アンテナ

放送局を受信（⇒ 34 ページ）してみて、雑音が少ない位置に取り付ける。

i. LINK 接続（⇒55 ページ）をしているときは、簡易型アンテナでは受信しにくくなるため、屋外アンテナの利用をおすすめします。（⇒45 ページ）

セロハンテープなどで、壁や柱に固定

AM ループアンテナ

放送局を受信（⇒ 34 ページ）してみて、雑音が少ない位置と角度に調整する。

（本体の上に置くと雑音の原因になります。）

電源コード

最後に接続する。

家庭用電源コンセント
(AC 100 V　50/60 Hz)

i. LINK 接続をしていないときは、他の機器への影響やスタンバイ時の消費電力を小さくするために、i. LINK設定を「切」にしてください。
（⇒57 ページ）

お知らせ

オプティカルデジタルケーブル、i. LINK ケーブルは47、55ページの接続で使用します。

お願い

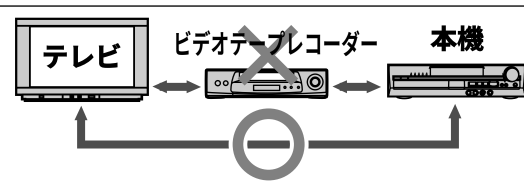
付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

長期間使用しないときは

節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし再使用時には、放送局の設定など各種メモリーの再設定が必要です。
（電源スイッチを切った状態でも、微少電力を消費しています。）

お願い

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。ビデオデッキなどを通すと、再生時に画面が乱れることがあります。



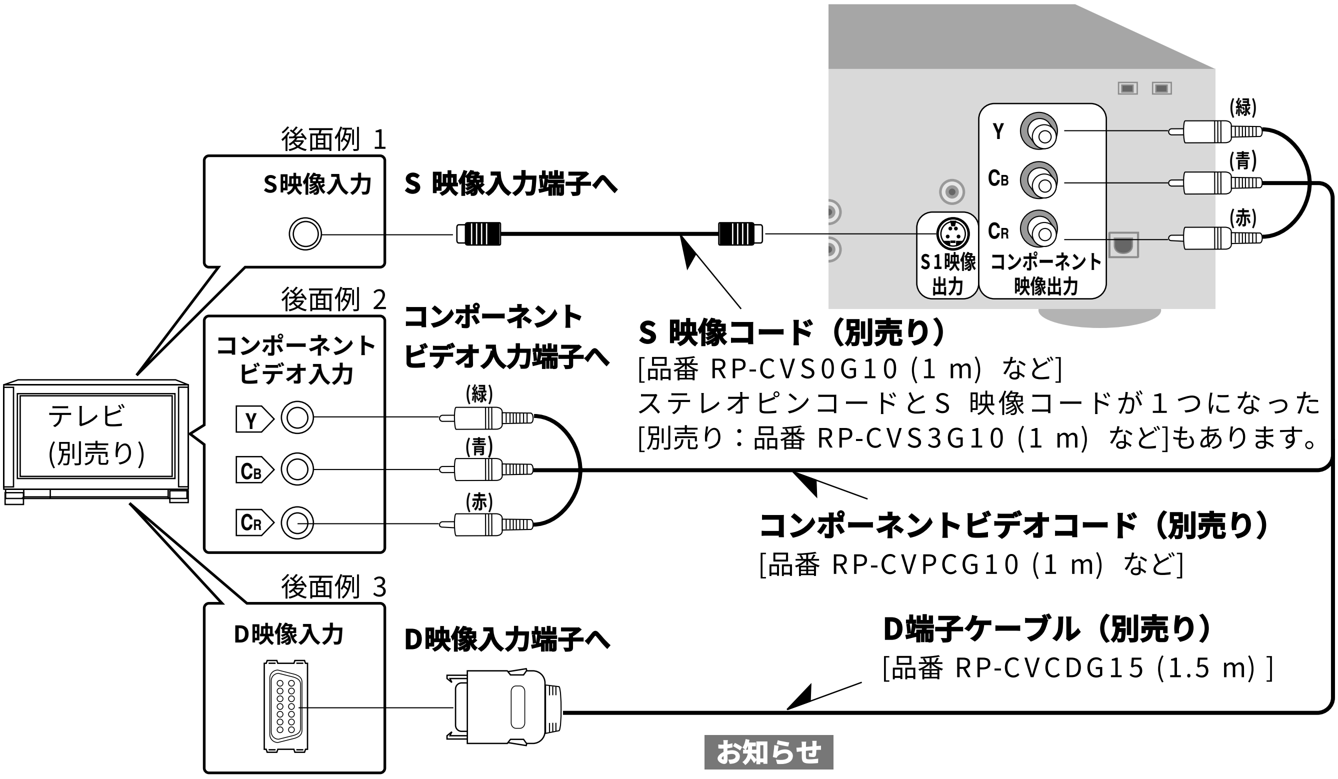
別売り品の品番は、2000年11月現在のものです。品番は変更されることがあります。

より良い映像を楽しむには

本機には「映像出力」端子以外に映像を出力する端子が２種類あります。より良い映像を楽しむためには、こちらの端子にテレビを接続することをお勧めします。テレビに下図のような入力端子がない場合は、10ページの方法で接続してください。

S１映像出力端子：　映像信号を輝度信号（Y）、カラー信号（C）に分離して伝えるため、「映像出力」端子で接続した場合よりも鮮明な映像が得られます。

コンポーネント映像出力端子：　輝度信号（Y）、コンポーネント信号（CB、CR）に分離されている映像情報をそのまま伝えるため、「映像出力」、S１映像出力端子に比べて、色を忠実に再現します。



S 映像コード（別売り）
[品番 RP-CVS0G10 (1 m) など]
ステレオピンコードとS 映像コードが１つになった[別売り：品番 RP-CVS3G10 (1 m) など]もあります。

コンポーネントビデオコード（別売り）
[品番 RP-CVPCG10 (1 m) など]

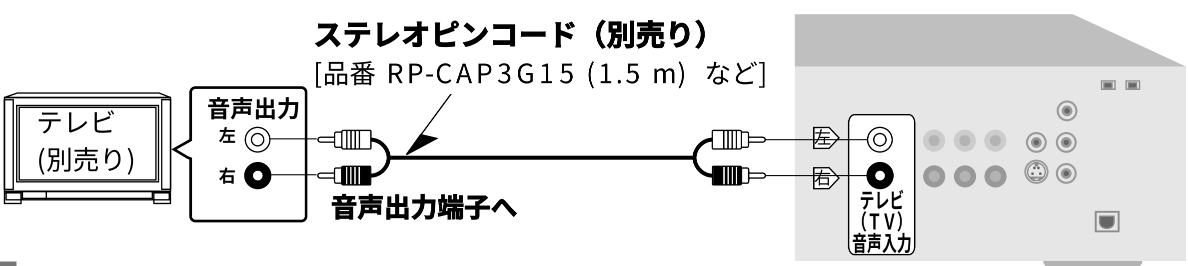
D端子ケーブル（別売り）
[品番 RP-CVCDG15 (1.5 m)]

お知らせ
- テレビにより、コンポーネントビデオ入力の表示が異なる場合は（Y、PB、PRやY、B-Y、P-Yなど）、同じ色の端子どうしを接続してください。
- テレビにより、D映像入力端子の表示が異なる場合があります。
  本機はD１／D２／D３映像入力端子に接続できますが、機能の一部が制限されます。例えば、テレビに合わせて画面の比率を自動的に切り換える、アスペクト比の自動切換などは働きません。

お願い
- 接続した端子に合わせて、テレビ側で入力を切り換えてください。
- DVDに対応していない、ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。（映像方式が異なりますので、画面が乱れたり、映らないことがあります。）

テレビの音声を本機のスピーカーで楽しむには

ステレオピンコード（別売り）
[品番 RP-CAP3G15 (1.5 m) など]

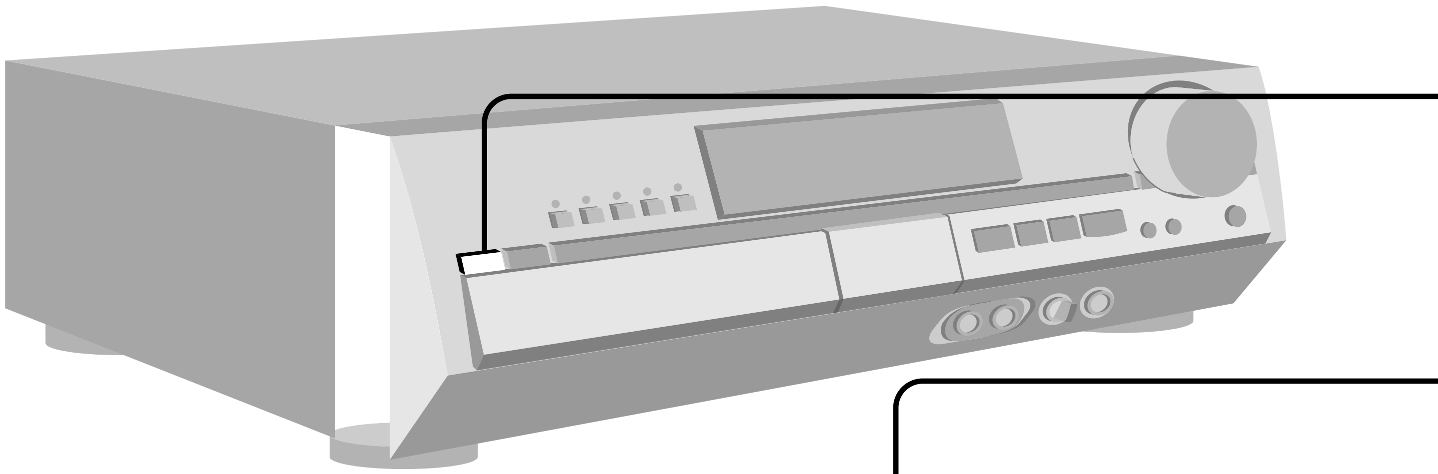


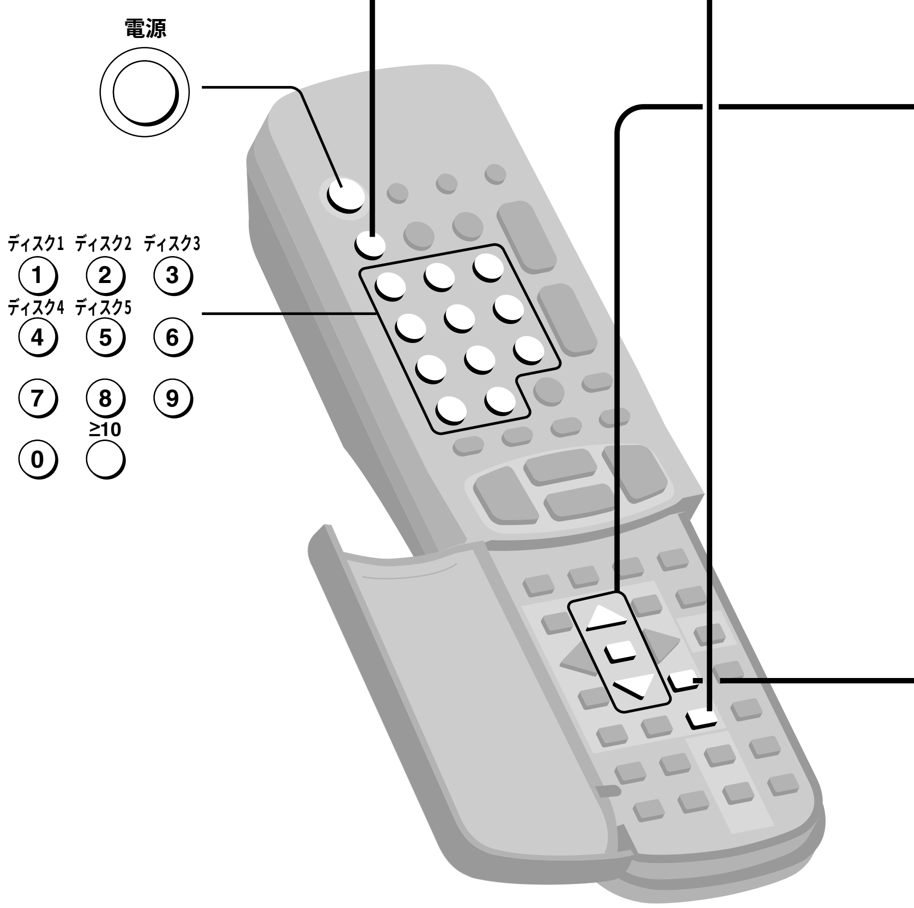
お知らせ
光出力端子が付いているテレビは、光入力端子へ接続することができます。（⇒47ページ）

i. LINK接続対応のテレビの場合は、55ページの方法で接続してください。

テレビ画面サイズを設定する

ご使用のテレビの種類により、画面のサイズの設定をします。
工場出荷時の設定は従来のテレビ（4：3）になっています。4：3 のテレビをお使いの場合はこの設定は不要です。

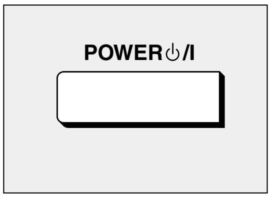




準備

- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 2 など)

1

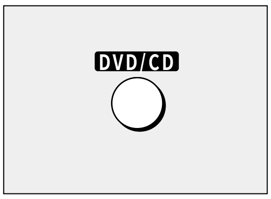


押して

電源を入れる

リモコンでは
[電源] を押す。

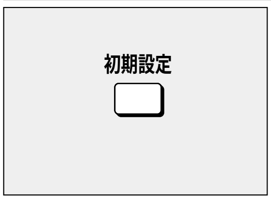
2



押して

“ DVD/CD ” を選ぶ

3



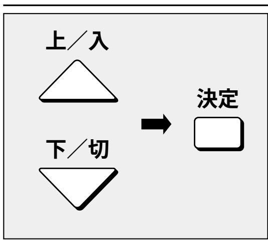
押してテレビに

初期設定画面を出す

（テレビ画面）



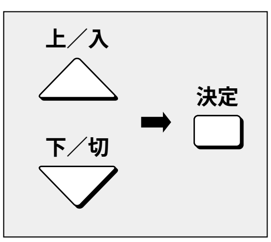
4



① 押して

“ 5 接続する TV ” を選ぶ





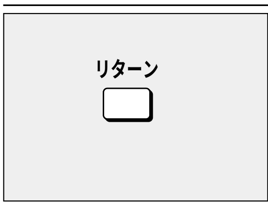
② 押して

サイズを選ぶ

4：3　　従来のテレビ
16：9　　ワイドテレビ
設定後は、初期設定画面に戻ります。



5



初期設定画面の状態で
押して

終了する

■ **手順 4 は、数字ボタンでも操作できます。**
それぞれ項目の前にある数字のボタンを押してください。
(例) 手順 ① では [5] を押す。

映画や音楽を楽しむ

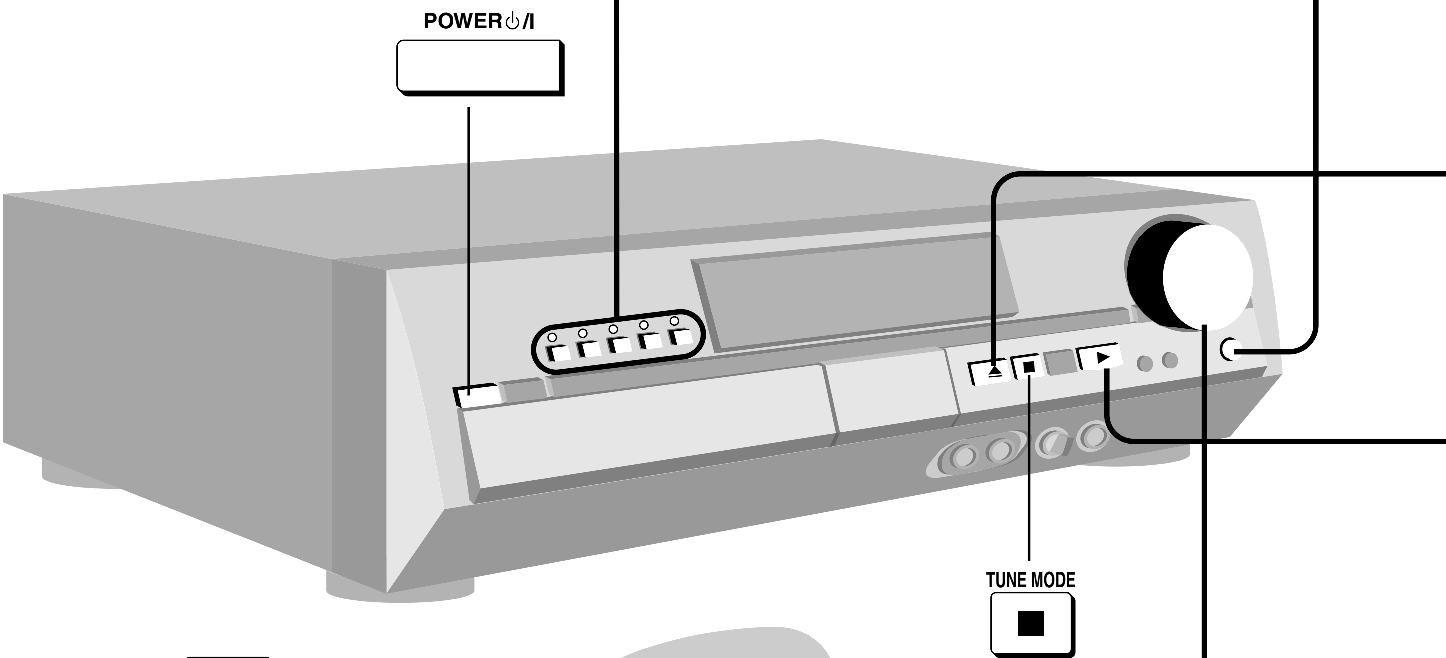
DVD VCD CD

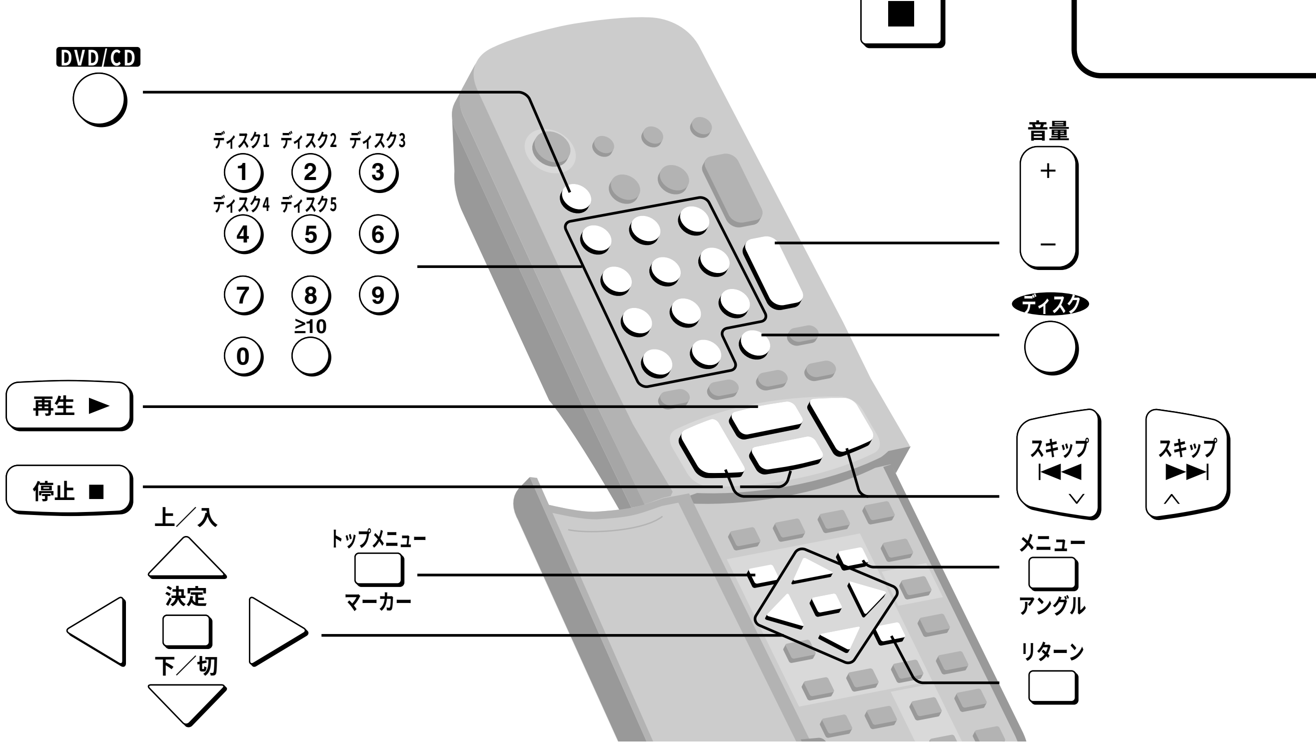
準備

- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 2 など)
- [POWER ⏻/I] を押して、本機の電源を入れる。

お知らせ

DVD では、複数のディスクの連続再生はできません。
ビデオ CD、CD を連続再生するには ディスクマネージャー ⇒30 ページ

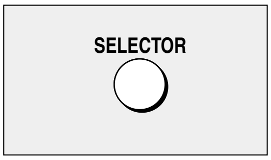




お知らせ

⃠ この表示がテレビ画面に出た場合は、本機かディスクがその操作を禁止していることを示しています。

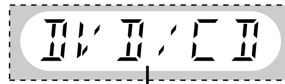
1



押して

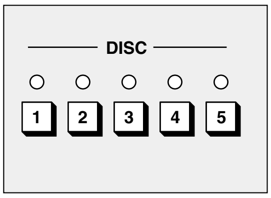
“DVD/CD”を選ぶ

リモコンでは
[DVD/CD] を押す。
自動的に電源も入ります。



本体のボタンのみ
押すたびに DVD/CD→FM→AM→TV-ANALOG
↑ ↓
AUX ← VCR ← TV-DIGITAL

2



いずれかを押して

ディスクを選ぶ

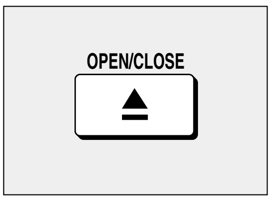
選んだディスクのランプが点灯します。
ディスクが入っている場合は再生が始まります。



ディスクが入っていないことを示しています。

リモコンでは
[ディスク] を押してから、[ディスク1]～[ディスク5] を押す。

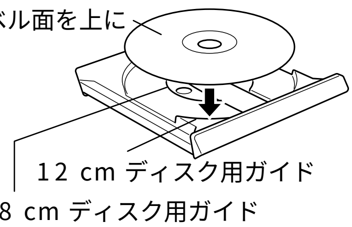
3



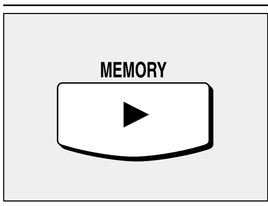
押して

トレイを開け、ディスクを入れる

もう一度押すと、トレイが閉まり、再生が始まります。
取り出すときも、このボタンを使います。



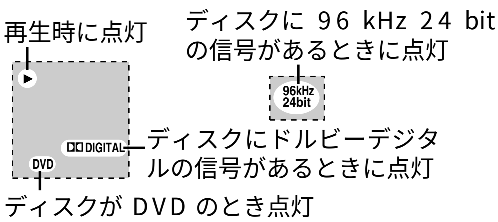
4



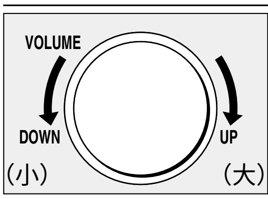
手順 3 で再生が始まらないときは
押して

再生を始める

リモコンでは
[再生 ▶] を押す。



5

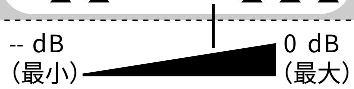


回して

音量を調整する

リモコンでは
[音量 (+ または–)] を押す。



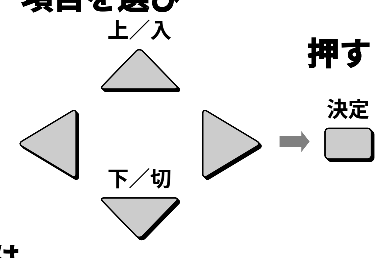


■ テレビにメニューが表示されたら リモコン

(表示例)

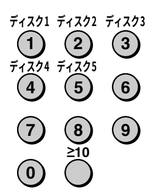


押して
項目を選び



押す

または



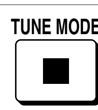
押して
項目の番号を選ぶ
10 以上のとき
10：[≥10]→[1]→[0]
11：[≥10]→[1]→[1]

お知らせ
ビデオ CD のときは、数字ボタンで変更してください。

メニューに続きがあるときは
リモコンのスキップ［|◀◀］または［▶▶|］を押す。（ディスクによっては働くボタンが異なることがあります。）

■ 再生を停止するには

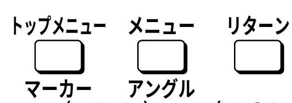
(続き再生メモリー⇒20 ページ)



押す

リモコンでは
[停止 ■] を押す。

■ 再生中にメニュー画面に戻るには リモコン



(DVD) (VCD)

いずれかを押す

カラオケを楽しむ

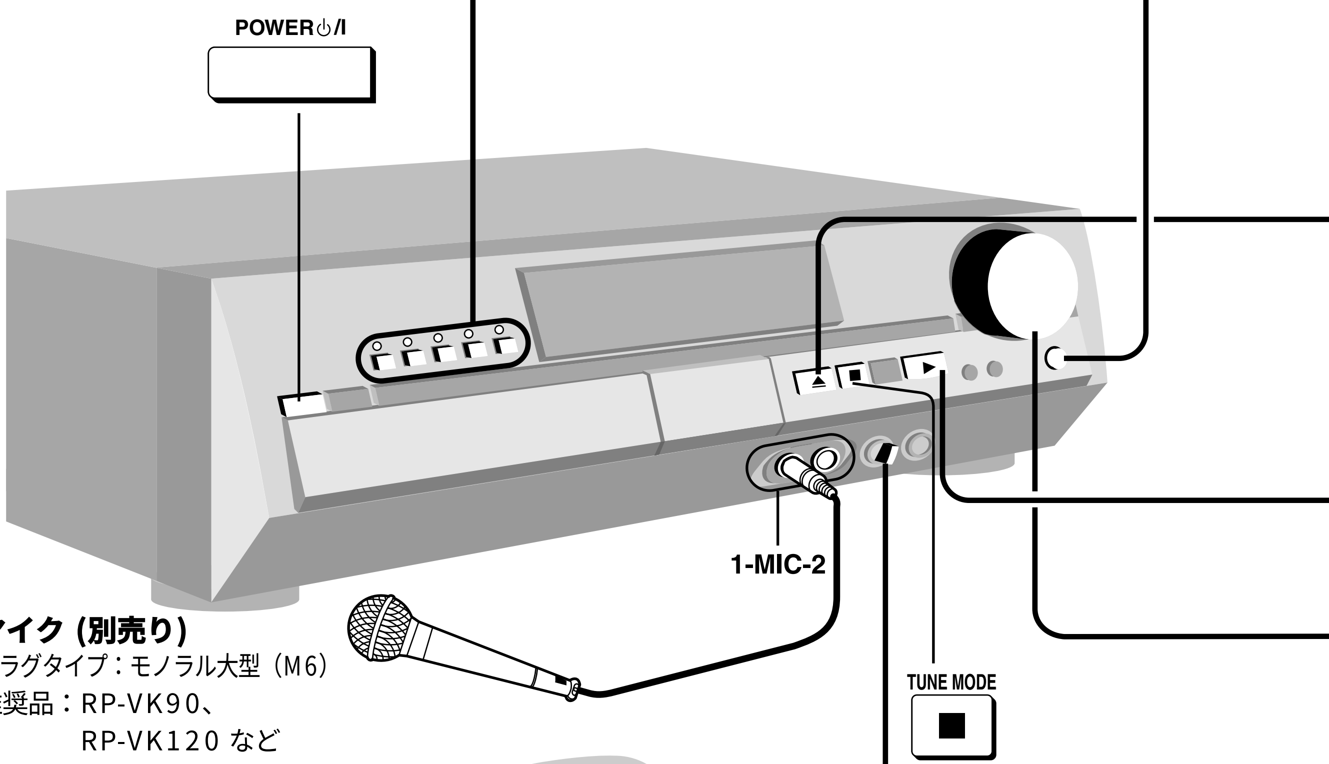
DVD VCD CD

準備

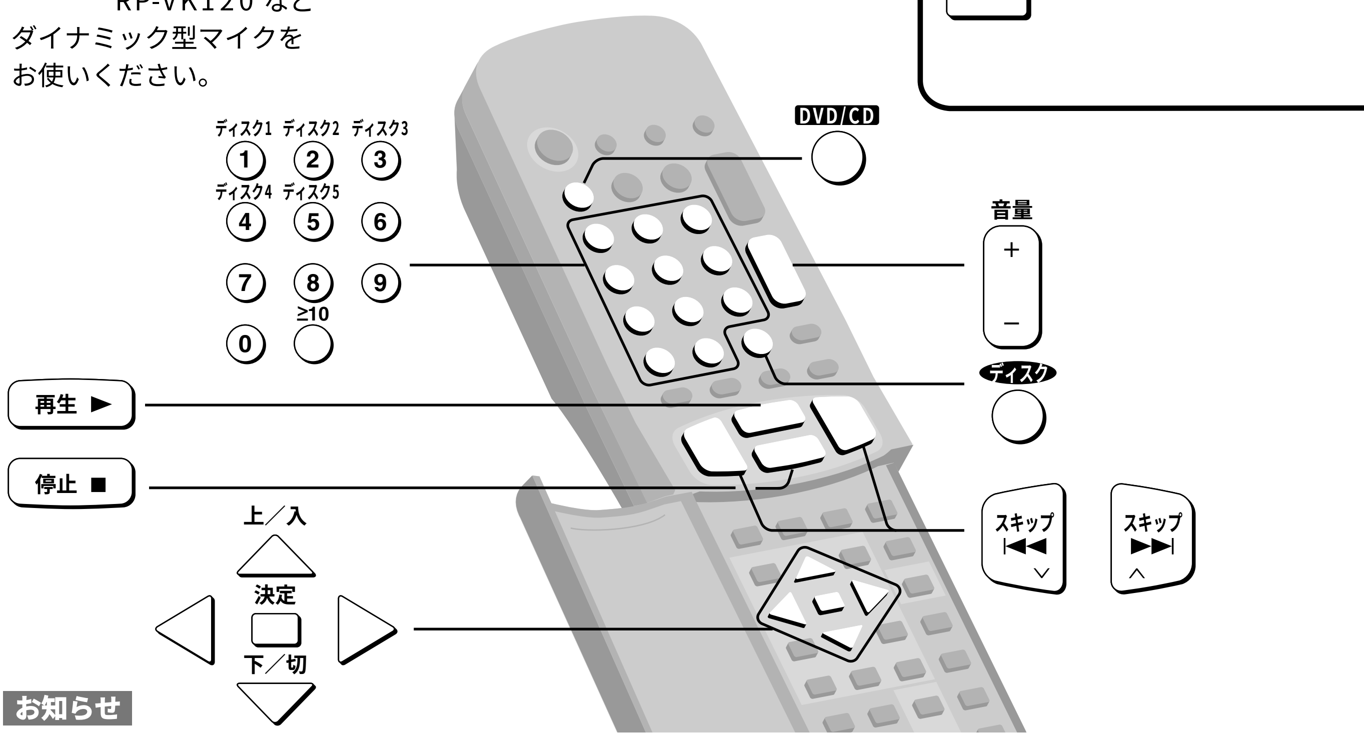
- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 2 など)
- 本機にマイクを接続する。
- [POWER ⏻/I] を押して、本機の電源を入れる。

お知らせ

マイクを接続すると、カラオケ DVD は強制的に**ステレオ音声(2ch)** になり、センターやサラウンドスピーカーから音が出なくなります。



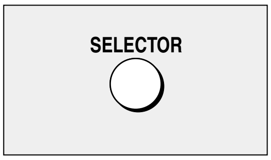
マイク (別売り)
プラグタイプ：モノラル大型（M6）
推奨品：RP-VK90、
RP-VK120 など
ダイナミック型マイクを
お使いください。



お知らせ

⃠ この表示がテレビ画面に出た場合は、本機かディスクがその操作を禁止していることを示しています。

1



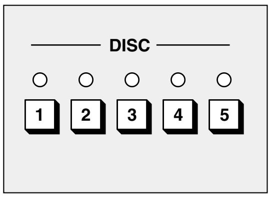
押して
“DVD/CD”を選ぶ

リモコンでは
[DVD/CD] を押す。
自動的に電源も入ります。



本体のボタンのみ
押すたびに DVD/CD→FM→AM→TV-ANALOG
↑ ↓
AUX ← VCR ← TV-DIGITAL

2



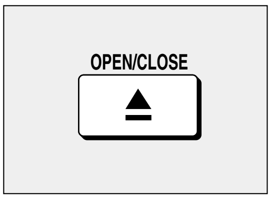
いずれかを押して
ディスクを選ぶ
選んだディスクのランプが点灯します。
ディスクが入っている場合は再生が始まります。



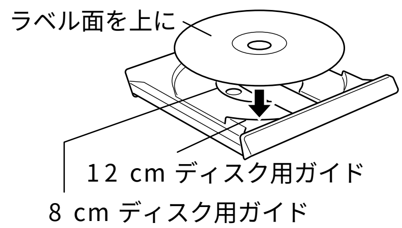
ディスクが入っていないことを示しています。

リモコンでは
[ディスク] を押してから、[ディスク1]〜[ディスク5] を押す。

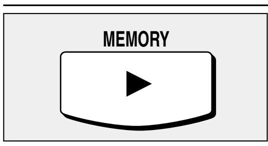
3



押して
トレイを開け、ディスクを入れる
もう一度押すと、トレイが閉まり、再生が始まります。
取り出すときも、このボタンを使います。



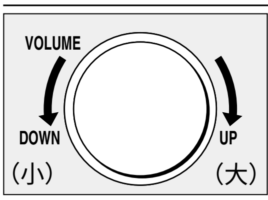
4



手順 3 で再生が始まらないときは
押して
再生を始める

リモコンでは
[再生 ▶] を押す。

5



回して
再生の音量を調整する

リモコンでは
[音量 (+ または–)] を押す。

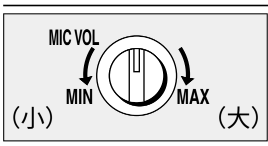


-- dB
(最小)



0 dB
(最大)

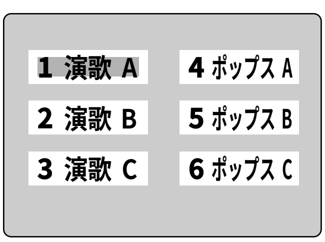
6



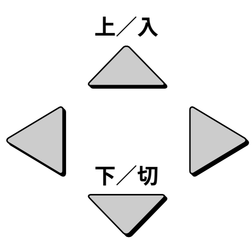
歌いながら、回して
マイクの音量を調整する

■ テレビにメニューが表示されたら リモコン

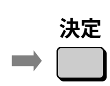
(表示例)



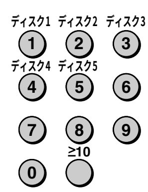
押して
項目を選び



押す



または

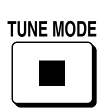


押して
項目の番号を選ぶ
10 以上のとき
10：[≥10]→[1]→[0]
11：[≥10]→[1]→[1]

お知らせ
ビデオ CD のときは、数字ボタンでのみ選択できます。

メニューに続きがあるときは
リモコンのスキップ［|◀◀］または［▶▶|］を押す。
ディスクによっては働くボタンが異なることがあります。

■ 再生を停止するには
(続き再生メモリー⇒20 ページ)



押す

リモコンでは
[停止 ■] を押す。

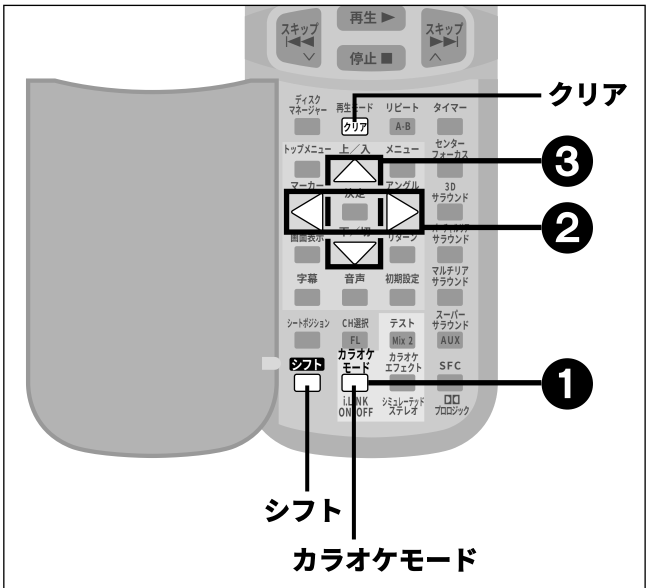
使いかた

ガイドメロディやボーカルを入／切する

DVD

ガイドメロディや模範歌唱（ボーカル）を入／切できるので、カラオケの練習に便利です。

ガイドメロディ (DVD 5 ch カラオケディスクのみ)
ボーカル部のメロディラインが演奏され、それに合わせて歌うことができます。
ディスクにガイドメロディが記録されている場合に限ります。
ボーカル選択 (カラオケディスクのとき)
ディスクに記録されているボーカル（模範歌唱）を入／切できます。

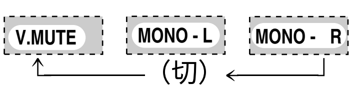


ビデオ CD や CD でボーカルを入／切するには

VCD **CD**

再生中にリモコンの [カラオケモード] を押してモードを選ぶ　（本体表示窓）

押すたびに　V.MUTE→MONO L→MONO R



V.MUTE (ボイスミュート) (通常の音楽CDなどのとき)
ディスクに収録されているボーカルの音量を小さくします。（完全には消えません）
MONO L、 MONO R (音声多重ディスクのとき)
左チャンネル（L）または右チャンネル（R）の音声だけになります。ボーカルの音が消える方を選んでください。

お知らせ

- 本機にカセットデッキ等を接続(⇒46 ページ)し、カラオケモードを切り換えて、カラオケを楽しむこともできます。
- ソースによっては選べないことがあります。
- ボイスミュートはボーカルの音声を完全に消すものではありません。また、モノラル録音されたディスクでは使用できません。

再生中にリモコンの

❶ [カラオケモード] を押す

カラオケ GUI 画面がテレビに表示されます。



❷ [◁] または [▷] を押して 入／切する項目 (ガイドメロディまたはボーカル選択) を選ぶ

❸ [△] または [▽] を押して 設定をする

ガイドメロディーのとき
「1」：あり（通常の音量） 「2」：あり（音量大） 「切」：なし 「切」では、伴奏だけになります。
ボーカル選択のとき
DVD（ソロ)の場合 「---」：ボーカルなし 「入」：ボーカルあり **DVD（デュエット) の場合** 「---」：ボーカルなし 「1+2」：ボーカル1、2ともあり 「V1」：ボーカル1のみ 「V2」：ボーカル2のみ

■ カラオケ GUI 画面を消すときは

[カラオケモード] を押す。
または、[シフト] を押しながら[クリア] を押す。

お知らせ

- カラオケモードは一部のディスクでは使用できません。

カラオケにエフェクト(効果) をかける

DVD VCD CD

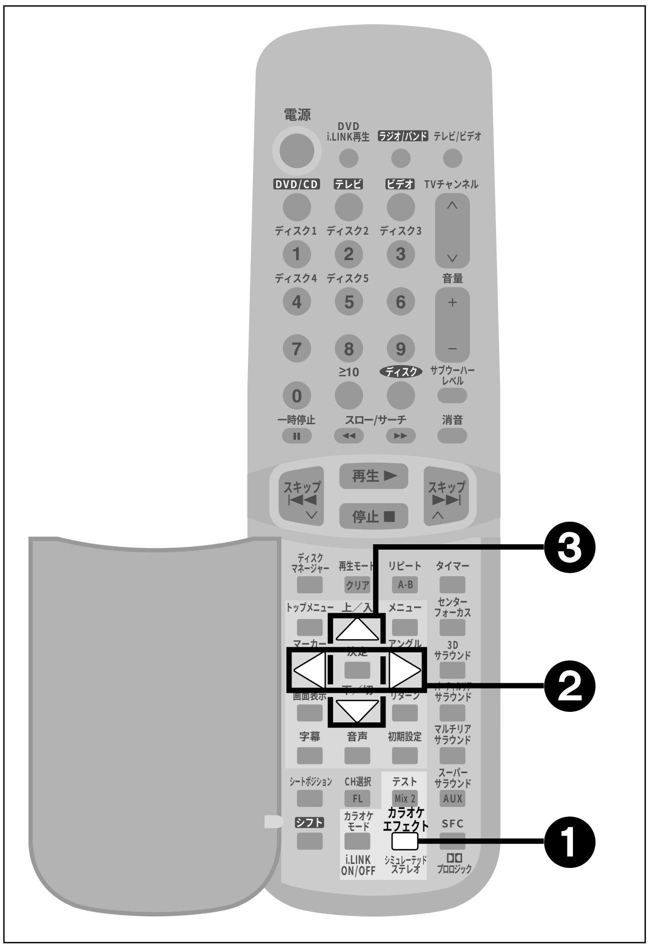
カラオケを楽しんでいるとき、音に次の効果をかけることができます。

KEYCON（キーコン）
キー (音の高さ) を調整します。

ECHO（エコー）
エコーをかけます。

CHORUS（コーラス）
コーラスをしている雰囲気を作ります。

LOUNGE（ラウンジ）
エコーをかけたマイクの音をセンターとサラウンドのスピーカーから出すことによってラウンジで楽しんでいる雰囲気を作ります。

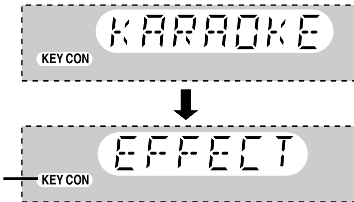


■ カラオケエフェクトを「切」にするには

[カラオケエフェクト] を何度か押して、“ KARAOKE ” “ EFFECT OFF ” を表示させる。
“ KEYCON ” が消えます。
各エフェクトのレベル設定は記憶されています。
再度、カラオケエフェクトを「入」にしたときには、前回の設定 (解除したときの状態) になります。
レベル設定前の状態に戻すには、手順❸で “ 0 ” または “ OFF ” を選んでください。

リモコンの

❶[カラオケエフェクト] を押す



この表示があるとき、カラオケエフェクト「入」です。

❷10 秒以内に [◁] または [▷] を押して 使用するエフェクトを選ぶ

例）



押すたびに
KEYCON↔ECHO↔CHORUS↔LOUNGE
↑_______________________________↑

もとの表示に戻ったときは、もう一度 [カラオケエフェクト] を押してください。

❸各エフェクトの表示中に [△] または [▽] を押して 好みのレベルにする

例）



押すたびに

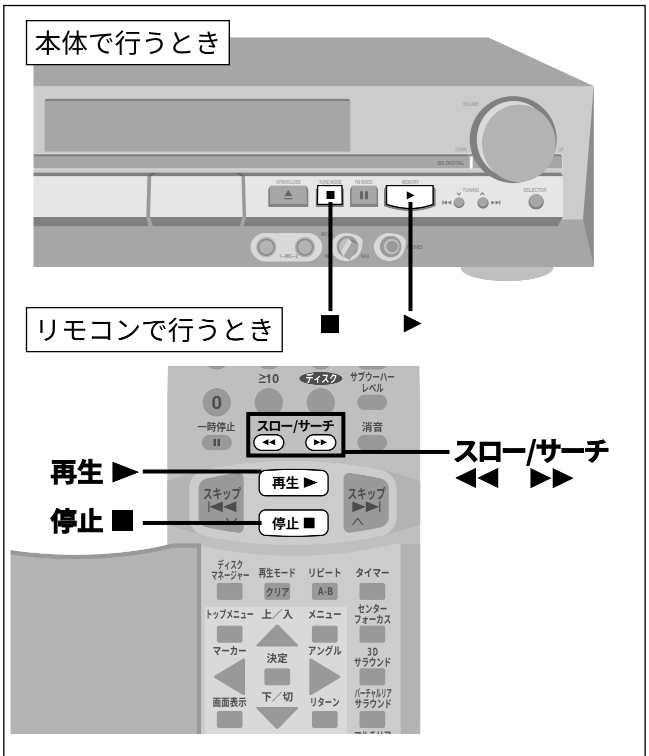
KEYCON のとき
−3↔−2↔−1↔0↔+1↔+2↔+3
ECHO のとき
1↔2↔3↔OFF（切） ↑________________↑
CHORUS のとき
1↔2↔OFF（切） ↑____________↑
LOUNGE のとき
1↔2↔3↔OFF（切） ↑________________↑

数字が大きいほど効果が強くなります。

お知らせ

- 外部機器（カセットデッキなど）でカラオケを楽しむ場合でも、カラオケエフェクトは使えます。
- 複数の効果を同時に使うことができます。ただしエコーとラウンジの効果を同時に使うことはできません。
- カセットデッキを接続して、カラオケの音を録音できます。
  カラオケエフェクトを使って録音した場合、そのテープを再生するときは、エフェクトを「切」にしてください。

よく使う機能



早戻し／早送り

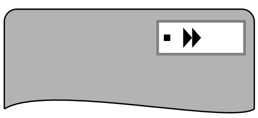
DVD **VCD** **CD**

再生中にリモコンの

スロー／サーチ [◀◀] または [▶▶] を押す

◀◀：戻し方向
▶▶：送り方向

（テレビ画面）



- 押すたびに、5 段階まで速くなります。
- DVD、ビデオ CD のとき
  早送り 1 のときのみ、音声が聞こえます。
  初期設定の中のエキスパート設定で、この音声のあり/なしの設定ができます。(⇒ 50 ページ)
- 音楽 CD のとき
  どの速さでも音声は聞こえます。

■ 通常再生に戻すには

[▶] を押す。

お知らせ

プレイバックコントロール付きビデオ CD をメニュー画面から再生を始めたときこの操作をすると、メニュー画面に戻ることがあります。

止めた位置から再生する (続き再生メモリー)

DVD **VCD** **CD**

前に見ていた (聞いていた) 続きから再生できます。
[■] を押して再生を止めると、“ RESUME ” が点灯します。



“ RESUME ” が点灯している状態で

[▶] を押す

前回停止した位置から再生が始まります。

■ 続き再生メモリーを解除するには

“ RESUME ” 点灯中に [■] を押す。

お知らせ

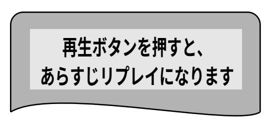
- 電源を切っても続き再生メモリーは残ります。ただし、トレイを開けたり、ディスクを換えたりしたときは解除されます。
- 再生しても時間表示が出ないディスクでは、続き再生メモリーが働きません。

止めた位置までのあらすじを見るには (あらすじリプレイ)

DVD

停止した位置までの各チャプターを少しずつ再生して、あらすじを確かめることができます。
“ RESUME ” の点灯中に [▶] を押すと、テレビ画面に次のメッセージが表示されます。

（テレビ画面）



メッセージが表示されている状態で

[▶] を押す

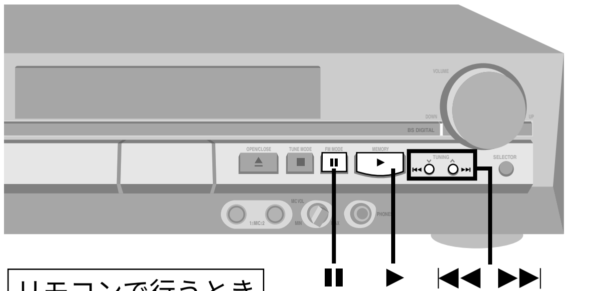
前の各チャプターの冒頭部分が約 5 秒ずつ再生された後、停止した位置から通常再生が始まります。

お知らせ

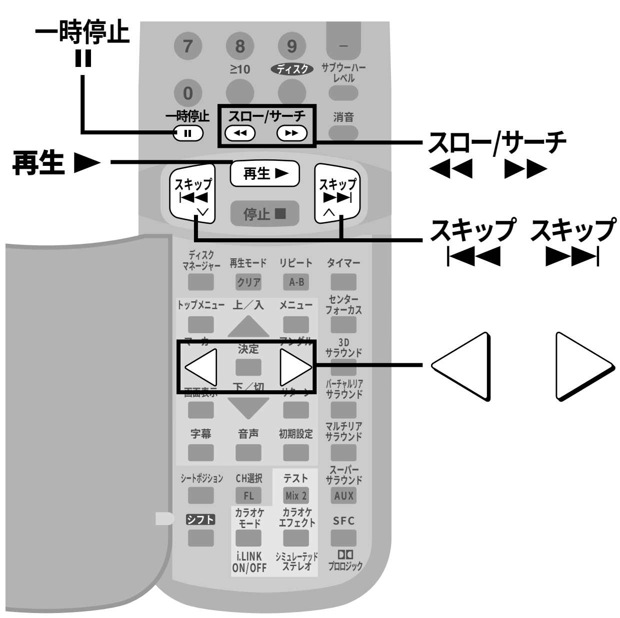
- チャプター1 で停止したときは、あらすじリプレイにならない場合があります。
- あらすじリプレイのできない DVD もあります。

説明文中に出てくるボタンの表示について
本書では、本体とリモコンに同じ働きのボタンがある場合、本体の表示を用いて説明しています。
(本体の [▶] とリモコンの [再生▶] など、同じ記号を使っているボタンは同じ働きになります。)

本体で行うとき



リモコンで行うとき



場面や曲を飛び越す (スキップ)

DVD **VCD** **CD**

DVD のチャプター (⇒ 62 ページ)や、ビデオ CD、音楽 CD のトラック (⇒ 62 ページ) の頭へ飛び、そこから再生します。

再生中に

スキップ[|◀◀] または [▶▶|] を押す

|◀◀：戻し方向

▶▶|：送り方向

- 押した回数のチャプター/トラックを飛び越します。
- 戻し方向に 1 回押すと、再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

お知らせ

プレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中にこの操作をすると、メニュー画面に戻ることがあります。

一時停止 (静止)

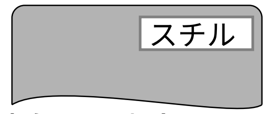
DVD **VCD** **CD**

再生中に

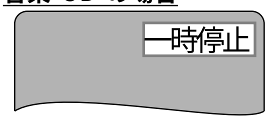
[II] を押す

DVD/ビデオ CD の場合

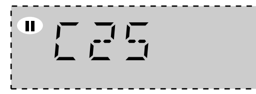
（テレビ画面）



音楽 CD の場合



（本体表示窓）



■ 再生に戻すには

[▶] を押す。

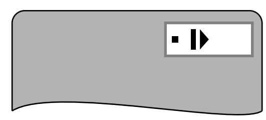
スロー再生

DVD **VCD**

一時停止 (静止) 中にリモコンの

スロー／サーチ [◀◀] または [▶▶] を押す

（テレビ画面）



◀◀：戻し方向

▶▶：送り方向

押すたびに、5 段階まで速くなります。

■ 通常再生に戻すには

[▶] を押す。

お知らせ

ビデオ CD は戻し方向にスロー再生できません。

コマ戻し／コマ送り

DVD **VCD**

動画を1 コマずつ見ることができます。

一時停止 (静止) 中にリモコンの

[◁] または [▷] を押す

◁：戻し方向

▷：送り方向

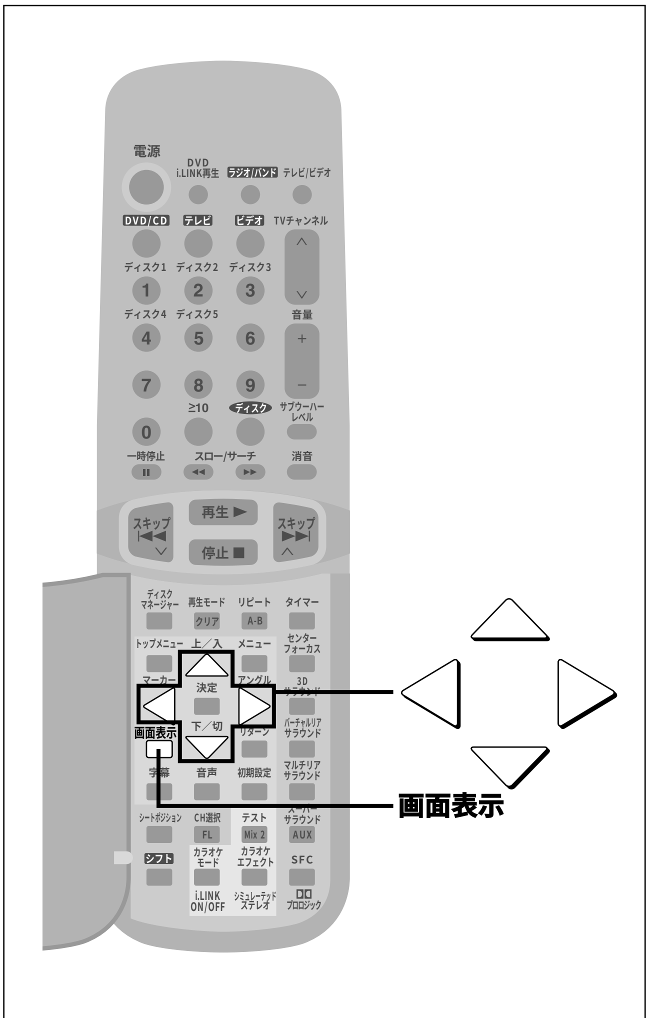
- 押すたびに、1 コマずつ進みます。
- 押し続けると、連続コマ戻し/コマ送りになります。

■ 通常再生に戻すには

[▶] を押す。

お知らせ

- [II] を押しても、コマ送りできます。
- ビデオ CD はコマ戻しできません。



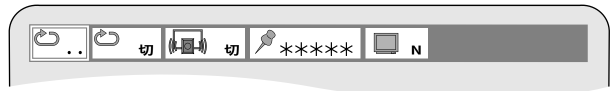
映画に適した画質にする

DVD

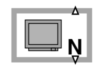
ブラウン管テレビ特有のギラギラした感じを抑え、しっとりとしたやさしい映像を実現します。(シネマポジション)
暗部の輪郭を忠実に再現するので、暗い場面でも見えやすくなります。

リモコンの

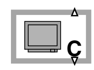
1 [画面表示] を2回押す
テレビにGUI画面 (⇒ 31 ページ) が出ます。



2 [◁] または [▷] を押して
シネマポジションの
絵表示を選ぶ



3 [△] または [▽] を押して
“ C ” を選ぶ



■ 元の画質に戻すには
手順3で “ N ” を選ぶ。

■ GUI画面を消すには
表示が消えるまで [画面表示] を押す。

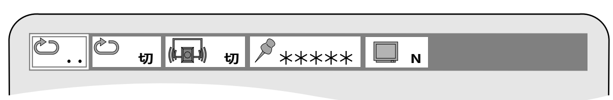
セリフの音量を上げる

DVD

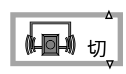
迫力ある効果音のある映画ソフトなどで、セリフを聞き取りやすくします。(シネマボイスモード)
(ドルビーデジタル 3ch 以上で記録され、セリフがセンターチャンネルに入っているDVDで働きます。)

リモコンの

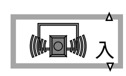
1 [画面表示] を2回押す
テレビにGUI画面 (⇒ 31 ページ) が出ます。



2 [◁] または [▷] を押して
シネマボイスモードの
絵表示を選ぶ



3 [△] または [▽] を押して
“ 入 ” を選ぶ



■ 元の画質に戻すには
手順3で “ 切 ” を選ぶ。

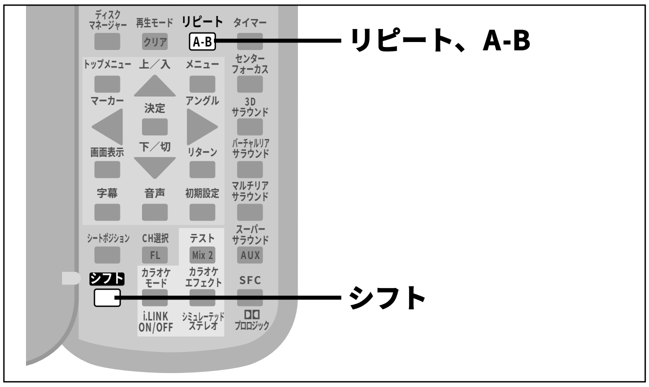
■ GUI画面を消すには
表示が消えるまで [画面表示] を押す。

いろいろな再生

繰り返し再生する (リピート)

DVD **VCD** **CD**

DVD ではチャプターまたはタイトルを、ビデオ CD と音楽 CD ではディスク全体を繰り返すことができます。
また、好みの場所を指定して繰り返すこともできます。(A-B リピート)

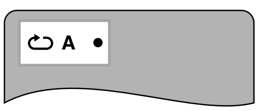


好みの場所を繰り返す (A-B リピート)

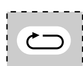
再生中にリモコンの

1 [シフト] を押しながら
[A-B] を押して、開始位置(A)を決める

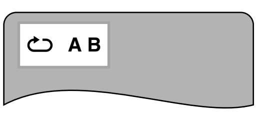
(テレビ画面)



(本体表示窓)



2 [シフト] を押しながら
[A-B] を押して、終了位置(B)を決める



■ 通常再生に戻すには
[シフト] を押しながら [A-B] を押す。
(“ ⟲ . . ” が表示されます。)

お知らせ

- 時間表示の出ない DVD では A-B リピートは使用できません。
- A-B リピート機能は、同一タイトル (DVD) または、同一トラック (ビデオ CD/音楽 CD) 内でのみ使えます。
- A-B リピート時に、AB 間の前後の字幕が表示されないことがあります。
- 停止するとA-B リピートは解除されます。

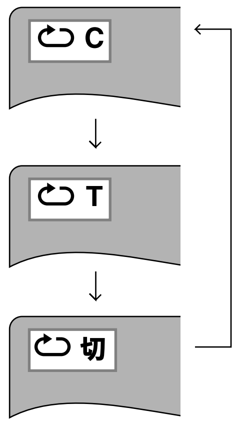
再生中にリモコンの

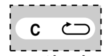
[リピート] を押す

押すたびに

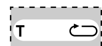
DVD の場合

(テレビ画面)　(本体表示窓)





再生中のチャプターを繰り返します。



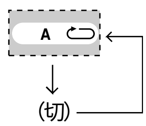
再生中のタイトルを繰り返します。



通常再生

ビデオ CD/音楽 CD の場合

(本体表示窓)



再生中のディスクの全曲を繰り返します。

■ 通常再生に戻すには
“ ⟲ 切 ” が表示されるまで、または “ ⟲ ” 表示が消えるまで [リピート] を押す。

■ ビデオ CD /音楽 CD で好みの一曲 (トラック) だけを繰り返すには
ディスクマネージャー ⇒ 30 ページ

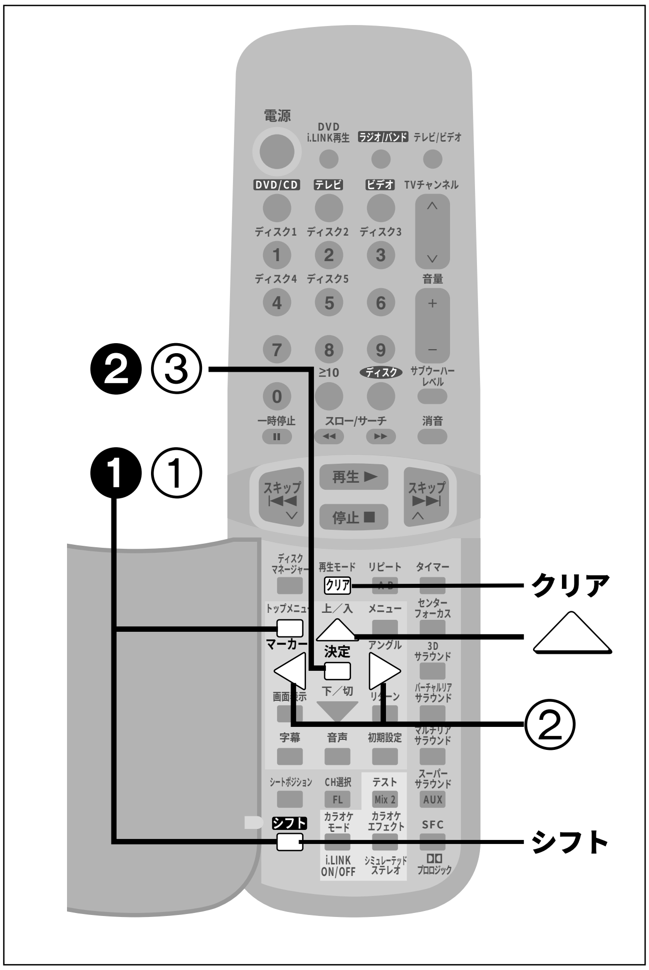
お知らせ

- リピート機能が働かない DVD もあります。
- リピート機能は、インタラクティブな DVD やプレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中には働きません。

好みの位置を記憶させる (マーカー)

DVD **VCD** **CD**

再び見たい (聞きたい) 位置にマークをつけておくと、いつでもそこから再生できます。マークは 5 つまでつけられます。



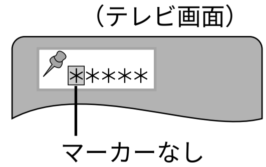
お知らせ

- マーカー機能は選択中のディスクでのみ働きます。
- マークをつけた場所によっては、字幕が表示されないことがあります。
- 時間表示の出ないディスクでは使用できません。
- マークをつけられない DVD もあります。また、プレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中には働きません。
- 電源を切ったり、トレイを開けたり、ディスクをチェンジしたり、入力を切り換えたりするとマークは解除されます。

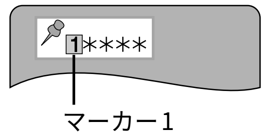
マークをつけるには

再生中にリモコンの

❶ **[シフト] を押しながら**
[マーカー] を押す
テレビ画面にマーカー表示が出ます。

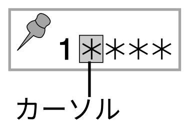


❷ **[決定] を押す**

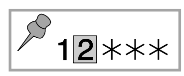


2ヶ所以上マークをつけるときは

1. [▷] を押してカーソルを移動させる。



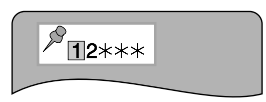
2. [決定] を押す。



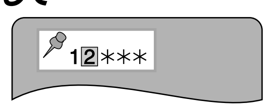
マークをつけた位置から再生するには

リモコンの

① **[シフト] を押しながら**
[マーカー] を押す
テレビ画面にマーカー表示が出ます。



② **[◁] または [▷] を押して**
マーク番号を選ぶ



③ **[決定] を押す**
マークの位置から再生が始まります。
[△] を押しても再生を始めることができます。

■ マーク番号を取り消すには

マーカー表示中に
[◁] または [▷] を押して番号を選び、[シフト] を押しながら[クリア] を押す。

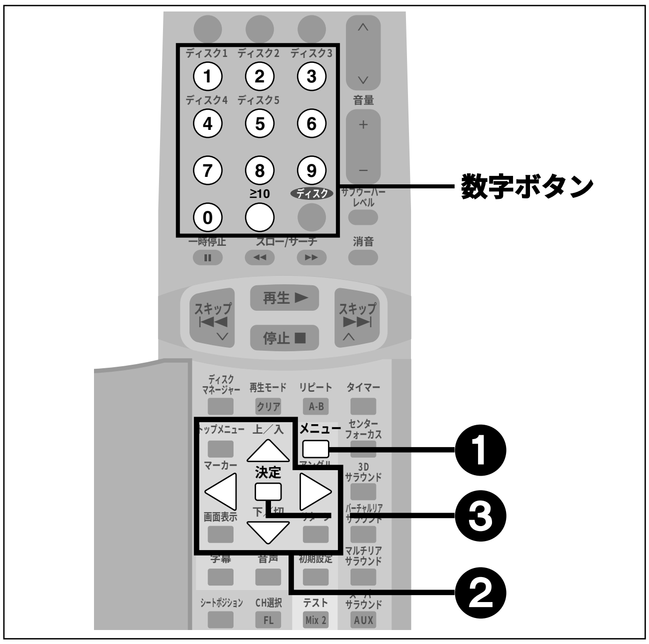
■ マーカー表示を消すには

[シフト] を押しながら [マーカー] を押す。

メニューを使う

DVD

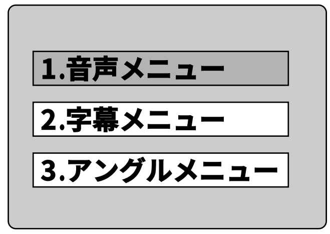
多くの DVD では、映画のシーンなどを選択できるメニュー画面を設けています。また、メニュー選択で再生するのが基本の DVD もあります。
メニューの選びかたはディスクによって異なりますので、ここでは一般的な操作を説明します。



リモコンの

❶[メニュー] を押して
メニュー画面を出す

（テレビ画面）（例）



❷[◁] [▷] [△] または [▽] を押して
メニューを選ぶ

❸[決定] を押す

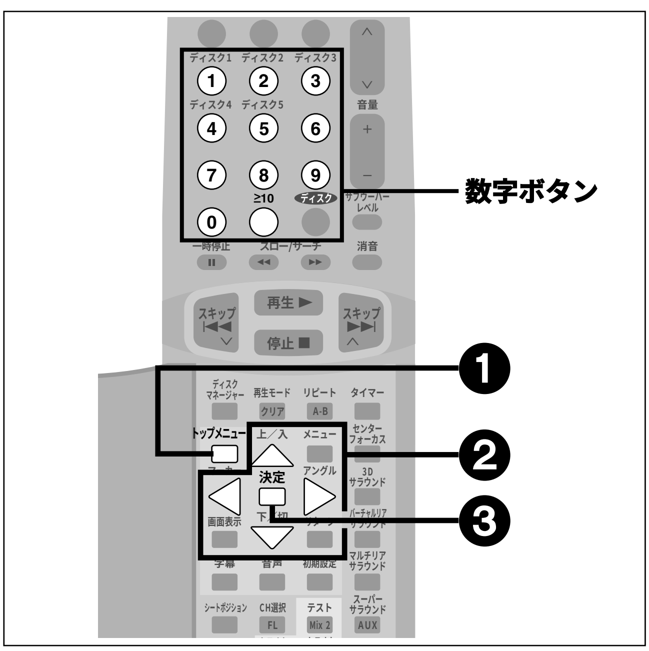
お知らせ

ディスクによっては、数字ボタン [1]～[0]、[≥10] で選べるものもあります。

トップメニューを使う

DVD

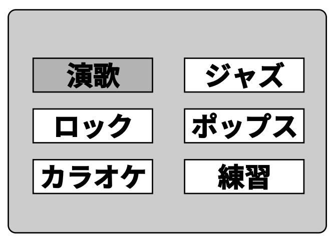
複数タイトルを持つ DVD では、トップメニューからタイトルを選択して再生することができます。
トップメニューの選びかたはディスクによって異なりますので、ここでは一般的な操作を説明します。



リモコンの

❶[トップメニュー] を押して
メニュー画面を出す

（テレビ画面）（例）



❷[◁] [▷] [△] または [▽] を押して
タイトルを選ぶ

❸[決定] を押す

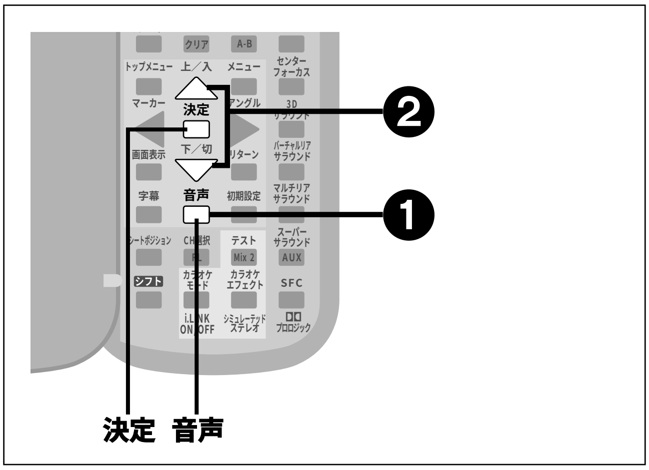
お知らせ

ディスクによっては、数字ボタン [1]～[0]、[≥10] で選べるものもあります。

音声を選ぶ

DVD

DVD では、セリフの声が複数の言語で収録されていたり、別の音声方式（ドルビーデジタルと PCM など）が収録されている場合があります。これを再生中に切り換えることができます。

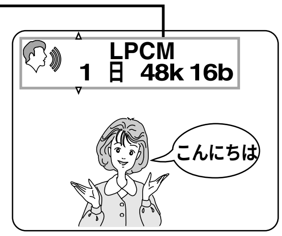


再生中にリモコンの

1 [音声] を押して

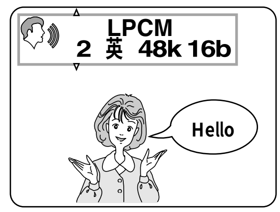
音声表示を出す

（テレビ画面）（例）



2 [△] または [▽] を押して

音声を選ぶ



[音声] を押しても切り換えることができます。

■ 表示を消すには

「決定」を押す。

お知らせ

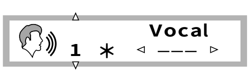
- 希望の音声にならない場合は、ディスクにその音声が収録されていません。
- 始めから好みの言語で聞きたい場合は、初期設定画面で音声言語の設定（⇒ 50 ページ）を行ってください。（電源を入れたときやディスクを入れ替えたときは、その設定が優先されます。設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。ただし、一部のディスクでは異なる場合があります。）
- ディスクによっては、再生中に[音声]を押しても変更できないものもあります。その場合は、[メニュー]あるいは[トップメニュー]を押して、メニュー画面を表示させ、その中で音声言語の設定を行ってください。（⇒ 25 ページ）

カラオケのときは以下のような切り換えができます **DVD**

DVD カラオケディスクでは、ボーカルの入／切が行えます。

1. [音声] を押して音声表示を出す。

   （テレビ画面）



2. 好みのモードを選ぶ

DVD カラオケディスク（ソロ）のとき

[◁] または [▷]を押して選ぶ。

「---」：ボーカル切

「入」：ボーカル入

DVD カラオケディスク（デュエット）のとき

[◁] または [▷]を押して選ぶ。

「---」　：ボーカル切

「1+2 」：ボーカル入

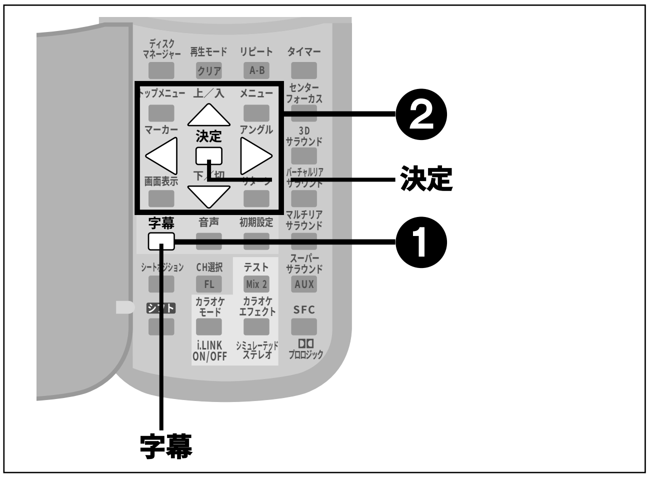
「V1」　：ボーカル 1 のみ入

「V2」　：ボーカル 2 のみ入

字幕言語を選ぶ

DVD

複数の字幕言語が収録されている DVD では、再生中に好みの言語を選ぶことができます。



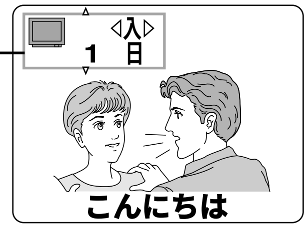
お知らせ

- 希望の言語にならない場合は、ディスクにその言語が収録されていません。
- 始めから好みの言語で見たい場合は、初期設定画面で字幕言語の設定 (⇒ 50 ページ) を行ってください。（電源を入れたときやディスクを入れ替えたときは、その設定が優先されます。設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。ただし、一部のディスクでは異なる場合があります。）

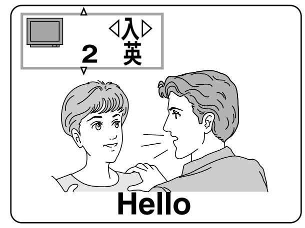
再生中にリモコンの

（テレビ画面）（例）

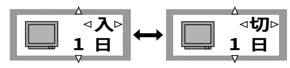
❶ **[字幕] を押して**
字幕言語表示を出す



❷ **字幕言語を選ぶには**
[△] または [▽] を押す
[字幕] を押しても選べます。



字幕を入／切するには
[◁] または[▷] を押す



お知らせ

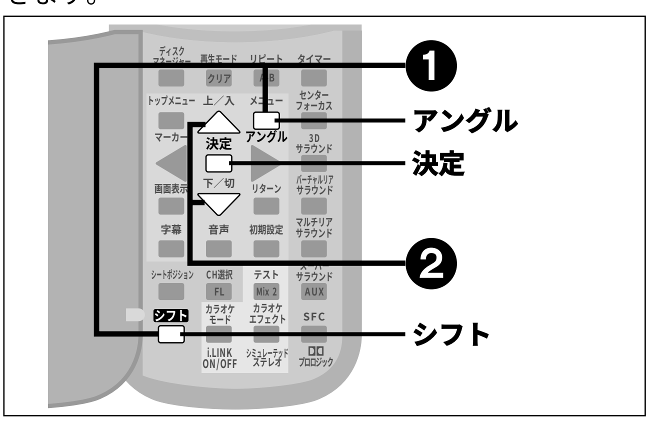
選んだ言語が表示されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。

■ **表示を消すには**
「決定」を押す。

アングルを選ぶ (マルチアングル)

DVD

マルチアングルが収録されている DVD では、1 つの場面を角度や視点などを変えて見ることができます。



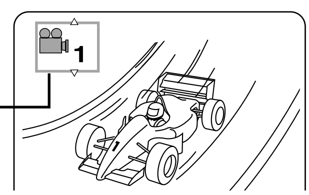
お知らせ

ディスクにマルチアングルが記録されていないと働きません。

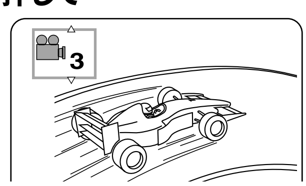
再生中にリモコンの

（テレビ画面）（例）

❶ **[シフト] を押しながら [アングル] を押して**
アングル表示を出す



❷ **[△] または [▽] を押して**
アングルを選ぶ
[シフト] を押しながら [アングル] を押しても選べます。



お知らせ

再生中、マルチアングルがある場所では、本機の表示窓に “ ANGLE ” 表示がでます。

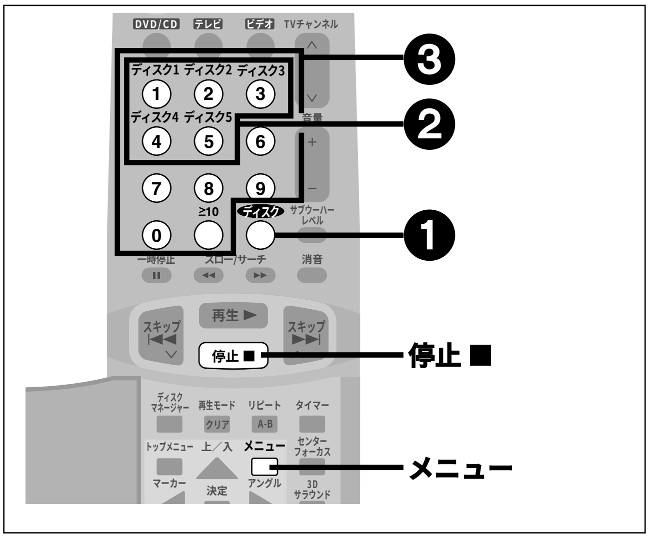
（本体表示窓）



■ **表示を消すには**
「決定」を押す。

好みのトラックから再生する

VCD **CD**



お知らせ

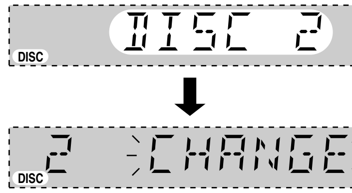
- プレイバックコントロール付きビデオ CD の場合、[停止 ■] を押してプレイバックコントロールを解除しないと、好みのトラックが選べないことがあります。メニュー画面に戻す場合は、[停止 ■] を押してから[メニュー] を押してください。
- この機能が使えないプレイバックコントロール付きビデオ CD もあります。

リモコンの

❶[ディスク] を押す



❷数字ボタン ([1] ～ [5]) を押して ディスクを選ぶ



ディスクが入れ換わり、再生が始まるまでしばらくお待ちください。

❸数字ボタンを押して トラックを選ぶ



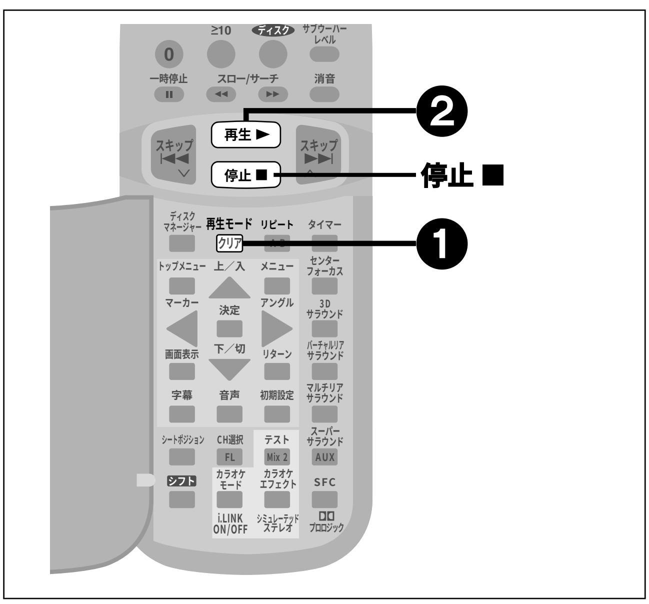
■ 10 以上のトラックの選びかた

例）トラック番号 10：[≥10]→[1]→[0]
　　トラック番号 25：[≥10]→[2]→[5]

順不同に再生する (ランダム)

VCD **CD**

1 枚のディスク内、または入っているディスク内の全トラックを、順不同に 1 度ずつ再生します。



お知らせ

“ RANDOM ALL DISC ” のときは、途中の DVD は再生せずに飛び越します。

1 枚のディスクだけをランダム再生するときは、ディスクを選び (上記手順 ❶、❷ 参照)、 停止状態にしておいてください。

停止中にリモコンの

❶[再生モード] を押して モード（“ RANDOM ” または “ RANDOM ALL DISC ”）**を選ぶ**



押すたびに

RANDOM：1 枚のディスクを順不同に再生
↓
RANDOM ALL DISC：5 枚のディスクを順不同に再生
↓
PRGM：（プログラムモード⇒29 ページ）
↓
（切）：通常再生

❷[再生 ▶] を押す

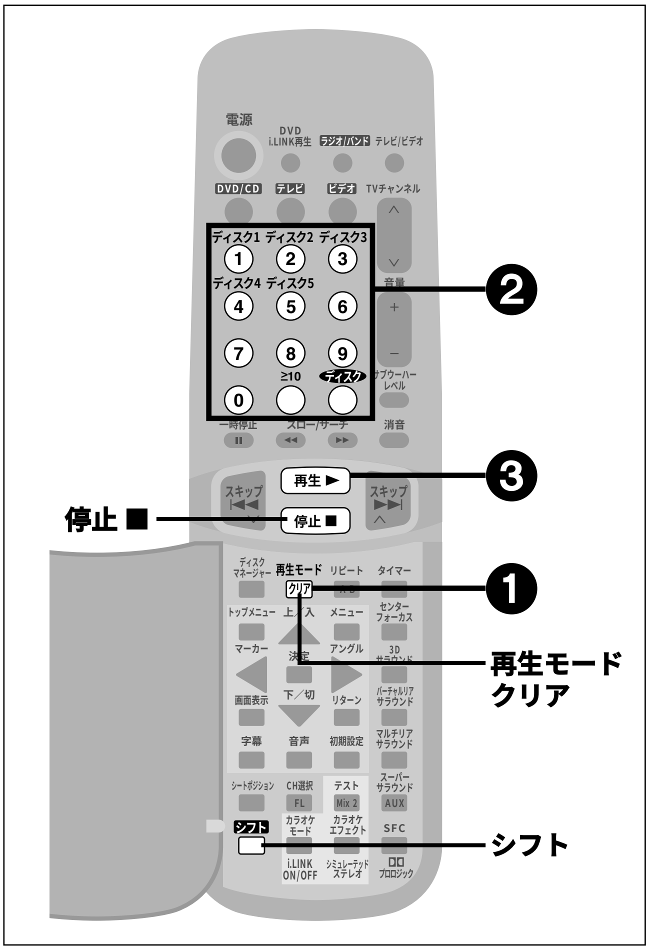
■ 解除するには

[■] を押す。再生も停止します。

好みの順に再生する (プログラム)

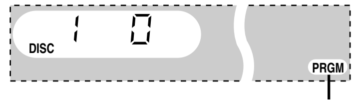
VCD **CD**

最大 24 トラックまで好みの順に再生します。



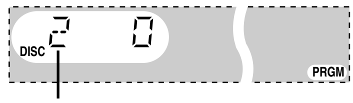
停止中にリモコンの

❶[再生モード] を押して
“ PRGM ” を選ぶ



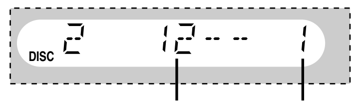
押すたびに
RANDOM⟶RANDOM ALL DISC⟶PRGM
↑――――――――（切）←――――――――┘

❷ ① [ディスク] を押してから
[ディスク 1]〜[ディスク 5] を押して
ディスク番号を選び



ディスク番号

② 数字ボタンを押して
トラックを選ぶ



トラック番号　　予約順

この操作を繰り返して最大 24 トラックまで予約してください。
同じディスクのトラックを続けて選ぶときは、① の操作は不要です。

❸[再生 ▶] を押す

■ 予約したトラックを順不同に再生するには

予約した後、[再生モード] を押して “ PRGM ” と “ RANDOM ” を表示させる。

お知らせ

- 電源を切ったり、トレイを開けたり、ディスクをチェンジしたり、入力を切り換えたりすると、通常再生に戻ります。（ただし予約内容は記憶されています。）
- 実際には入っていないディスクやトラック、または DVD を予約した場合は、再生時に飛ばして、次に予約したトラックを再生します。

■ 通常再生に戻すには

停止させた後、“ PRGM ” 表示が消えるまで [再生モード] を押して (切) の状態にする。（予約内容は記憶されています。）
もう一度 [再生モード] を押して “ PRGM ” 表示にすると、前に予約した内容でプログラム再生できます。

■ 最後に予約したトラック番号を取り消すには

停止させた後（続き再生メモリーが働いているときは、[停止 ■]を押して解除してください）、[シフト] を押しながら、[クリア] を押す。

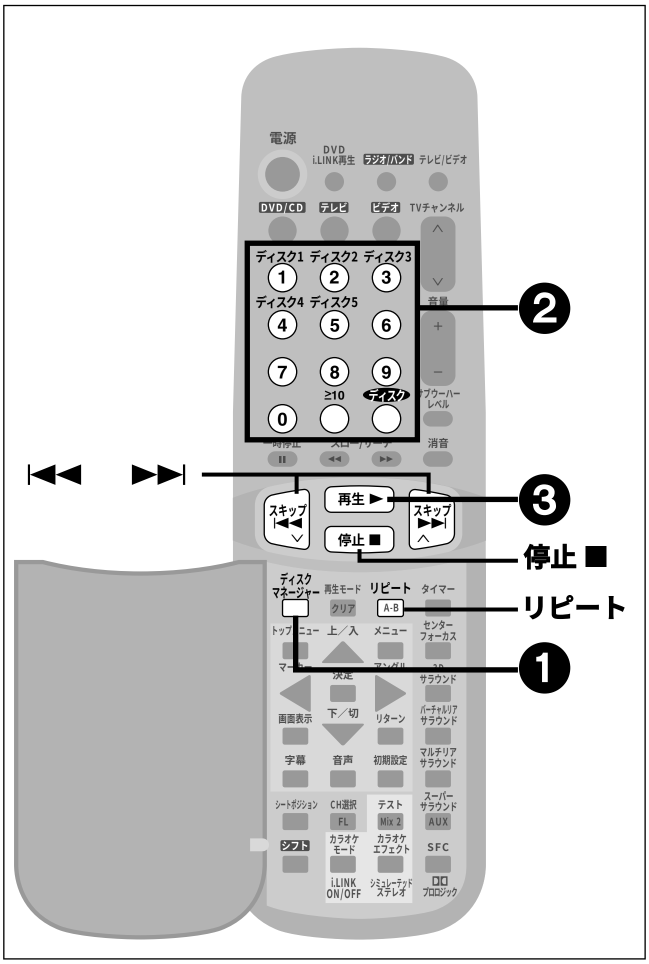
■ 予約をすべて取り消すには

停止させた後（続き再生メモリーが働いているときは、[停止 ■]を押して解除してください）、[停止 ■] を押して “ PRGM ” 表示を消す。
“ CLEAR ” が表示されます。
“ CLEAR ” が出ないときは予約内容が取り消されていません。このときは一度再生した後、停止させてから [停止 ■] を押してください。

ディスクマネージャーを使う

VCD **CD**

1 曲（トラック）だけ、1 枚のディスクだけ、5 枚のディスクを連続してなど、いろいろな再生ができます。



お知らせ

- “ RANDOM ”、“ PRGM ”点灯中は使用できません。
- “ A ” または “ ALL DISC ” モードでプレイバックコントロール付ビデオ CD を再生すると、メニュー画面の操作をしなくても、ディスクをひととおり再生できます。
- 途中の DVD は、飛び越して再生します。

停止中にリモコンの

❶ [ディスクマネージャー] を押してモードを選ぶ

押すたびに

→ 1-TRACK （T） 1トラック再生
↓
1-DISC （A） 1枚のディスク全体を再生
↓
ALL-DISC （ALL DISC） 5枚のディスクを連続再生
↓
NORMAL （切）：通常再生

❷ 再生するディスク、トラックを選ぶ

ディスクを選ぶとき
[ディスク] を押してから [ディスク 1]〜[ディスク 5] を押して、ディスク番号を選ぶ

トラックを選ぶとき
数字ボタンを押して、トラックを選ぶ
[|◀◀] または [▶▶|] を押してトラックを選ぶこともできます。

❸ [再生 ▶] を押す

■ 再生中にディスクマネージャーを解除するには
[停止■] を 2 回押す。

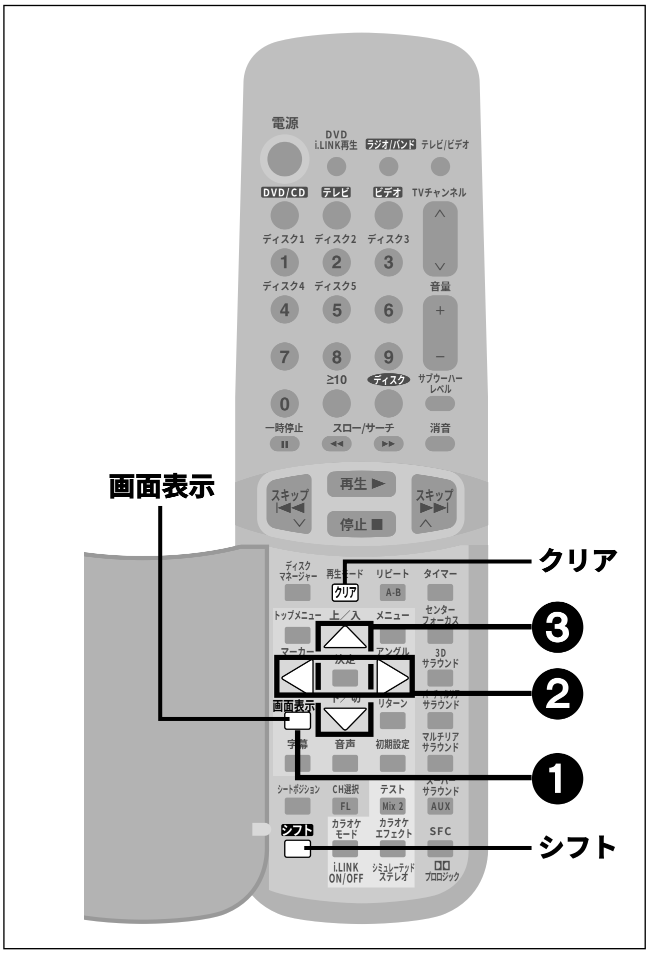
■ 好みの 1 曲（トラック）だけ、好みのディスク 1 枚だけを繰り返すには
ディスクマネージャーの再生中に [リピート] を押す。

絵表示を使って操作する (GUI)

GUI 画面を使うには (基本操作)

DVD

GUI (Graphical User Interface) とは、「絵表示などを使って操作する画面」のことを意味します。
本機の場合は、ディスク情報や本機の情報などを表示する細長い画面を「GUI 画面」と呼び、各種情報が一目で確認でき、また変更も簡単に行えます。

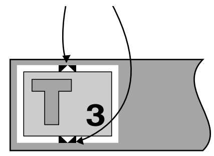


リモコンの

❶ [画面表示] を押して
テレビにGUI 画面を出す
押すたびに下のようにGUI画面が切り換わります。

❷ [◁] または [▷] を押して
絵表示 (項目) を選ぶ

このしるしのついた項目が変更できます。



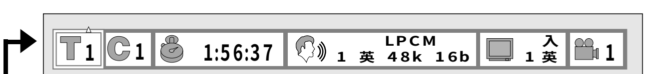
❸ [△] または [▽] を押して
変更する

■ GUI 画面を消すには
GUI 画面が消えるまで [画面表示] を押す。
または [シフト] を押しながら[クリア] を押す。

お知らせ
- 操作できる絵表示はディスクや、ディスクの動作状態 (再生中やメニュー表示中、停止中など) によって異なります。
- 変更操作については、一部異なるものがありますので、“ 各絵表示の使いかた ” (⇒ 32、33 ページ) を参照してください。
- タイトルやチャプターなど、変更操作後に GUI 画面が消えるものもあります。
- GUI 画面の一部が欠けたり、表示されなかったりするときは、初期設定画面でオンスクリーンの設定を変更してください。(⇒ 50 ページ)

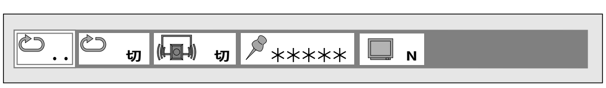
GUI 画面には次の 3 つがあります。

ディスク情報画面：



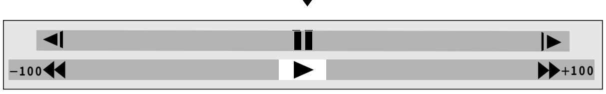
タイトルやチャプターを選んだり、時間表示/音声/字幕/アングルなどの切り換えができます。

本機の情報画面：



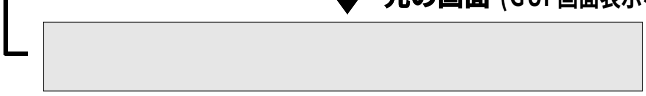
好みの位置をマークしたり、好きな場所を繰り返したりできます。

シャトル画面：



早戻し/早送りや、スロー再生、一時停止 (静止) ができます。

元の画面 (GUI 画面表示なし)

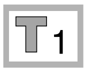
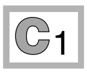
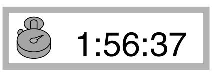
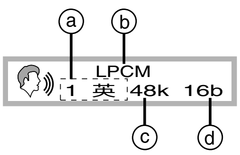
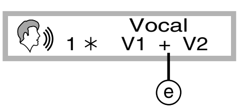
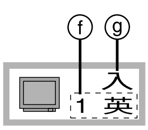
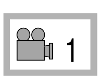


各絵表示の使いかた

DVD

ディスク情報画面

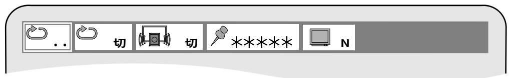


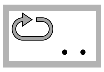
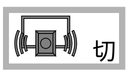
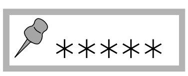
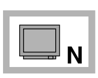
絵表示	内容	変更方法
	タイトル番号を表わします。	[△] [▽] または数字ボタンを押して [決定]
	チャプター番号を表わします。	[△] [▽] または数字ボタンを押して [決定]
	経過時間を表わします。	数字ボタンを押して [決定]
	ⓐ 音声の番号を表わします。 言語の略称は下記の表のとおりです。	[△] [▽] または数字ボタンを押す
	ⓑ 信号のタイプを表わします。 LPCM (リニア PCM)、DD Digital (ドルビーデジタル) または DTS ⓒ サンプリングレートまたはチャンネル数を表わします。 LPCM なら ：48 kHz または 96 kHz DD Digital なら ：1 ch〜5.1 ch DTS なら ：1 ch〜5.1 ch ⓓ ビット数を表わします。 LPCM のみ ：16〜24 bit	ー
	ⓔ ボーカルの「入」「切」を表わします。 ソロなら ：---（切）または 入 デュエットなら：---（切）、V1+V2、V1 または V2	**DVD カラオケのみ** [△] [▽] を押す
[◁][▷]でⓕ、ⓖを選べます。 	ⓕ 字幕の番号を表わします。 言語の略称は下の表のとおりです。	[△] [▽] または数字ボタンを押す
	ⓖ 字幕表示の「入」「切」を表わします。	[△] [▽] を押す
	アングル番号を表わします。	[△] [▽] または数字ボタンを押す

選択数字が表示される項目は、数字ボタンでも選べます。

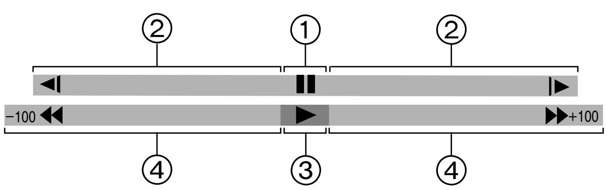
言語の略称	**日**	日本語	**独**	ドイツ語	**蘭**	オランダ語	**韓**	韓国語
	英	英語	**伊**	イタリア語	**中**	中国語	**＊**	その他
	仏	フランス語	**西**	スペイン語	**露**	ロシア語		

本機の情報画面



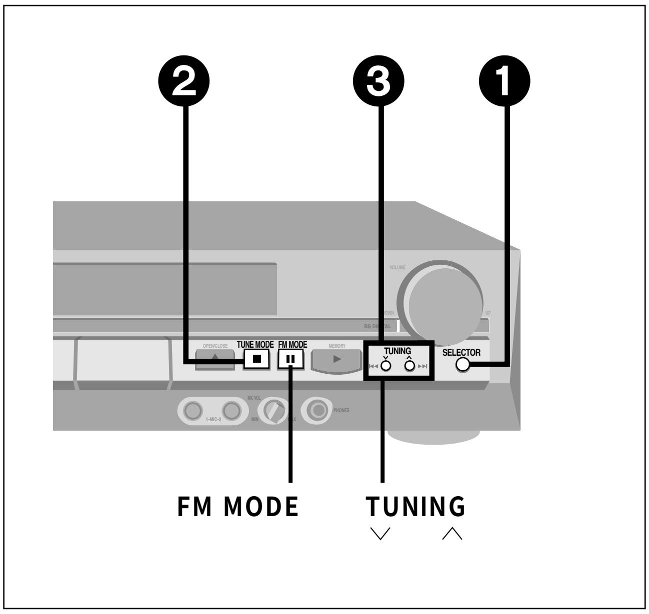
絵表示	内容	変更方法
	A-B リピート再生を開始、解除します。	[決定] を押して開始位置、終了位置を選ぶ。 または解除する。
	リピート再生のモードを選びます。 切：通常再生 C：チャプターリピート T：タイトルリピート	[△] または [▽] を押す。
	シネマボイスモードの入／切を表わします。 切：通常の音声 入：セリフ（センターチャンネル）の音量が上がり、聞き取りやすくなります。（ドルビーデジタル 3ch 以上）	[△] または [▽] を押す。
[決定]を押して、絵表示を選んでから操作してください。 	マークを付ける。	[決定] を押す。
	マークを呼び出す。	[◁] または [▷] で選び、[決定] を押す。
	マークを消す。	[◁] または [▷] で選び、[シフト] を押しながら、[クリア] を押す。
	シネマポジションの入／切を表わします。 N：通常の画質（切） C：映画に適した画質（シネマポジション入）	[△] または [▽] を押す。

シャトル画面



絵表示	変更方法
① 一時停止	[△] を押す。
② スロー再生　◀▮：戻し方向 ▮▶：送り方向	[△] を押して、[◁] または [▷] を押す。 各方向 5 段階まで選べます。
③ 再生	ー
④ 早戻し/早送り　◀◀：戻し方向 ▶▶：送り方向	[◁] または [▷] を押す。 各方向 5 段階まで選べます。

ラジオを聞く



本体の

❶[SELECTOR] を押して “ FM ” または “ AM ” を選ぶ



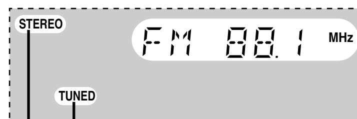
押すたびに　DVD/CD→FM→AM→TV-ANALOG
↑ ↓
AUX ← VCR ← TV-DIGITAL

❷[TUNE MODE] を押して “ MANUAL ” を選ぶ



押すたびに
MANUAL⟷PRESET

❸TUNING [∨] または [∧] を押して 放送局を選ぶ



正確に受信すると点灯
ステレオ放送を受信すると点灯

■ 自動選局するには

TUNING [∨] または [∧] を押したままにして、周波数表示が動き始めたら指を離す。
最初に受信した放送局で自動停止します。

お知らせ

周囲に電波妨害があると、放送局を受信せずに停止することがあります。

■ FM 放送で雑音が多いときは

[FM MODE] を押す。

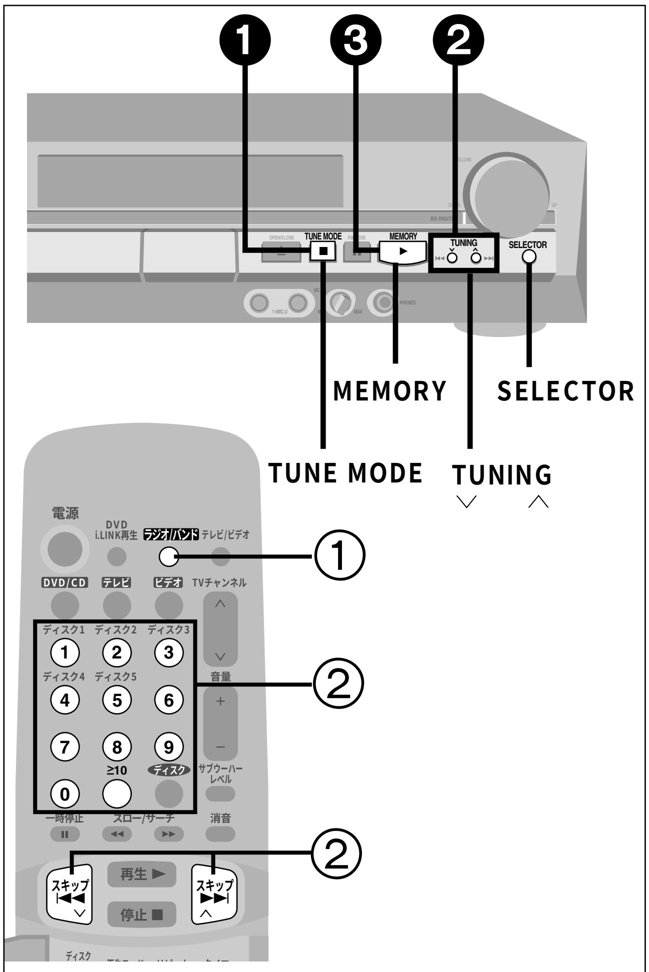


- モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
- 通常は “ MONO ” を消灯させておいてください。(再度 [FM MODE] を押します。)

- AM の音声はモノラルです。
- 電波が受信しにくいときや、i. LINK 接続をしていて雑音が多いときは、屋外アンテナの利用をおすすめします。(⇒ 45 ページ)

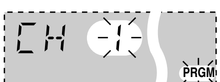
放送局を記憶させて聞く

チャンネルに放送局を記憶させておくと、簡単な操作で聞けます。
FM、AM とも12 局ずつ記憶できます。

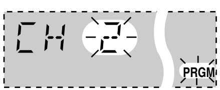


■ **1 局ずつ記憶させるには**

1. [MEMORY] を押す。
2. TUNING [∨] または [∧] を押して放送局を選ぶ。
3. [MEMORY] を押す。



4. TUNING [∨] または [∧] を押して、記憶させるチャンネルを選ぶ。



5. [MEMORY] を押す。

他の局も記憶させるには以上の操作を繰り返してください。

■ **記憶させた放送局を本体で選ぶには**

1. [SELECTOR] を押して、“ FM ” または “ AM ” を選ぶ。
2. [TUNE MODE] を押して、“ PRESET ”を選ぶ。
3. TUNING [∨] または [∧] を押して、チャンネルを選ぶ。

記憶させるには

準備
本体の [SELECTOR] または、リモコンの [ラジオ/バンド] で “ FM ” または “ AM ” を選んでください。

本体の

❶ [TUNE MODE] を押して “ MANUAL ” を選ぶ



押すたびに
MANUAL⟷PRESET

❷ TUNING [∨] または [∧] を押して 一番低い周波数を選ぶ

FM：76.0 MHz
AM：522 kHz



❸ [MEMORY] を押したままにして 周波数表示が動き始めたら指を離す

記憶している間は “ PRGM ” が点滅します。
終了すると、最後に記憶した放送局で受信状態になります。

お知らせ
記憶した放送局は電源コードを抜いても、約 2 週間保持されます。

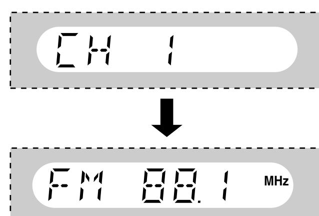
記憶させた放送局を聞くには

リモコンの

① [ラジオ／バンド] を押して “ FM ” または “ AM ” を選ぶ



② 数字ボタンまたはスキップ [∨]、[∧] を押して チャンネルを選ぶ



数字ボタンでチャンネル 10 以上を選ぶには
例）チャンネル10：[≥10]→[1]→[0]
チャンネル12：[≥10]→[1]→[2]

サラウンド効果を楽しむ

本機で楽しめるサラウンド効果

種類		特徴	利用できるソース
Dolby Digital（ドルビー デジタル）		ディスクリート 5.1 (6) チャンネル方式を用いた映画館用デジタルサラウンドシステムの 1 つです。	DOLBY DIGITAL 上記のマークのついた ● ディスク
DTS (Digital Theater Systems)（デジタル シアター システムズ）		ディスクリート 5.1 (6) チャンネル方式を用いた映画館用デジタルサラウンドシステムの 1 つです。音質を重視して圧縮率を低くしているので、よりリアルな音響効果が得られます。	DIGITAL dts SURROUND 上記のマークのついた ● ディスク
AAC (Advanced Audio Coding)（アドバンスト オーディオ コーディング）		BSデジタル放送で採用されている音声圧縮方式です。最大 5.1 (6) チャンネルのデジタルサラウンドに対応しています。	● BSデジタル放送
Dolby Pro Logic（ドルビー プロ ロジック）		Dolby Surround のソースによりリアルな音場を形成するため開発されたデコードシステムです。センタースピーカーチャンネルを独立させることで、特に定位感を向上させています。	DOLBY SURROUND 上記のマークのついた ● ディスク ● ビデオテープ
SUPER SURROUND（スーパー サラウンド）	MOVIE（ムービー）	上記のようなシステムで記録されていない映画ソフトにサラウンド効果を付加します。	ステレオ録音されていればどのソースでも可能。 ただし、ラジオは不可。
	MUSIC（ミュージック）	ステレオ録音された音楽ソースにサラウンド効果を付加します。	

各サラウンド効果と合わせて、次のような拡張機能を使うことができます。

使用できる拡張機能

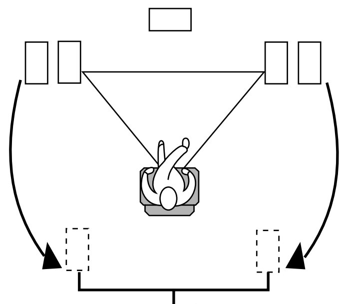
使用できる拡張機能
Ⓐ Virtual rear surround（バーチャル リア サラウンド） Ⓑ Multi rear surround（マルチ リア サラウンド） Ⓒ Center focus（センター フォーカス） Ⓓ 3D enhanced surround（エンハンスト サラウンド） Ⓔ Seat position（シート ポジション）
Ⓐ Virtual rear surround（バーチャル リア サラウンド） Ⓑ Multi rear surround（マルチ リア サラウンド） Ⓓ 3D enhanced surround（エンハンスト サラウンド） Ⓔ Seat position（シート ポジション）
なし

拡張機能

Ⓐ Virtual rear surround（バーチャル リア サラウンド）

(⇒ 41 ページ)

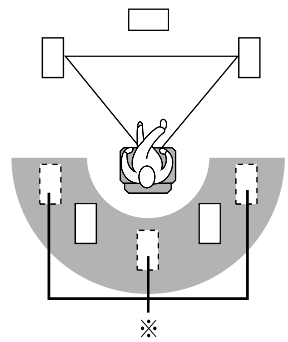
- サラウンドスピーカーをフロントスピーカーに並べて設置している場合に使用します。
- サラウンドスピーカーの音声が後から聞こえてくるような効果※があります。



Ⓑ Multi rear surround（マルチ リア サラウンド）

(⇒ 41 ページ)

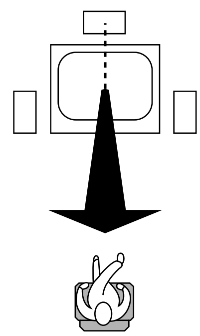
- いくつものサラウンドスピーカーがあるかのような効果※を作り出し、映画館にいるような雰囲気を出します。



Ⓒ Center focus（センター フォーカス）

(⇒ 41 ページ)

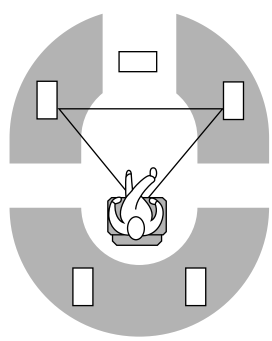
- テレビの上から出ている音声がテレビの中から聞こえてくるような感じになります。
- センタースピーカーはテレビの上方に置いてください。



Ⓓ 3D enhanced surround（エンハンスト サラウンド）

(⇒ 41 ページ)

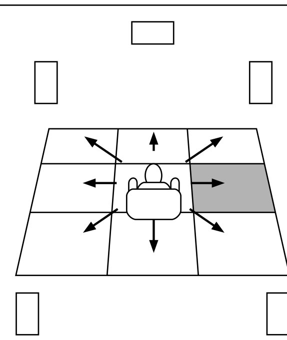
- フロントスピーカーとサラウンドスピーカーの音声の立体感が増し、上の方からも音が聞こえるような感じになります。



Ⓔ Seat position（シート ポジション）

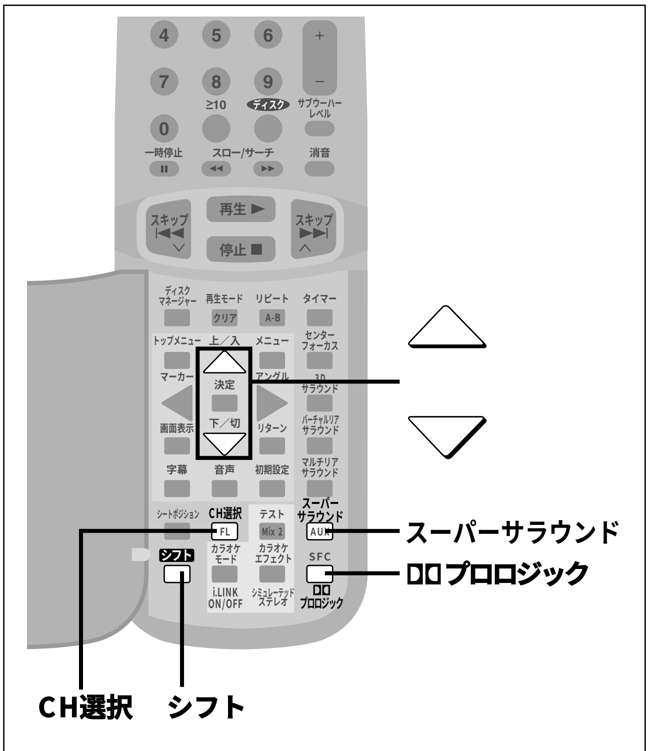
(⇒ 42 ページ)

- 視聴位置を変えても、音声が元の位置と同じように聞こえます。



サラウンド効果の使いかた

ドルビーデジタル、DTS、ドルビープロロジック、スーパーサラウンド（MOVIEのみ）、AACは、41、42ページの拡張機能と組み合わせて使うことができます。
組み合わせ方については36、37ページの表をご覧ください。



ドルビーデジタル、DTSを楽しむ

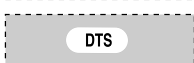
DVD

(ドルビーデジタル、DTS で記録されたディスクのみ)
本格的なホームシアターを楽しむことができます。
DVDにドルビーデジタル、DTSの信号が入っているときは、再生を始めると自動的に判別します。

ドルビーデジタル



DTS



お知らせ

- 複数の音声方式 (DTSとドルビーデジタルなど) がある場合は、音声を切り換えて選んでください。(⇒ 26 ページ)
- スピーカーの出力レベルを調整することができます。 (⇒ 40ページ)

ドルビープロロジックを楽しむ

(ドルビーサラウンドで記録された DVD、ビデオテープ、CD など)
臨場感のあるサラウンドサウンドを楽しむことができます。

リモコンの

[シフト］を押しながら [DD プロロジック] を押す

本体表示窓に“ DOLBY PRO LOGIC ”と表示されます。



■ 解除するには
［シフト］を押しながら [DD プロロジック] を押す。

お知らせ

スピーカーの出力レベルを調整することができます。(⇒ 40ページ)

スーパーサラウンドを楽しむ

普通のステレオ音声に、サラウンド効果を付けることができます。(ラジオ以外)

リモコンの

[スーパーサラウンド] を押して、モードを選ぶ

押すたびに

MUSIC（音楽）



↓

MOVIE（映画）



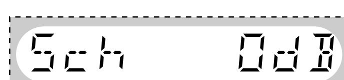
↓

STEREO SOUND（切）

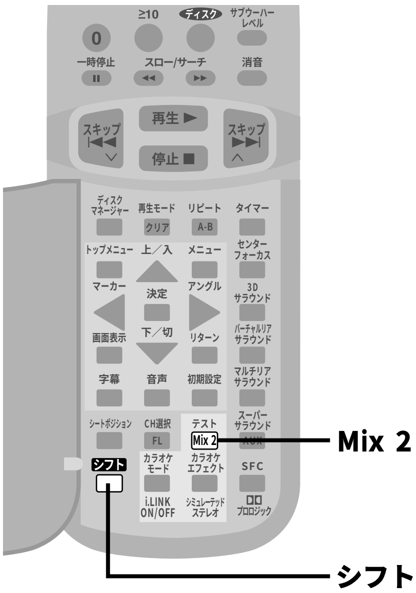
■ 解除するには
[スーパーサラウンド]を押して、“ STEREO SOUND ” (切) を選ぶ。

■ サラウンドスピーカーのレベルを調整するには

1. [CH 選択] を押す。



2. [△] または [▽] を押してレベルを調整する。
   (－10 dB ～ ＋6 dB 範囲)



ドルビーデジタル、DTSは、各音声方式で記録されたディスクでのみ使用できます。
また、ドルビープロロジック、スーパーサラウンドおよびシミュレーテッドステレオは入力がラジオのときは使用できません。

AACはBSデジタル放送の音声を受信中のみ使用できます。

ドルビープロロジック、スーパーサラウンドおよびシミュレーテッドステレオはカラオケエフェクトをオンにしたり、ヘッドホンやマイクを接続したりすると使用できません。

AAC（BSデジタル）を楽しむ

BS デジタルチューナー内蔵機器を光入力端子、または i. LINK 端子に接続して、AAC で圧縮された BS デジタル放送の音声を本機で楽しむことができます。
AAC の信号が入力されると、自動的に判別し再生します。

お知らせ

- 接続した機器のデジタル出力の設定が必要です。詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- スピーカーの出力レベルを調整することができます。 (⇒ 40ページ)

MIX 2ch にする

ドルビーデジタルなどの 5.1 ch の音声を 2 ch に集約してフロントスピーカーから出力します。

リモコンの

[シフト]を押しながら
[Mix 2] を押す



■ 解除するには
[シフト] を押しながら [Mix 2] を押す。

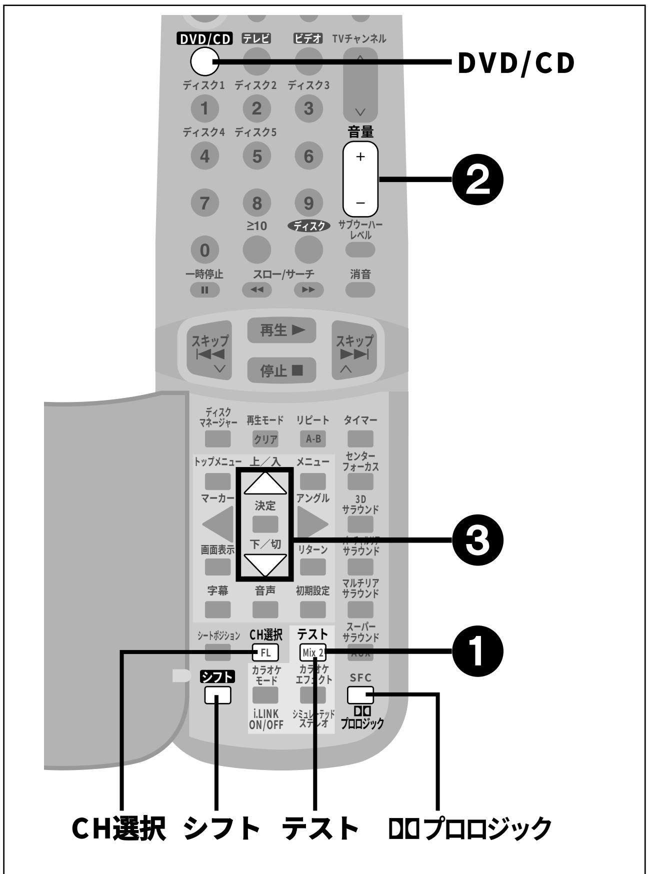
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

この製品は米国DTS社からの実施権に基づき製造されています。「DTS」および「DTSディジタルサラウンド」はDTS社の商標です。
著作権1996年DTS社。不許複製。

サラウンド効果の使いかた

スピーカーレベルの調整
（ドルビーデジタル、DTS、AAC、ドルビープロロジック）

実際にソフトを再生してみて、各スピーカーのレベルにばらつきがあると感じるときは、視聴する位置に座った状態で、全てのスピーカーからの出力が同じ音量になるように調整してください。



■ テスト信号を止めるには

[テスト] を押す。

■ 再生中に各スピーカーを個々で調整するには

1. [CH 選択] を押してスピーカーを選ぶ。

   ドルビーデジタル、DTS、AAC のとき

   L ⟶ C ⟶ R
   ↑　　　　　↓
   SW ← LS ← RS

   SW（サブウーハー）レベルが“ SUB W 0 ”のときには選択できません。また、SWレベルを“ 4 ”などの高い値に設定した状態でレベルを上げると音が歪むことがあります。(⇒44 ページ)

   ドルビープロロジックのとき

   L → C → R → S
   ↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿｣

2. [△] または [▽] を押して調整する。

■ 各スピーカーの調整可変レベルは

L、R：　　　　　–16 dB〜0 dB
C、RS、LS、S：–10 dB〜+6 dB
SW：　　　　　　–10 dB〜+10 dB　です。

準備

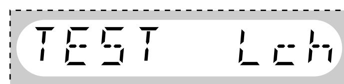
ドルビーデジタル、DTS、AAC の調整を行うときは
[DVD/CD] を押す。
ドルビープロロジック、スーパーサラウンドをオンしているときは解除してください。

ドルビープロロジックの調整を行うときは
スーパーサラウンドをオンしているときは解除してください。
入力をラジオ以外にして、[シフト] を押しながら [DDプロロジック] を押す。

リモコンの

❶ [テスト] を押して
テスト信号を出力する

（Lのとき）



次の順序で出力されます。

ドルビーデジタル、DTS、AAC のとき

L：フロント左スピーカー
C：センタースピーカー
R：フロント右スピーカー
RS：サラウンド右スピーカー
LS：サラウンド左スピーカー
※サブウーハーからは出力されません。

ドルビープロロジックのとき

L：フロント左スピーカー
C：センタースピーカー
R：フロント右スピーカー
S：サラウンドスピーカー
※サブウーハーからは出力されません。

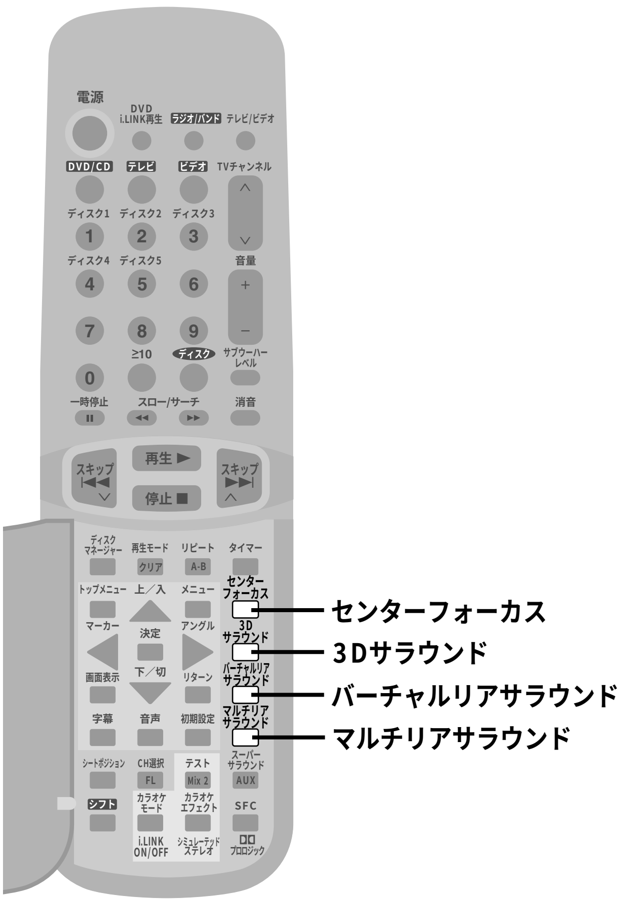
❷ [音量（+または–）] を押して
通常聞く音量にする

❸ [△] または [▽] を押して
各スピーカーのレベルが同じになるように調整する

- ドルビーデジタル、DTS、AAC を別に調整することはできません。

拡張機能を使う

以下の拡張機能は、ドルビーデジタル、DTS、ドルビープロロジック、スーパーサラウンド(MOVIEのみ)、AACと組み合わせて使うことができます。
組み合わせ方については36、37ページの表をご覧ください。



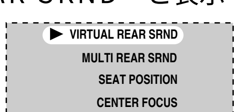
バーチャルリアサラウンドを使う

設置場所の都合でサラウンドスピーカーをフロントスピーカーの横に置いている場合に使用してください。
前面に設置したサラウンドスピーカーの音が、後から出ているように聞こえます。

リモコンの

[バーチャルリアサラウンド] を押す

本体表示窓に " VIRTUAL "" REAR SRND " と表示されます。



■ 解除するには

[バーチャルリアサラウンド] を押して、" ▶ " 表示を消す。

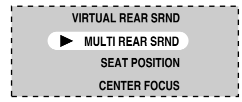
マルチリアサラウンドを使う

サラウンドスピーカーの数が増えたように聞こえます。

リモコンの

[マルチリアサラウンド] を押す

本体表示窓に " MULTI "" REAR SRND " と表示されます。



■ 解除するには

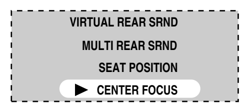
[マルチリアサラウンド] を押して、" ▶ " 表示を消す。

センターフォーカスを使う

テレビの上方に置いたセンタースピーカーの音が、テレビ画面の位置から出ているように聞こえます。

リモコンの

[センターフォーカス] を押す



押すたびに本体表示窓に

CENTER FOCUS1： 入（標準）
↓
CENTER FOCUS2： 入（効果大）
↓
（切）：切

" 2 " を選ぶと、センターフォーカスの効果が強まるとともに、小さい音量のときでも会話がクリアに聞こえるようになります。

■ 解除するには

[センターフォーカス] を押して、" ▶ " 表示を消す。

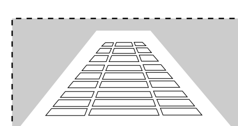
3Dエンハンストサラウンドを使う

フロントとサラウンドスピーカーの上の方から音が聞こえてくるような感じになります。

リモコンの

[3Dサラウンド] を押す

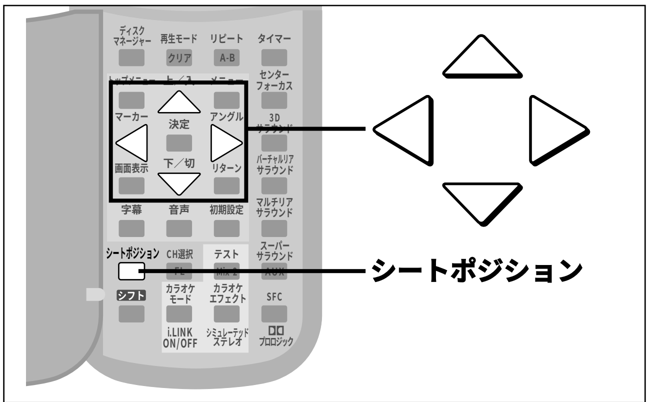
本体表示窓に " 3D "
" ENHANCED " と表示されます。



■ 解除するには

[3Dサラウンド] を押す。

拡張機能を使う



シートポジションを使う

シートポジションは、ドルビーデジタル、DTS、ドルビープロロジック、スーパーサラウンド（MOVIEのみ）、AACと組み合わせて使うことができます。
組み合わせ方については36、37ページの表をご覧ください。

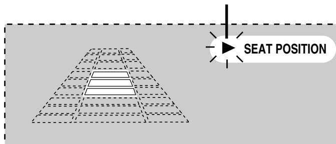
室内の配置などによって、理想的な位置（中央）で視聴できない場合は、シートポジションを調整してください。部屋の中央で聞いているような感じになります。

リモコンの

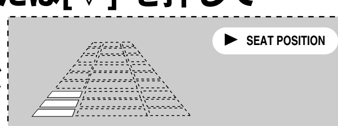
1. [シートポジション]を押す

本体表示窓に“ SEAT ”“ POSITION ”と表示されます。

点滅



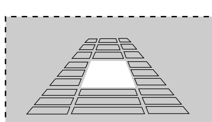
2.“ ▶ ”点滅中に、[◁] [▷] [△] または[▽] を押して実際の視聴位置に近い位置を選ぶ



お知らせ

- バーチャルリアサラウンドおよび3D エンハンストサラウンドのときは、左右方向にだけ調整できます。
- 3D エンハンストサラウンドのときは、本体表示窓の表示が反転します。

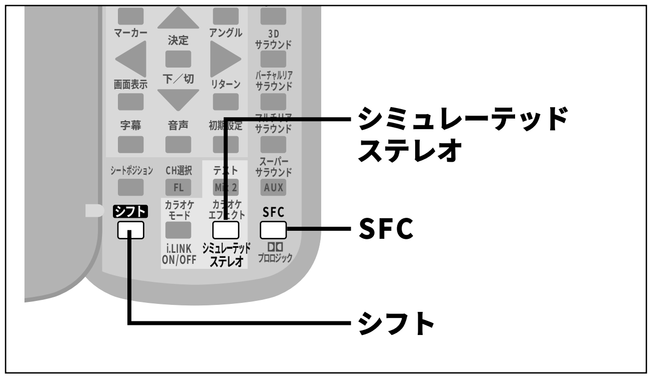
3D エンハンストサラウンドのとき



■ **解除するには**

[シートポジション] を押す。

その他の効果



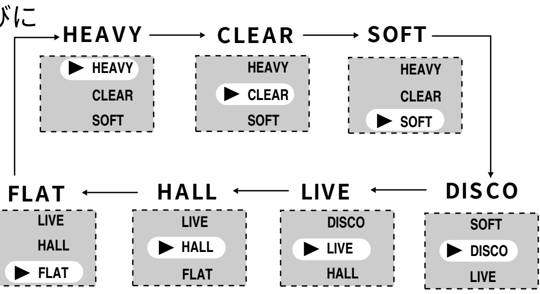
SFC (サウンドフィールドコントロール)を使う

いろいろな効果を楽しむことができます。
どのソースでも行えます。

リモコンの

[SFC] を押す

押すたびに



HEAVY（ヘビー）：ロックなど。パンチを効かせます。
CLEAR（クリア）：ジャズなど。高音部を鮮明にします。
SOFT（ソフト）：BGM など。ソフトな音にします。
DISCO（ディスコ）：ディスコのような長い残響音があります。
LIVE（ライブ）：ボーカルにつやを出します。
HALL（ホール）：大ホールのような音の広がりがあります。
FLAT（フラット）：SFC 効果を使わない状態に戻ります。

■ **解除するには**

[SFC] を押して “ FLAT ” を選ぶ。

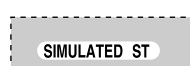
シミュレーテッドステレオを楽しむ

モノラル音声をステレオサウンドのようなイメージで聞くことができます。(ラジオ以外)

リモコンの

[シフト]を押しながら
[シミュレーテッドステレオ]を押す

本体表示窓に“ SIMULATED ”“ STEREO ”と表示されます。



■ **解除するには**

[シフト] を押しながら [シミュレーテッドステレオ] を押す。

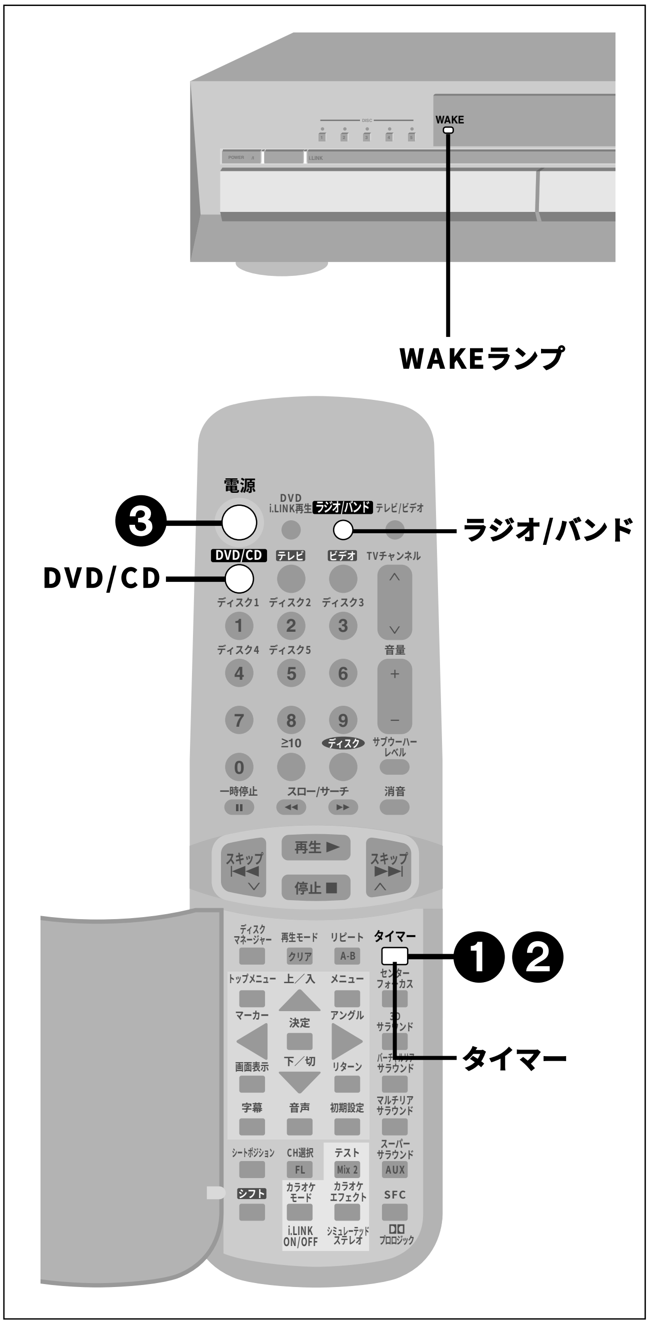
タイマーを使う

スリープタイマー
セットした時間に電源が切れます。30、60、90 分の設定ができます。

ウェイクタイマー
電源を切ってから一定の時間がたつと電源が入り、音楽 CD またはラジオの再生を始めます。
5 、7、9 時間の設定ができます。

準備

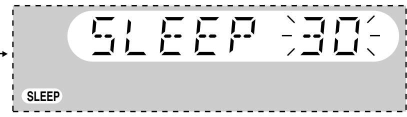
- **音楽 CD のとき**
  [DVD/CD] を押して入力を“ DVD/CD ”にし、CD を入れる。
- **ラジオのとき**
  [ラジオ/バンド] を押して、“ FM ”または“ AM ”を選ぶ。



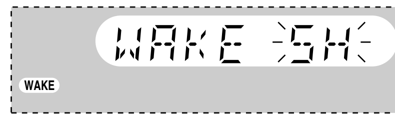
リモコンの

❶[タイマー] を押して
“ SLEEP ” または “ WAKE ” を選ぶ

押すたびに



スリープタイマー



ウェイクタイマー

OFF（タイマー切）

❷表示点滅中に [タイマー] を長押しして
時間を設定する

長押しするたびに

スリープタイマーでは
30→60→90（分）

ウェイクタイマーでは
5H→7H→9H（時間）

❸ウェイクタイマーのみ
[電源] を押して
電源を切る

［WAKE］ランプが点灯します。

■ スリープタイマーの残り時間や、ウェイクタイマーの設定時間を調べるには

[タイマー] を押す。

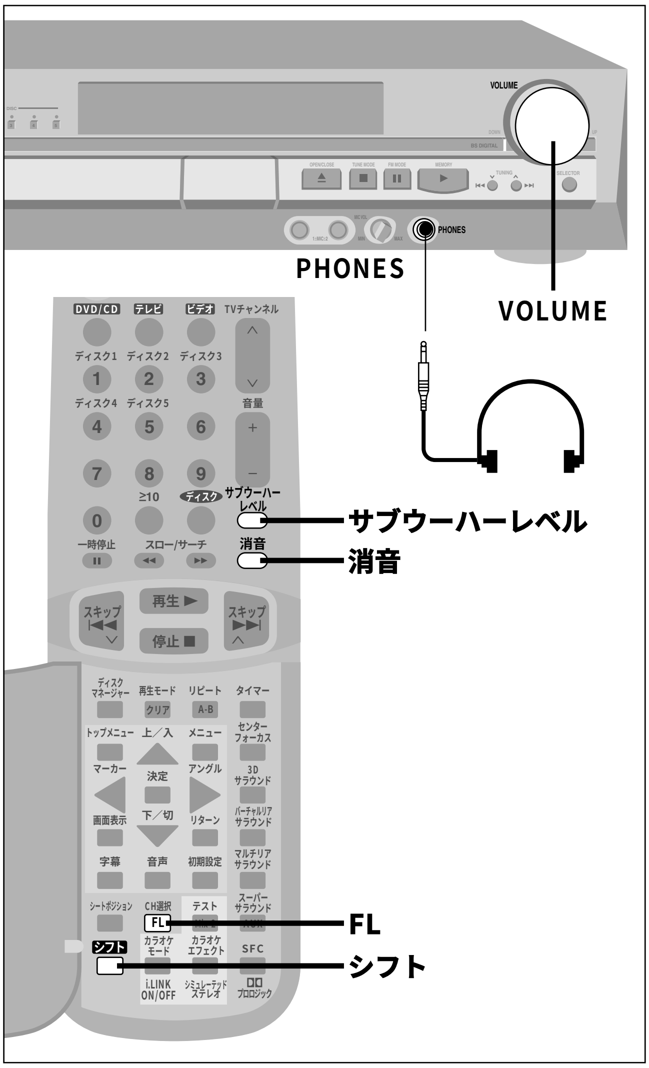
■ 解除するには

[タイマー] を押し、“ OFF ” を選ぶ。

お知らせ

スリープタイマーとウェイクタイマーは同時に使用できません。

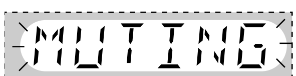
便利な機能



一時的に消音する (ミューティング)

リモコンの

[消音] を押す



■ **解除するには**

[消音] を押す。

音量を最小“ VOL --dB ”にしても解除できます。

お知らせ

電源を切るとミューティングは解除されます。

部屋を暗くして映画を楽しむときに

本体の表示窓とディスク表示ランプを消すことができます。

リモコンの

[シフト] を押しながら

[FL] を押す

■ **元に戻すには**

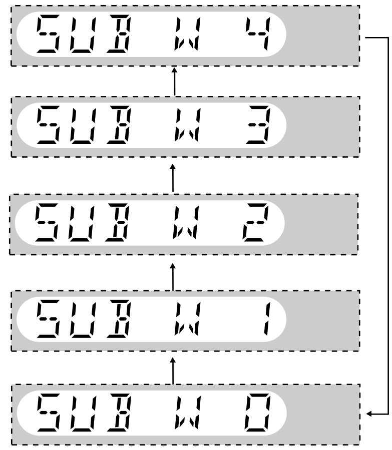
[シフト] を押しながら [FL] を押す。

低音を調整する

リモコンの

[サブウーハーレベル] を押す

押すたびに



初期設定は“ 4 ”です。

お知らせ

“ 0 ”にすると、サブウーハーから音が出なくなります。

お願い

CH 選択（⇒ 40 ページ）で SW レベルを 10 dB など高い値に設定した状態で、このボタンでレベルを上げると音が歪むことがあります。

ヘッドホンで聞く

1. [VOLUME] を回して音量を下げる
2. PHONES 端子にヘッドホンを接続する
3. [VOLUME] を回して音量を調整する

ヘッドホン

- プラグタイプ：ステレオ大型 (M6)
- 推奨品：RP-HT400、RP-HT242 (共に別売り)

お知らせ

ヘッドホンを接続すると、音声は強制的にステレオ (2 ch) になります。

お願い

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

屋外アンテナの接続

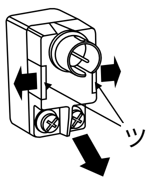
山間部や鉄筋コンクリート建のビルの中などや、i. LINK 接続をしているときに電波を受信しにくい場合は、屋外アンテナを接続してください。

FM（テレビアンテナの利用）

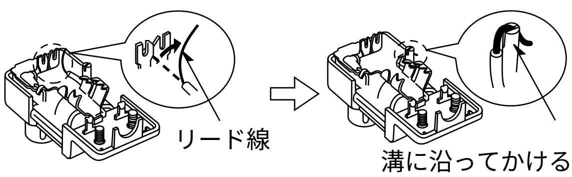
アンテナ線（同軸ケーブル）を付属の FM アンテナアダプターに取り付けて、後面に接続します。
付属の FM 簡易型アンテナははずしてください。

■ アンテナ線の取り付け

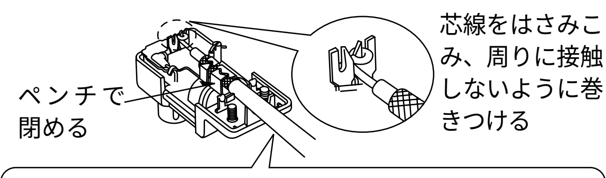
① 両側のツメを広げ、カバーをはずす



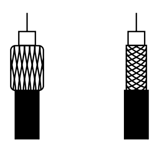
② リード線を横の棒にかける



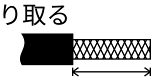
③ 同軸ケーブルを取り付ける



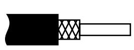
直径約6 mmの3Cタイプ、または直径約8 mmの5Cタイプを使用してください。



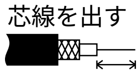
1. 外側の黒いビニールを切り取る



2. アミ線を折り返す
   3Cタイプ：すべて
   5Cタイプ：半分

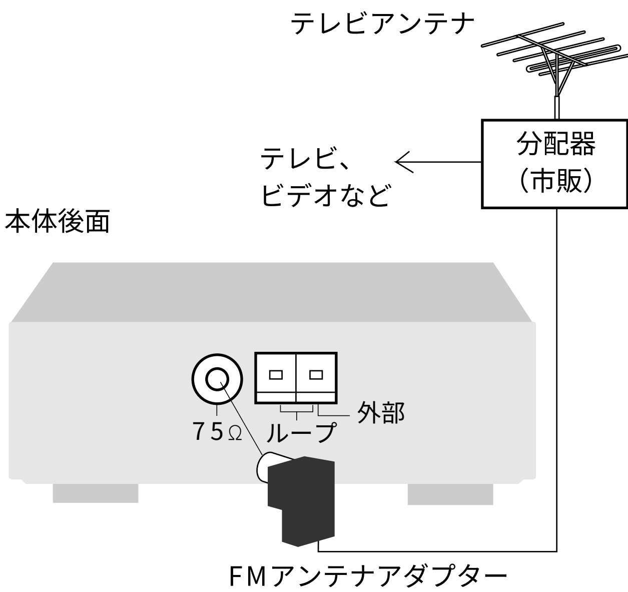


3. 白いビニールを切り取り、芯線を出す



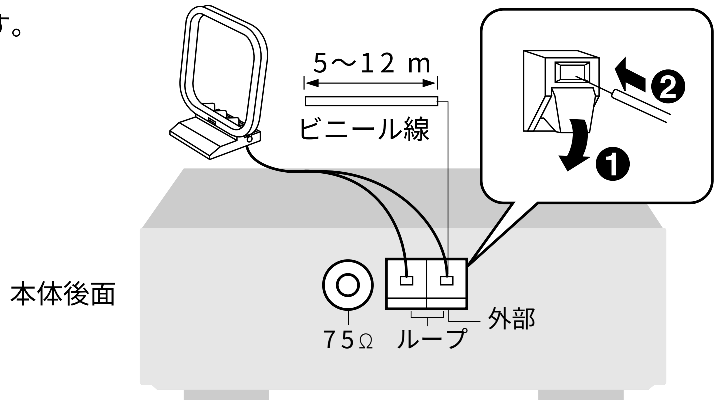
④ カバーを取り付ける

■ アンテナアダプターの接続



AM（市販のビニール線）

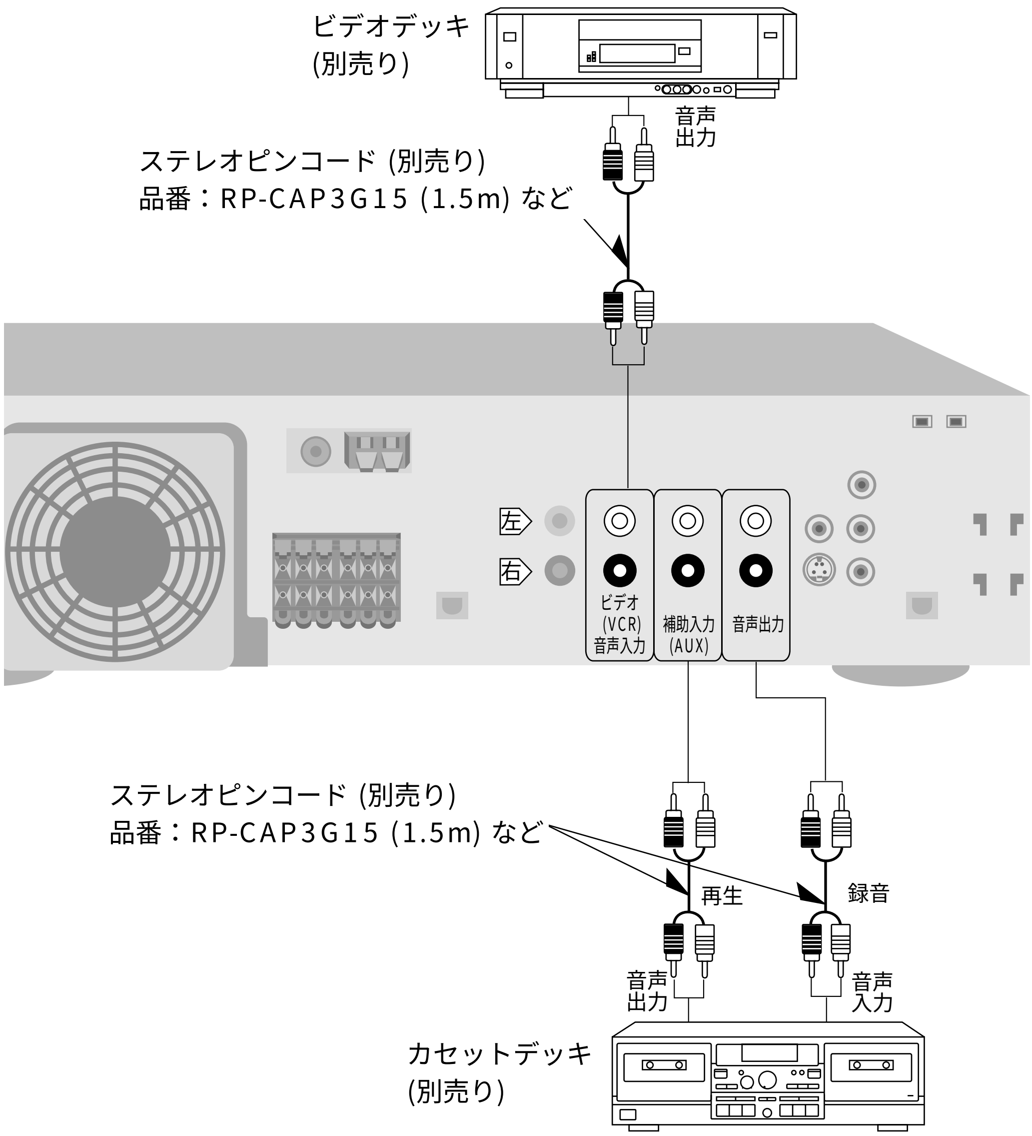
窓際などに、ビニール線を水平に取り付けます。
付属の AM ループアンテナも同時に接続しておきます。



外部機器の接続

別売り品の品番は、2000年11月現在のものです。品番は変更されることがあります。

下記は一例です。たとえば、カセットデッキのかわりにミニディスクデッキを接続したり、補助入力端子にアナログプレーヤーや LD プレーヤー、有線放送を接続したりすることもできます。



アナログプレーヤーを接続するには

フォノイコライザー (レコードの音声信号を増幅するアンプ) 内蔵のプレーヤーを補助入力 (AUX) 端子に接続してください。

推奨品：**アナログプレーヤー**（別売り）
[品番 SL-J8 (フォノイコライザー内蔵)]

フォノイコライザーを内蔵していないプレーヤーを接続するには、フォノイコライザーを通して、補助入力 (AUX) 端子に接続してください。そのまま接続すると音が小さくなります。

推奨品：**フォノイコライザー**（サービスルート扱い）
[品番 RFKZ0088KIT]

お知らせ

テレビ（TV）音声入力、ビデオ（VCR）音声入力、補助入力（AUX）、i. LINK、光入力の各入力端子に接続した機器の音は、音声出力端子からは出力されません。

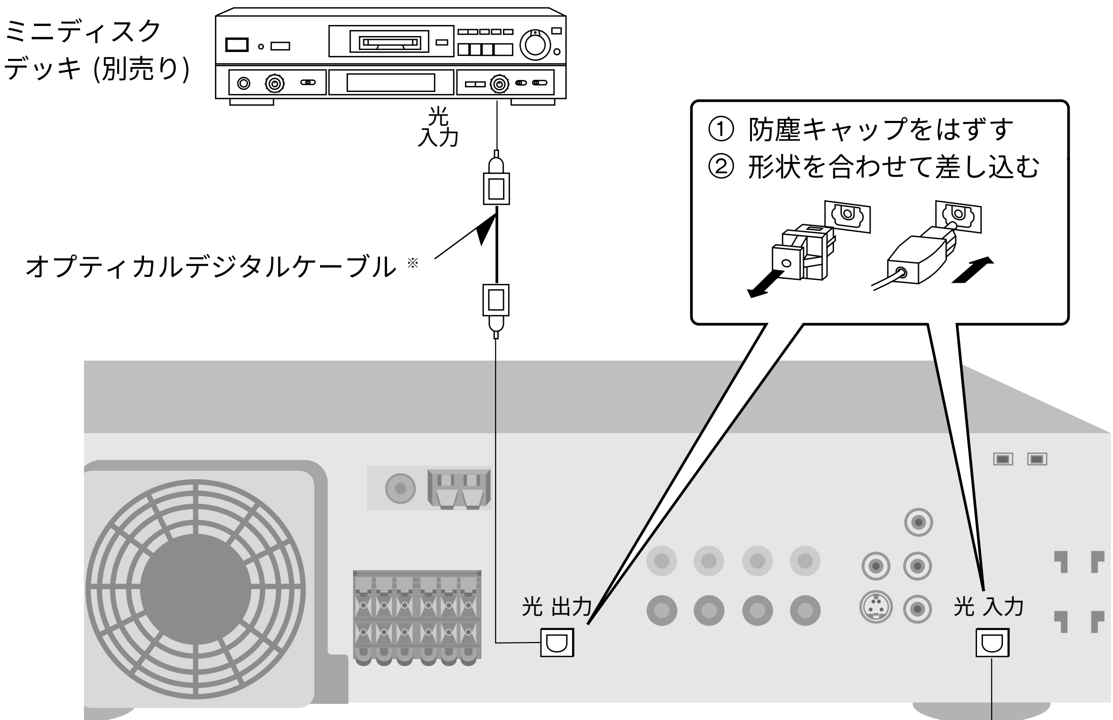
MD へ録音するときは

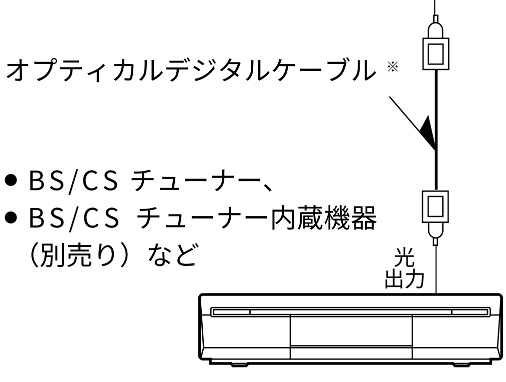
ドルビーデジタルや 96 kHz リニア PCM で記録されたディスクの音声を、そのまま MD などにデジタル録音することはできません。
DTS で記録されたディスクの音声、BS デジタル放送の音声をデジタル録音することはできません。

ドルビーデジタルや リニア PCM で記録されたディスクの音声をPCMに変換して、MD などにデジタル録音することができます。

初期設定の“ 6　デジタル出力 ”(⇒50ページ）は次のように設定してください。

“ 1 PCM ダウンサンプリング変換 ”⇒“ 2 する ”
“ 2 Dolby Digital ” ⇒“ 2 PCM ”
“ 3 DTS Digital Surround ” ⇒“ 1 Off ”





※本機にはオプティカルデジタルケーブルが 1 本付属しています。2 本以上必要な場合は、別売り品[品番 RP-CA2010A (1 m)]などをご使用ください。

BS/CS 放送を楽しむときは

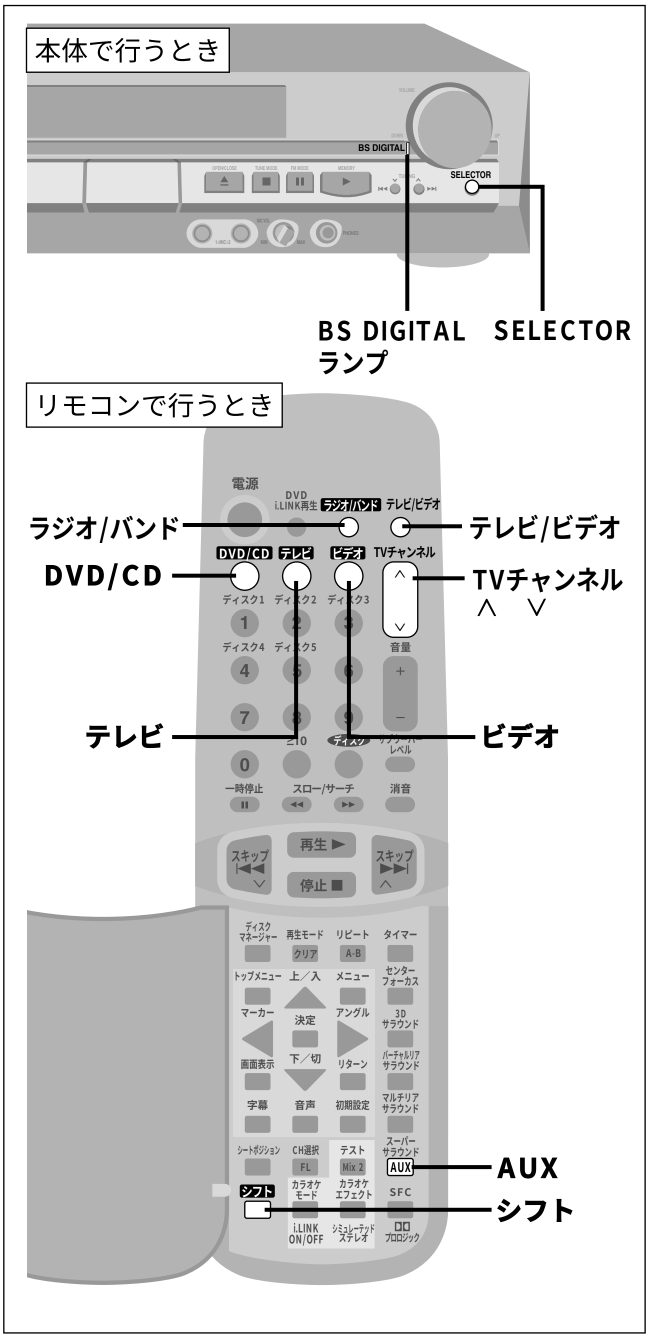
BS/CS チューナーまたはチューナー内蔵機器を接続し、BS/CS 放送の音声を本機のスピーカーで楽しむことができます。
また、本機は AAC デコーダーを内蔵しておりますので、AAC で圧縮されたBS デジタル放送の音声を楽しむことができます。

お知らせ

- BS/CS チューナーの音量は他のソースより小さくなる傾向があります。
- i. LINK 接続をしているときに、光入力端子に別の機器を接続することはできません。
  光入力端子に接続した別の機器の音声を再生するには、i. LINK コードを抜いてください。

i. LINK 対応機器は、55ページの方法で接続してください。

外部機器の操作



外部機器を再生する

1 本体の

[SELECTOR] を押して入力を選ぶ

ビデオ(ビデオ(VCR)音声入力端子): “ VCR ” を選ぶ
カセットデッキなど(補助入力(AUX)端子): “ AUX ” を選ぶ
テレビ(テレビ(TV)音声入力端子): “ TV-ANALOG ” を選ぶ
BS/CSチューナー内蔵機器(光入力端子): “ TV-DIGITAL ” を選ぶ

“ TV-DIGITAL ” を選ぶと

i. LINK 端子、光入力端子のどちらから音声信号が入力されているかを自動で判別し、入力された音声を再生します。BS DIGITAL ランプが点灯します。

リモコンでは

ビデオ（ビデオ(VCR)音声入力端子）:
[ビデオ] を押す。“ VCR ” が表示されます。
カセットデッキなど（補助入力(AUX)端子）:
[シフト] を押しながら[AUX] を押す。“ AUX ” が表示されます。
テレビ、BS/CS チューナー内蔵機器
（光入力端子、テレビ(TV)音声入力端子）:
[テレビ] を押す。“ TV-DIGITAL ”、または “ TV-ANALOG ” が表示されます。

[テレビ]を押すと

i. LINK 端子、光入力端子、テレビ(TV)音声入力端子のうち、どの端子から音声信号が入力されているかを自動で判別し、入力された音声を再生します。もう一度押すと、“ TV-DIGITAL ”（i. LINK 端子、光入力端子）と “ TV-ANALOG ”（テレビ(TV)音声入力端子）が切り換わります。

2 外部機器の再生を始める

お知らせ

- i. LINK 端子に別の機器を接続している場合は、光入力端子に接続した機器の音声を再生することができません。再生するには、i. LINK 端子に接続したコードを抜いてください。
- 外部機器（カセットデッキなど）でカラオケを楽しむこともできます。

外部機器に録音する

1 本体の

[SELECTOR] を押して
“ DVD/CD ”、“ FM ” または “ AM ” を選ぶ

リモコンでは

[DVD/CD] または [ラジオ/バンド] を押す。

2 外部機器で録音をスタートし、ソースの再生を始める

お知らせ

“ TV-ANALOG ”、“ VCR ”、“ AUX ”、“ TV-DIGITAL ” の入力を選んでも、外部機器には録音できません。

本機のリモコンでテレビを操作する

■ チャンネルを切り換える

TVチャンネル [∧] または [∨] を押して
チャンネル番号を指定する

■ テレビ/ビデオモードを切り換える

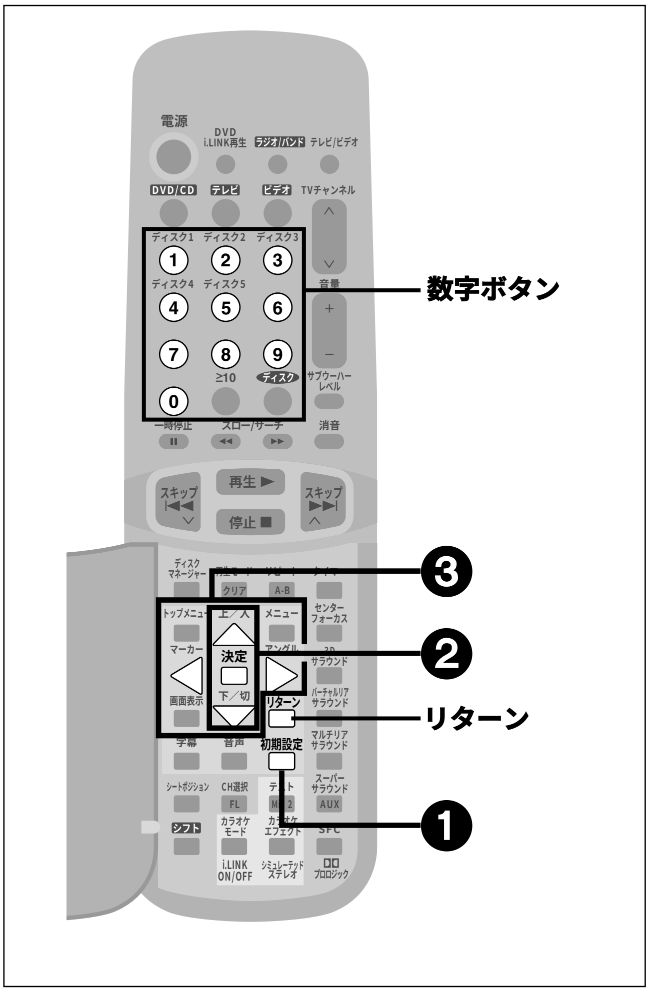
[テレビ/ビデオ] を押す

お知らせ

- 本機のリモコンで操作できるのは、当社製のテレビのみです。
- 一部の機種では操作できないものもあります。

基本設定について

初期設定を変更する



本機の基本的な状態はお買い上げ時に設定されています。(⇒50ページ)
この設定は、好みや使用状況によって変更することができます。
初期設定画面で設定した内容は電源を切っても残ります。

停止中にリモコンの

❶ [初期設定] を押して
初期設定画面を出す

（テレビ画面）（例）



❷ [△] または [▽] を押して
変更したい項目を選び、
[決定] を押す

❸ [◁] [▷] [△] または [▽] を押して
設定を変更し
[決定] を押す

画面の指示に従って、手順3を繰り返します。
（何回繰り返すかは設定項目によります）

■ 前の画面に戻るには
[リターン] を押す。

■ 視聴制限の設定で暗証番号を入力するときは
数字ボタンで4桁の数字を入力する。

■ 初期設定画面を終了させるには

初期設定画面で

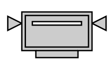
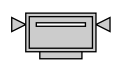
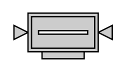
[リターン] を押す。

お知らせ

- 各項目の前に、数字の記載がある場合は、その数字ボタンを押しても選択できます。
- 視聴制限は一時解除することもできます。（電源を切ったり、ディスクを取り出したりチェンジしたり、入力を切り換えたりすると一時解除は取り消されます。）

初期設定一覧

本システムの初期設定は以下のようになっています。
この設定は、接続するテレビ画面についての設定 (⇒ 12 ページ) さえ行っていただければ、特に変更する必要はありません。(本機には 8 の項目はありません。)

項目	初期設定		変更可能な設定
1 ディスク言語	1 音声言語	1 日本語	1 日本語　3 オリジナル 2 英語　4 その他＊＊＊＊
	2 字幕言語	1 オート	1 オート　3 英語 2 日本語　4 その他＊＊＊＊
	3 メニュー言語	1 日本語	1 日本語 2 英語 3 その他　＊＊＊＊
2 視聴制限	8 すべて視聴可		8 すべて視聴可 ～ 0 すべて不可 7 ～ 0 設定時には暗証番号を設定 暗証番号の変更も可
3 画面メニュー言語	1 日本語		1 日本語 2 English
4 オンスクリーン	1 画面メッセージ	1 入	1 入 2 切
	2 色と位置	1  青色	1 2 3  青色 紫色 緑色 4 5 6  青色 紫色 緑色
5 接続する TV	1 4:3		1 4:3 2 16:9
6 デジタル出力	1 PCM ダウンサンプリング変換	1 しない	1 しない 2 する
	2 Dolby Digital	1 Bitstream	1 Bitstream 2 PCM
	3 DTS Digital Surround	2 Bitstream	1 Off 2 Bitstream
7 スピーカー設定	センターディレイタイム	0 ms	0 ms　3.9 ms 1.3 ms　5.3 ms 2.6 ms
	サラウンドディレイタイム	0 ms	0 ms　10.6 ms 5.3 ms　15.9 ms
9 エキスパート設定	1 スチルモード	1 オート	1 オート 2 フィールド 3 フレーム
	2 早送りの時の音声	1 あり	1 あり 2 なし
	3 TV モード (4:3)	1 パン＆スキャン	1 パン＆スキャン 2 レターボックス
	4 音声のダイナミックレンジ圧縮	1 切	1 切 2 入
	5 I/P/B インジケーター	1 しない	1 しない 2 する

初期設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも記憶されています。元に戻したい場合は再度設定を仕直す必要があります。

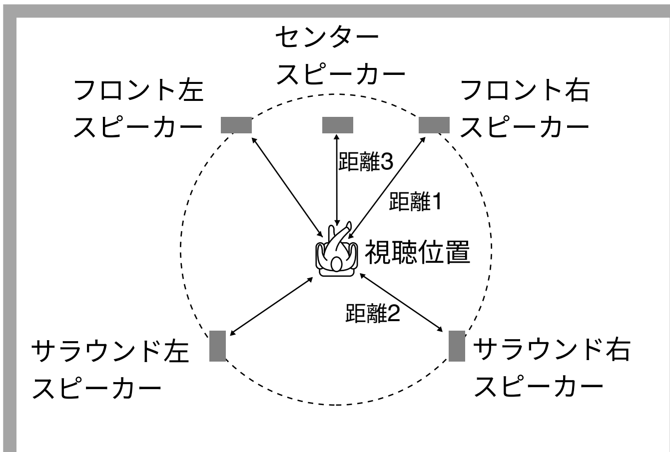
	設定内容
	スピーカーから出力される音声言語の種類を設定(ディスクによっては、ディスクの情報が最優先される場合あり。) “ その他＊＊＊＊ ” を選んだときは、数字ボタンで言語番号（⇒52ページ）を入力してください。
	テレビに表示される字幕言語の種類を設定(ディスクによっては、ディスクの情報が最優先される場合あり。) “ その他＊＊＊＊ ” を選んだときは、数字ボタンで言語番号（⇒52ページ）を入力してください。
	タイトルメニューなど画面表示される言語の種類を設定 “ その他＊＊＊＊ ” を選んだときは、数字ボタンで言語番号（⇒52ページ）を入力してください。
	DVD ソフトの視聴制限のレベルを設定 (ただし、ソフトに記録されていることが条件。ディスクに “ 視聴制限設定付属 ” 等の記載あり。) レベル 8：すべてのソフトを再生 レベル 7 ～ レベル 1：一部の DVD ソフトの再生を禁止 (どのレベルになるかはソフトの記録による。) レベル 0：全ての DVD ソフトの再生を禁止
	初期設定画面の言語やテレビ画面に表示される “ 再生 ” などの言語の設定
	操作したときに出る “ 再生 ” や “ 停止 ” などの表示をテレビ画面に表示するかしないかを設定
	操作したときに出る “ 再生 ” や “ 停止 ” などの表示および GUI 画面/カラオケ GUI 画面の色と表示位置を設定
	接続するテレビの画面サイズ (4:3 または 16:9) を設定
	光出力端子から出る音声信号の種類を設定 “ 2 Dolby Digital ” および “ 3 DTS Digital Surround ” で “ Bitstream ” を選択すると、デコードされる前の信号が出力されます。(⇒62ページ) “ 3 DTS Digital Surround ” で “ Off ” を選んだときは、本機のスピーカーからも DTS の音声が出ません。
	5.1 チャンネルの音声を楽しむときは、フロント、センター、サラウンドの 5 つのスピーカーから視聴位置までの距離がすべて同じであることが理想です。距離が違う場合は、各スピーカーからの音が届くタイミングが異なるため、ディレイタイム（遅延時間）を調整してタイミングを合わせます。(⇒52ページ) Dolby Digital の DVD のときに有効です。
	静止中に表示される画面の種類を設定 フィールド：ブレの少ない画面（⇒62 ページ) フレーム：小さな文字や細かい絵柄がはっきり見える画面（⇒62 ページ)
	早送り 1 の時の音声の有無を設定（DVD、VCD のみ）
	4:3 サイズのテレビを接続している時、ワイドで記録されたソフトがテレビ画面にどのように表示されるかを設定
	ソフト再生時の音域を設定 (ドルビーデジタルのみ) DVD のダイナミックレンジ (音量の大小の差) を少なくすることによって、小さい音量で再生してもセリフがはっきり聞こえるようになります。
	静止時に、DVD の画像の種類 (I/P/B ⇒62 ページ）をテレビ画面に表示するかしないかを設定

言語番号一覧表

アイスランド：7383
アイマラ：6588
アイルランド：7165
アゼルバイジャン：6590
アッサム：6583
アファル：6565
アフリカーンス：6570
アブハジア：6566
アムハラ：6577
アラビア：6582
アルバニア：8381
アルメニア：7289
イタリア：7384
イディッシュ：7473
インターリングア：7365
インドネシア：7378
ウェールズ：6789
ウォロフ：8779
ヴォラピュック：8679
ウクライナ：8575
ウズベク：8590
ウルドゥー：8582
英語：6978
エストニア：6984
エスペラント：6979
オーリヤ：7982
オランダ：7876
カザフ：7575
カシミール：7583
カタロニア：6765
ガリチア：7176
韓国（朝鮮）語：7579
カンナダ：7578
カンボジア：7577
キルギス：7589
ギリシャ：6976
クルド：7585
クロアチア：7282
グアラニー：7178
グジャラト：7185
グリーンランド：7576
グルジア：7565
ケチュア：8185
（スコットランド）ゲール：7168
コーサ：8872
コルシカ：6779
サモア：8377
サンスクリット：8365
ショナ：8378
シンド：8368
シンハラ：8373
ジャワ：7487
スウェーデン：8386
スロバキア：8375
スロベニア：8376
スワヒリ：8387
スンダ：8385
スペイン：6983
ズールー：9085
セルビア：8382
セルボクロアチア：8372
ソマリ：8379
タイ：8472
タタール：8484
タミル：8465
タガログ：8476
タジク：8471
チェコ：6783
中国語：9072
チベット：6679
ティグリニア：8473
テルグ：8469
デンマーク：6865
トウイ：8487
トルクメン：8475
トルコ：8482
トンガ：8479
ドイツ：6869
ナウル：7865
日本語：7465
ネパール：7869
ノルウェー：7879
ハウサ：7265
ハンガリー：7285
バシキール：6665
バスク：6985
パシュト：8083
パンジャブ：8065
ヒンディー：7273
ビハール：6672
ビルマ：7789
フィジー：7074
フィンランド：7073
フェロー：7079
フランス：7082
フリジア：7089
ブータン：6890
ブルガリア：6671
ブルターニュ：6682
ヘブライ：7387
ベトナム：8673
ベロルシア（白ロシア）：6669
ベンガル（バングラ）：6678
ペルシャ：7065
ポーランド：8076
ポルトガル：8084
マオリ：7773
マケドニア：7775
マライ（マレー）：7783
マラッタ：7782
マラヤーラム：7776
マルタ：7784
マダガスカル：7771
モルダビア：7779
モンゴル：7778
ヨルバ：8979
ラオ：7679
ラテン：7665
ラトビア（レット）：7686
リトアニア：7684
リンガラ：7678
ルーマニア：8279
レトロマンス：8277
ロシア：8285

ディレイタイムの算出方法

スピーカーを置く位置によって、各スピーカーから音が届くタイミングが異なります。この差を補正するために、センターとサラウンドスピーカーから音が届くまでの時間 (ディレイタイム) を調整します。ドルビーデジタルの DVD のときに有効です。



距離 1：フロントスピーカーからの距離
距離 2：サラウンドスピーカーからの距離
距離 3：センタースピーカーからの距離

センタースピーカーのディレイタイム

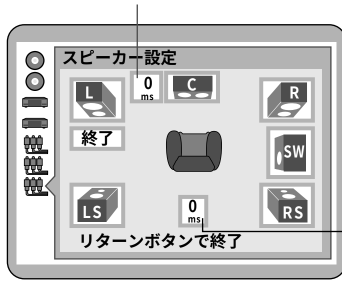
距離 1≦3		0 ms
距離 1＞3	約 50 cm のとき	1.3 ms
	約 100 cm のとき	2.6 ms
	約 150 cm のとき	3.9 ms
	約 200 cm のとき	5.3 ms

サラウンドスピーカーのディレイタイム

距離 1≦2		0 ms
距離 1＞2	約 200 cm のとき	5.3 ms
	約 400 cm のとき	10.6 ms
	約 600 cm のとき	15.9 ms

スピーカー設定のテレビ画面

センターのディレイタイム



サラウンドの
ディレイタイム

テレビ画面一覧

テレビに映し出される映像は、ソフトとテレビ (画質モード) との関係で以下の画面になります。

テレビ (画質モード) ／ ソフト	4：3	16：9 (フルモード)	16：9 (ズームモード)	16：9 (オートモード)
ワイドソフト (パン＆スキャン指定あり) 	左右が切れた画面 	フル画面 	上下が切れた画面 	フル画面 
ワイドソフト (パン＆スキャン指定なし) 	レターボックス (上下に黒い帯) 			
4：3 のソフト 	フル画面 	左右にのびた画面 	上下が切れた画面 	フル画面 (左右に黒い帯) 
4：3 のソフト (レターボックス) 	レターボックス (上下に黒い帯) 	左右にのびた画面 (上下に黒い帯) 	フル画面 	左右両端がのびた画面 (上下に黒い帯) 

- ソフトや画質モードの呼びかたはメーカーにより異なる場合があります。
- パン＆スキャンとは、ワイドソフトの両側 (または片側) をカットしてテレビ画面全体に映し出すことです。
- レターボックスとは、ワイド（16：9）のソフトを再生するときに、画面サイズの不足分を埋めるために、画面の上下に黒帯を入れたものです。

i. LINK 対応機器と組み合わせて使う

i. LINK について

■ i. LINK（アイリンク）とは

デジタル音声信号やデジタル映像信号、接続した機器を操作する信号を同時に転送できるデジタルインターフェイスです。
i. LINK という名称は、IEEE1394※の呼称です。i. LINKとi. LINKロゴ“ ”は商標です。

※米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格

データの転送速度は現在、100 Mbps/200 Mbps/400 Mbps があり、転送速度は i. LINK 端子の周辺にそれぞれ S100、S200、S400 と表示されます。本機では最大 200 Mbps の転送が可能なため、S200 と表示しています。
また、i. LINK は直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせず機器を接続することができます。
このように簡単に接続でき、高速で大量のデータを転送できる i. LINK は、今後さまざまなデジタル AV 機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。

■ i. LINK の接続

i. LINK 対応機器は i. LINK ケーブル（付属）を使って接続します。
最大17台まで接続することができます。



- i. LINK 端子が3つ以上ある機器の場合は、途中から分岐してツリー型に接続することができます。
  ツリー型で接続する場合は、最大63台まで接続することができます。



データは接続したすべての i. LINK 対応機器に流れます。
操作する i. LINK 対応機器との間に別の i. LINK 対応機器が接続されていても、データのやりとりや操作ができます。

お願い

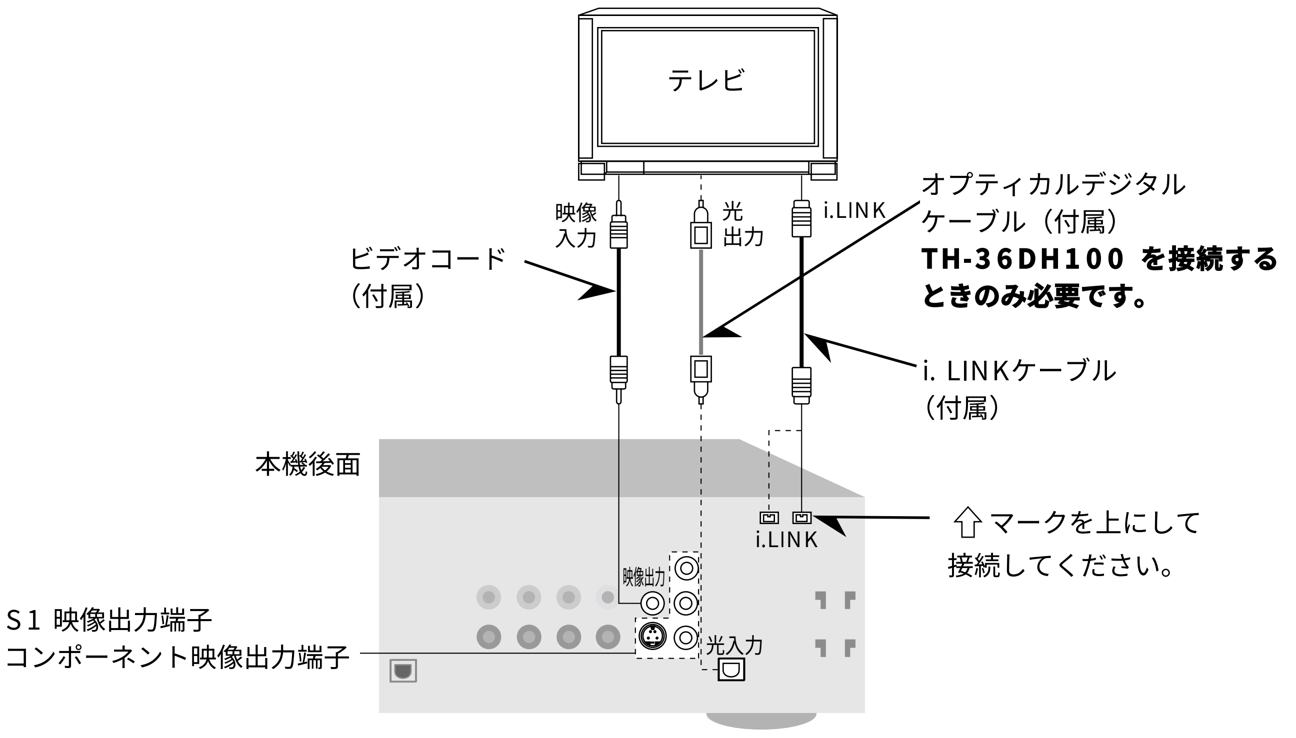
- 接続がループ（輪）にならないようにしてください。データを送信した i. LINK 対応機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。



- 最大転送速度が異なる機器を接続した場合などに、転送速度が遅くなることがあります。
- i. LINK 対応機器と接続してご使用中は、接続している機器の i. LINK ケーブルをはずしたり、接続したり、電源を入／切したりしないでください。映像・音声が乱れる場合があります。
- i. LINK 対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継できない機器があります。接続する i. LINK 対応機器の取扱説明書もご覧ください。本機は電源「切」の状態でもデータを中継できます。（i. LINK 設定が「切」のときは、中継できません。⇒ 57 ページ）

接続する

■ **BS デジタルハイビジョンテレビ**
品番：TH-36D100、TH-36DH100
　　　TH-32D100
　　　（2001年 3月現在）



お知らせ

- i. LINK 端子は 2 つあります。どちらに接続してもかまいません。
- S1 映像出力端子、コンポーネント映像出力端子を使って映像を出力することもできます。（⇒ 11 ページ）
- **（TH-36DH100のみ）**
  「TS」と表示のある i. LINK 端子に本機を接続してください。
- i. LINK で接続した機器から本機を操作できます。（⇒ 56 ページ）

接続した機器から本機を操作する

i. LINK 接続したテレビから、本機を操作することができます。
テレビ画面に［アンプ］または［DVD］の操作パネルを表示させ、テレビのリモコンを使って操作します。
以下の操作ができます。（詳しくはテレビの説明書をご覧ください。）

例）センターフォーカス 1 を選択するには、次のような順に選びます。
［アンプ］操作パネルで「AV エフェクト」を選ぶ→「センターフォーカス」を選ぶ→「1」を選ぶ

［アンプ］

入力切換 ➡	● DVD/CD ● VCR ● TV-ANALOG ● AUX ● TV-DIGITAL ● FM/AM※	※「FM/AM」は接続した機器からの操作では選べません。
音場操作 ➡	● オート（⇒下記）	
	● マニュアル ➡	● SFC 選択 FLAT LIVE HEAVY DISCO CLEAR HALL SOFT ● AV サラウンド切換 ノーマル ドルビープロロジック スーパーサラウンド MOVIE スーパーサラウンド MUSIC シミュレーテッドステレオ
AV エフェクト ➡	● センターフォーカス ➡	● OFF ● 1 ● 2
	● シートポジション	● OFF ● 9ポジション
	● バーチャル	● 切 ● マルチリア ● バーチャルリア
カラオケ ➡	● カラオケモード ➡	● 切 ● MONO L ● ボイスミュート ● MONO R
	● カラオケエフェクト	● エフェクト入/切の設定 ● キーコン ● ラウンジ ● エコー ● コーラス それぞれレベルを選べます。

［DVD］

下記の各ボタン操作 [|◀◀] [❚❚] [▶▶|] [◀◀] [▶] [▶▶] [■]	**ディスク選択**（ディスク 1～ディスク 5） **メニュー表示** **トップメニュー表示** **画面表示**（GUI 画面を表示します。） **リターン**（ビデオCDメニュー表示）

［アンプ］［DVD］
どちらの操作パネルからも操作できます。

電源 入／切 **音量調節** ＋、－ **消音**

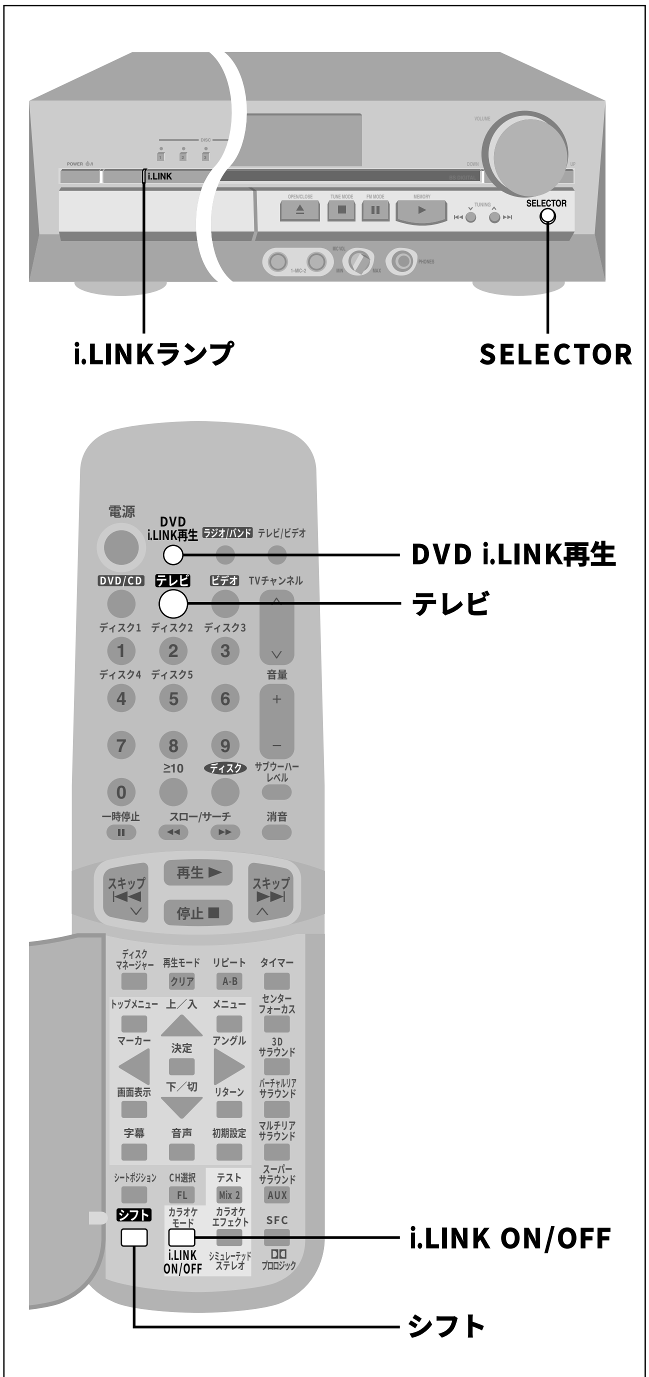
BS デジタル放送を楽しむときに

「音場操作」を「オート」に設定にしておくと、各番組のジャンル情報に合わせて、表の［網掛け］部の設定が最も適切なものに自動的に切り換わります。
SFC 選択：最も適切なものに切り換わります。
スーパーサラウンド MOVIE：スーパーサラウンド MOVIE の効果が現れるような 2 チャンネル音声の番組のときに「入」になります。

お知らせ

- 音場操作のオート設定が働かないジャンルの番組もあります。
- 2台のテレビを同時に i. LINK接続している場合は、どちらのテレビから本機を操作するかを設定する必要があります。テレビの i. LINK接続設定で、操作する方のテレビは本機を「使用する」に、操作しない方のテレビは本機を「使用しない」に設定してください。

本機でできる操作



接続した機器の音声を聞く

1 本体の

[SELECTOR] を押して
“ TV-DIGITAL ” を選ぶ

リモコンでは
[テレビ] を押して、“ TV-DIGITAL ” を選ぶ。

2 接続した機器の再生を始める

i. LINK 設定

i. LINK 接続をしていないときは、外部機器への影響やスタンバイ時の消費電力を小さくするために、i. LINK 設定を「切」にしてください。

[シフト] を押しながら
[i. LINK ON/OFF] を押す

押すたびに
「切」←――→「入」
i. LINK ランプ消灯　i. LINK ランプ点灯
電源「切」のときも点灯しています。

切: i. LINK を使った操作や、本機を中継して接続されている機器間のデータのやりとりができません。

入: i. LINK を使った操作や、本機を中継して接続されている機器間のデータのやりとりができます。

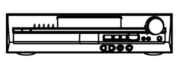
独立モード: i. LINK 接続をしたままで、本機を独立した状態で使用することができます。
他機器からの操作は受けつけませんが、本機を中継して接続されている機器間でデータのやりとりができます。
[シフト] を押しながら
[i.LINK.ON/OFF] を押しつづける。
i. LINK ランプが点滅します。

DVD ワンタッチ再生

ボタン1つでネットワークを操作し、DVD を再生します。

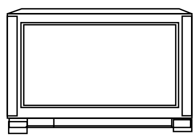
[DVD i. LINK 再生] を押す
右の動作が自動的に行われます。

本機



● 電源「入」

テレビ



● 電源「入」
● 入力を「DVDサウンドシステム」に切り換える※

● DVD 再生開始

お知らせ

- テレビの i. LINK 待機の設定を「する」にしておいてください。

※ テレビの初期設定メニューで、本機を接続しているビデオ入力の表示を「DVDサウンドシステム」に書き換えておく必要があります。

各部のなまえ

操作部

5 DISC 1～5 (ディスク選択)ボタン (⇒15 ページ)

通電ランプ
電源コードを接続すると赤色点灯
電源を入れると「緑色」点灯

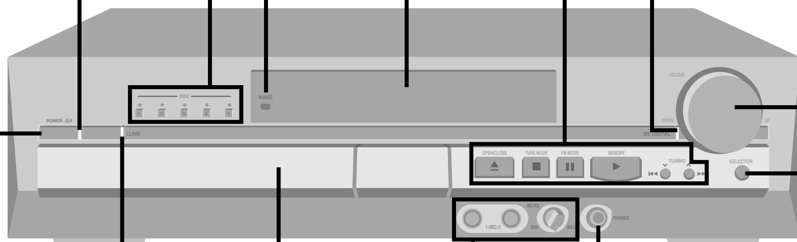
WAKE タイマーランプ
(⇒43 ページ)

表示窓

BS DIGITAL(BSデジタル) ランプ
(⇒48 ページ)

基本操作ボタン

POWER ⏻/I (電源) ボタン
(⇒13 ページ)



VOLUME (音量調整)つまみ(⇒15 ページ)

SELECTOR (入力選択)ボタン (⇒15 ページ)

i. LINKランプ
i. LINK設定「入」時に点灯
(電源「切」時も点灯しています。)
(⇒57 ページ)

ディスクトレイ

PHONES (ヘッドホン) 端子 (⇒44 ページ)

MIC 1、2 端子、
MIC VOL (マイク音量調整)つまみ (⇒16、17 ページ)

表示部

再生表示 (⇒15 ページ)

MIX 2ch 表示
(⇒39 ページ)

DTS 表示
DVD に DTS の信号があるときに点灯(⇒38 ページ)

一時停止表示
(⇒21 ページ)

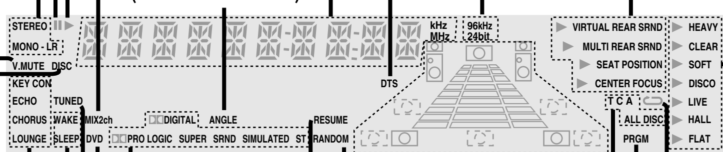
各操作に共通の表示部

DVD 信号表示(⇒15 ページ)

アングル表示
(⇒27 ページ)

ステレオ/モノラル表示 (⇒18、34 ページ)

音場拡張機能表示
(⇒41、42 ページ)



ボイスミュート表示
(⇒18 ページ)

SFC モード表示
(⇒42 ページ)

ディスク表示
(⇒28 ページ)

スピーカー表示

リピート表示 (⇒23 ページ)

音場表示
(⇒38 ページ)

カラオケエフェクト表示
(⇒19 ページ)

ランダム表示
(⇒28 ページ)

プログラム表示 (⇒29 ページ)

トラック、チャプター、ディスク表示 (⇒23、30 ページ)

タイマー表示 (⇒43 ページ)

RESUME (続き再生メモリー) 表示
(⇒20 ページ)

ラジオ受信表示 (⇒34 ページ)

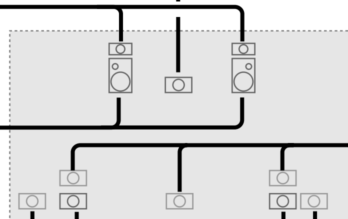
DVD 表示 (⇒15 ページ)

■ スピーカー表示について

センタースピーカー

サラウンドスピーカー
(バーチャルリアサラウンド時に点灯)
(⇒41 ページ)

フロントスピーカー

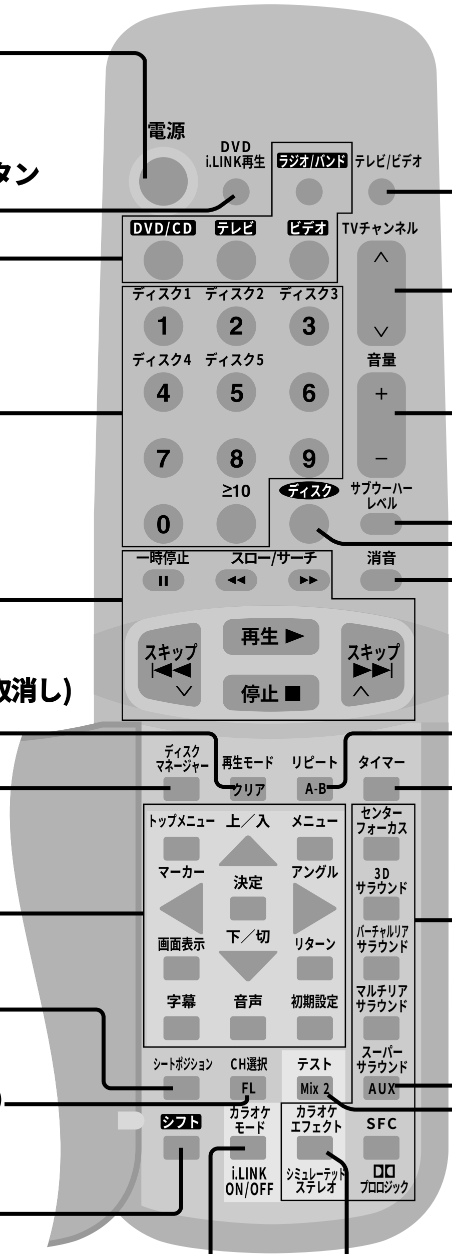


仮想のサラウンドスピーカー
(マルチリアサラウンド時に点灯)
(⇒41 ページ)

サラウンドスピーカー

仮想のサラウンドスピーカー
(バーチャルリアサラウンド時に点灯)
(⇒41 ページ)

リモコン



電源ボタン

DVD i. LINK再生ボタン (⇒ 57 ページ)

ラジオ/バンド～ビデオ (入力切り換え) ボタン

1～0、≥10 (数字) ボタン (⇒ 13、15、28ページ)

基本操作ボタン

再生モード（選択)、クリア (取消し) ボタン (⇒ 24、28 ページ)

ディスクマネージャーボタン (⇒ 30 ページ)

ディスク操作ボタン

シートポジションボタン (⇒ 42 ページ)

CH 選択、FL （ディスプレイ) ボタン (⇒ 38、 44 ページ)

シフトボタン

カラオケモード、i. LINK入／切ボタン (⇒ 18、 57 ページ)

テレビ/ビデオ（切り換え）ボタン (⇒ 48 ページ)

TV チャンネル（切り換え）ボタン (⇒ 48 ページ)

音量 (調整) ボタン

サブウーハーレベル (調整) ボタン (⇒ 44 ページ)

ディスクボタン (⇒ 15 ページ)

消音ボタン (⇒ 44 ページ)

リピートボタン (⇒ 23 ページ)

タイマーボタン (⇒ 43 ページ)

音質、音場効果ボタン (⇒ 38～42 ページ)

AUX（入力）ボタン (⇒ 48 ページ)

テスト、Mix 2 ch ボタン (⇒ 39、40 ページ)

カラオケエフェクトボタン (⇒ 19 ページ)

点灯　実際に音の出ているスピーカーを示します。
仮想のスピーカー　あたかもそこにスピーカーがあるかのように聞こえます。

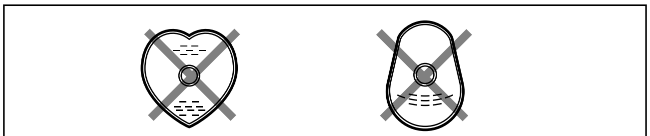
必要なとき

使用上のお願い

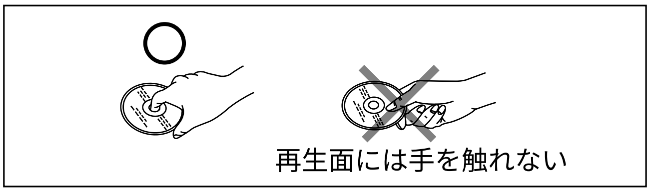
ディスクについて

これらのマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
(機器の故障の原因になります。)

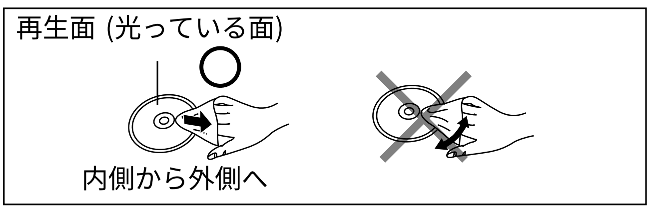


■ 持ちかた



■ 汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



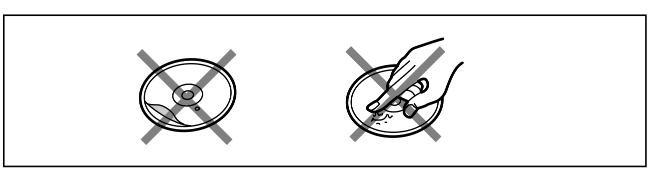
■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない



- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷したディスクは使わない

ディスクの保管

■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

お手入れ

■ 本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

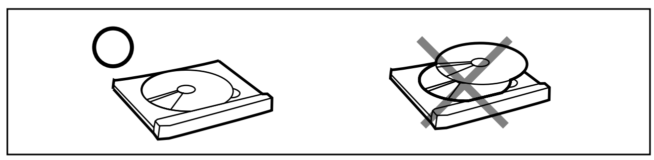
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

本機を移動するときは

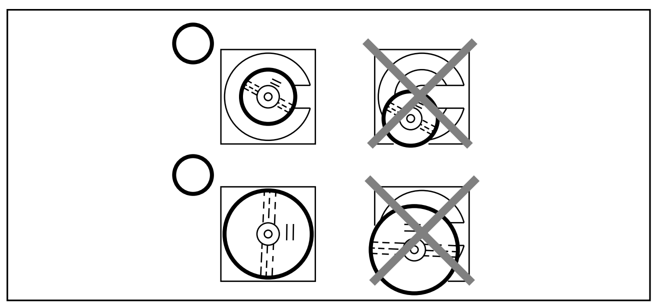
1. ディスクをすべて取り出す
2. [POWER ⏻/I] を押して電源を切る
3. 電源プラグを抜く

ディスクメカの故障防止のために

- トレイには、1 枚のディスクを入れる



- ディスクは、図の位置に正しく置く



- シングルディスク（8 cm ディスク）アダプターを使わない
- 水平なところで使用する
  本機の下に雑誌などを置いて、傾けて使用しない
- トレイが動いている間や、ディスクを入れたまま本機を移動しない
- トレイにディスク以外のものを入れない
- クリーニングディスク、そりの大きなディスク、割れたりヒビの入っているディスクを使わない

主な仕様

■ アンプ部

実用最大出力（全高調波ひずみ率　10 %）

		総合出力　300 W
フロント L/R	1 kHz	36 W×2（6 Ω）
センター	1 kHz	36 W（6 Ω）
サラウンド L/R	1 kHz	36 W×2（6 Ω）
サブウーハー	80 Hz	120 W（6 Ω）

定格出力（全高調波ひずみ率　1 %）

		総合出力　240 W
フロント L/R	1 kHz	30 W×2（6 Ω）
センター	1 kHz	30 W（6 Ω）
サラウンド L/R	1 kHz	30 W×2（6 Ω）
サブウーハー	80 Hz	90 W（6 Ω）

入力感度/入力インピーダンス

AUX	250 mV/10 kΩ
MIC	0.7 mV/600 Ω

■ ディスク部

<ディスク>

DVD VIDEO

8 cm/12 cm	片面、1 層
8 cm/12 cm	片面、2 層
8 cm/12 cm	両面、2 層 (1 層/片面)
CD/ビデオCD	8 cm/12 cm

<ビデオ>

信号方式	NTSC
出力レベル	
コンポジットビデオ	1 Vp-p (75 Ω)
S-ビデオ　Y	1 Vp-p (75 Ω)
S-ビデオ　C	0.286 Vp-p (75 Ω) (NTSC)
コンポーネント映像出力	
Y出力レベル	1 Vp-p (75 Ω)
C_B出力レベル	0.7 Vp-p (75 Ω)
C_R出力レベル	0.7 Vp-p (75 Ω)
出力端子	Pin jack（Y: 緑、C_B: 青、C_R: 赤）

<オーディオ>

標本化周波数	
CD	44.1 kHz
DVD	48 kHz/96 kHz
量子化	16/20/24 ビット直線
ワウ・フラッター	測定限界以下
デジタルフィルター	8 fs
D/A コンバーター	デルタ-シグマ DAC
ピックアップ	
光源：	半導体レーザー
波長：	665 nm

■ FM チューナー部

受信周波数帯	76.0〜90.0 MHz (100 kHz ステップ)
実用感度	16.3 dBf (1.8 μV、IHF ’ 58)
アンテナ端子	75 Ω (不平衡型)

■ AM チューナー部

受信周波数帯	522〜1629 kHz (9 kHz ステップ)
実用感度 (S/N 20 dB)	500 μV/m

■ i.LINK 部

通信方式/端子	IEEE 1394/4ピン×2
通信速度	S200

■ 本体総合

電源	AC 100 V　50/60 Hz
消費電力	145 W
寸法 (幅×高さ×奥行)	430×114×368 mm
質量	約 8.6 kg

電源ボタンスタンバイ ⏻ 時の消費電力

i.LINK設定「入」時	5.3 W
i.LINK設定「切」時	3.0 W

高調波ガイドライン適合品

■ スピーカー部

<SB-AFC80-S>
(フロント L/R、センター、サラウンド L/R)

型式	1 ウェイ　1 スピーカーシステム バスレフ型
フルレンジ	8 cm コーン型
インピーダンス	6 Ω
許容入力	60 W (MUSIC)/30 W (DIN)
出力音圧レベル	79 dB/W (1.0 m)
再生周波数帯域	80 Hz〜22 kHz (ー16 dB) 110 Hz〜20 kHz (ー10 dB)
寸法 (幅×高さ×奥行)	88×158×105 mm
質量	約 0.8 kg

<SB-W80A-S> (サブウーハー)

型式	1 ウェイ　1 スピーカーシステム バスレフ型
ウーハー	17 cm コーン型
インピーダンス	6 Ω
許容入力	180 W (MUSIC)/90 W (DIN)
出力音圧レベル	80 dB/W (1.0 m)
再生周波数帯域	41 Hz〜1.8 kHz (ー16 dB) 45 Hz〜1.6 kHz (ー10 dB)
寸法 (幅×高さ×奥行)	200×450×300 mm
質量	約 5.9 kg

注)

1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

用語解説

映像についての用語

フレーム

動画の 1 コマ 1 コマのこと。
たとえばテレビでは、1 秒間に 30 コマ (静止画像)を連続して映し出すことで、動きのある映像を作っています。



1 フレーム

フィールド

1 フレームの映像情報を 2 つに分けたもの。
通常のテレビでは、このフィールドを順次に映し出すことで 1 フレームを構成しています。



1 フィールド

フレームスチル/フィールドスチル

動画を一時停止して静止画像にすることをスチルといいます。
フレームスチルでは、 2 フィールドを交互に映し続けるため画面にブレを生じますが、画質はよくなります。
フィールドスチルでは、映像情報が半分のため画質が荒くなりますが、画面のブレはありません。

I/P/B

DVD で採用されている映像方式（MPEG 2）では、1 画面 (フレーム) を、以下の 3 つのピクチャータイプに分け、デジタル信号に符号化しています。

I: I-Picture (フレーム内符号化)
基準の画面であり、単独で画面を構成します。画質がもっとも良く、画像調整する場合はこの静止画面が適しています。

P: P-Picture (前方向予測符号化)
過去の Picture (I または P) から算出される画面。

B: B-Picture (両方向予測符号化)
前後の Picture (I または P) の比較から算出されるもので、画像情報がもっとも少ない画面です。

デジタル音声についての用語

デコーダー

DVD などに符号化して記録した音声データを、通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ドルビーデジタル

ドルビーラボラトリーズが開発したデジタル音声記録方式。圧縮率が高く、1 枚のディスクに大量のデータを収録できます。

dts (digital theater systems) (デジタル シアター システムズ)

DTS 社が開発したデジタル音声記録方式。音質を重視し、圧縮率を低くしています。

サンプリング周波数

サンプリングとは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間間隔で細かく刻み、1 つ 1 つの波の高さを数値化することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、これが多いほど元の音を精密に再現できます。

PCM (Pulse Code Modulation)、リニア PCM (パルス コード モジュレーション)

音楽 CD などで一般に使用されているデジタル信号方式。DVD は容量が多いため、CD 以上のサンプリング周波数を用いたリニア PCM 信号を収録することができます。

Bitstream (ビットストリーム)

5.1 ch などの音声データを各チャンネルにデコードする前のデジタル信号。

その他の用語

トラック

CD、ビデオ CD の小さな区切り。

チャプター

DVD ビデオの小さな区切り。CD などのトラックに当たります。

タイトル

DVD ビデオの一番大きな区切り。

プレイバックコントロール (PBC)

バージョン 2.0 のビデオ CD で使われている再生方式。メニューを選びながら再生するなど、対話形式で操作できます。

BSデジタル放送

デジタル信号の圧縮技術によって従来のBS放送より多くの情報を送ることができるようになり、デジタルハイビジョンや多チャンネル放送、データ放送などが楽しめます。
また、電子番組ガイドを使ってお好きなジャンルの番組を検索したりすることもできます。

Q ＆ A (よくあるご質問)

	Q (質問)	A (回答)	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーを接続したい。	現在、アンプの“フォノ”または“プレーヤー”端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプ (サービスルート扱い、品番：RFKZ0088KIT) が必要です。 そのまま接続すると、増幅機能がないため音が小さくなります。	46
	有線放送を接続したい。	本機の“補助入力 (AUX)”に接続します。	46
	他のスピーカーを接続したい。	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属のスピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、音の特性などが悪くなるほか、故障の原因にもなります。	―
	BS/CS チューナーを接続したが、音が小さい。	BS/CSチューナーの音量は他のソースより小さくなる傾向があります。	―
ディスクについて	海外で購入した DVD などのビデオディスクを再生したい。	DVD ビデオディスクにはリージョン番号があり、プレーヤーとその番号が合致していないと再生できません。 また、PAL 方式で記録されているディスクは再生できません。	2、7
	DVD の映画をビデオにダビングしたい。	ほとんどの DVD ディスクにはコピーガードがかけてあり、ダビングすることはできません。	―
	DVD の音声が小さいようだが。	DVD の音は一般に他のソフトの音より小さく感じられます。もし、音量を上げて聞いた場合は、再生後に必ず下げておいてください。他のソフトに切り換えたときに突然大きな音が出る場合があります。	―
その他	引っ越しするのだが、そのまま使えるか。	東日本、西日本に関係なく使えます。	―
	SUBWOOFER（サブウーハー）が効かないが。	SUBWOOFER は、そのソフトに含まれている低音の成分によって効果が異なります。また、ヘッドホンでは十分な効果で聞くことはできません。	―
	カラオケでサラウンド効果を効かせたいが。	本機では、マイクを接続するとセンター／サラウンドスピーカーから音が出なくなるため、ドルビープロロジックなどのサラウンド効果は使えません。 カラオケエフェクト、SFCを効かせてお楽しみください。	19、42
	長時間使用していると本体が熱くなるが大丈夫か。	大丈夫です。 ただし、本体の上に物を置いて放熱を妨げることはしないでください。特に、通風孔はふさがないでください。	―

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

	こんなとき	ここを確認・処置してください	参照ページ
システム全体に共通	電源が入らない	● 電源プラグが抜けていないか確認してください。	10
	音が出ない。	● 音量が最小になっていませんか。［VOLUME］で調整してください。 ● ミューティング（消音）になっていないか確認してください。 ● スピーカーが正しく接続されているか確認してください。	15 44 8
	音の位置が定まらない。または左右が逆になる。	● スピーカーコードの（左）（右）⊕ ⊖ を確認し、正しく接続してください。	8
	演奏中に「ブーン」という低い音が出る。	● 電気器具の電源コードや蛍光灯が本機の近くにある場合は、離してください。	ー
	演奏中に音が出なくなった。	● スピーカーコードがショートしていませんか。その場合はいったん本機の電源を切り、接続を直してからもう一度電源を入れてください。	8
	パネルの照明が消えている。	● リモコンの［シフト］を押しながら［FL］を押して表示窓を点灯させてください。	44
	“ ERROR ”が表示される。	● 間違った操作をしたためです。もう一度、操作方法を確かめてください。	ー
	“ F□□ ” が表示される。	● □□は数字を表します。 トラブルが生じました。お買い上げの販売店にご相談下さい。	ー
	サブウーハーから音が出ない。	● サブウーハーレベルが“ 0 ”になっていないか確認してください。	44
	5.1 ch サラウンドのソフトを再生しているのに、センターやサラウンドスピーカーから音が出ない。	● マイクを接続していませんか。 マイクを接続していると、強制的にステレオ（2 ch）になり、センターやサラウンドスピーカーから音がでません。	16
	i. LINK 対応機器から操作できない。	● i. LINK 設定が「切」になっていないか確認してください。	57
ラジオ	FM がよく受信できない。雑音やひずみが多い。	● FM 簡易型アンテナの向きや位置を変えてみてください。 ● テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は切ってみてください。 ● 送信所が遠い場合、鉄筋ビルの中など、または i. LINK 接続中は電波が弱くなります。テレビのアンテナを利用したり、また、音にひずみが多い場合は、より高感度のアンテナが必要になる場合もあります。	10 ー 45
	AM がよく受信できない。雑音が多い。	● AM ループアンテナの向きや位置を変えてみてください。 ● テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は切ってみてください。 ● アンテナ線の近くに電源コードや i. LINK ケーブルがある場合は離してください。 ● 受信状態が改善されない場合は、屋外アンテナを設置する方法もあります。	10 ー ー 45

なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなとき	ここを確認・処置してください	参照ページ
ディスク	演奏できない。 ディスクを入れても曲数などが表示されない。	● ディスクが表裏逆に入っていませんか。 ● 規格外のディスクを使っていませんか。 ● ディスクがひどく曲がったり傷ついたりしている場合は使用できません。 ● 寒いところから急に暖かいところへ持ってきたときなどに、レンズ部に露が付く場合があります。1時間ほど待ってください。	15 60 60 ー
	特定の箇所が演奏できない。	● ディスクが汚れている場合は､柔らかい布でふき取ってください。	60
	DTS の音声が聞こえない。	● “ デジタル出力 ” の設定が “ Off ” になっていませんか。 “ Bitstream ” に設定しなおしてください。	50
	“ DVD U11 ” が表示される。	● ディスクが汚れています。柔らかい布でふいてください。	60
	“ DVD H□□ ” が表示される。	● トラブルが生じました。電源を切ってから、電源プラグも抜いてください。しばらくしたら、もう一度、電源プラグを差し込み、正常に動作するか、確かめてください。 それでも、直っていない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	ー
	“ DISC/TAKE OUT ” が表示される。	● トラブルが生じました。トレイが自動的に開きますので、ディスクを取り出して、トレイを閉じてください。 しばらくの間、ディスクをチェンジしている音がしますが、すぐに正常に戻ります。	ー
	視聴制限の暗証番号を忘れた。	● 次の操作で本機をお買い上げ時の状態に戻して、制限を解除することができます。 停止状態で、本体の [■] を押しながら、リモコンの [≥10] を押す。 表示窓に “ INITIALIZE ” が表示され、テレビ画面には “ オールクリア ” と表示されます。	ー
	初期設定で変更した好みの言語や字幕にならない。	● ディスクによっては初期設定を変更して音声言語や字幕言語の設定をしても、ディスクの言語設定が優先されるため、好みの設定どおりにならない場合があります。	50、51

リモコン	リモコンが働かない。	● 乾電池の ⊕ ⊖ が逆に入っていませんか。 ● 本機との間に障害物はありませんか。 ● 電池が消耗している場合は、新しい電池と取り替えてください。	6 ー 6

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■ 修理を依頼されるとき

６４～６５ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、DVD ホームシアターサウンドシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

使いかた・お買い物のご相談は

フリーダイヤル（料金無料）　0120-878-365（パナは　３６５日）

３６５日／受付９時～２０時



Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444　　**Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087(パナ)-087(パナ)



●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

窓口	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

窓口	所在地	電話番号
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南/内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

窓口	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

窓口	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

窓口	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-1311
兵庫	神戸市中央区琴/緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

窓口	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(0839)86-4050

四国地区

窓口	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

窓口	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

窓口	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0900

必要なとき

よくお読みください

スピーカーについてのお知らせ

- 本機のスピーカーは、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム <防磁設計（EIAJ）> ですが、設置の仕方によっては、テレビに色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが起こるような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

※<防磁設計（EIAJ）> とは（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検　長年ご使用の DVD ホームシアターサウンドシステムの点検を!

こんな症状はありませんか		このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。
	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	▶

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

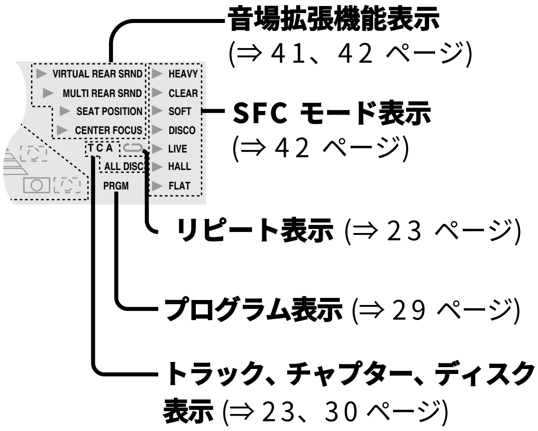
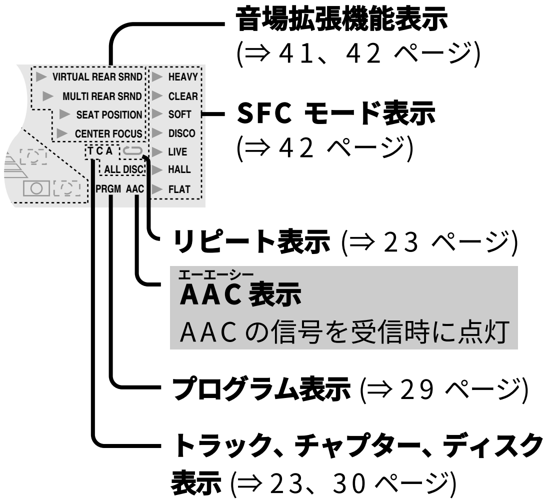
販売店名	☎（　　）　―	品番	SC-HT100
お客様ご相談窓口	☎（　　）　―	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　デジタルAVネットワーク事業部

〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

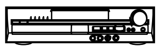
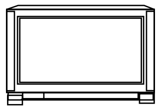
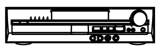
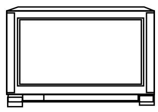
お詫びと訂正

説明書の下記ページの記載に誤りがありましたので、お詫びをすると共に訂正させていただきます。

該当ページ	（誤）	（正）
46 ページ	**お知らせ** テレビ（TV）音声入力、ビデオ（VCR）音声入力、補助入力（AUX）、i. LINK、光入力の各入力端子に接続した機器の音は、音声出力端子からは出力されません。	**お知らせ** テレビ（TV）音声入力、ビデオ（VCR）音声入力、補助入力（AUX）の各入力端子に接続した機器の音は、音声出力端子からは出力されません。 （i. LINK 端子、光入力端子に接続した機器の音は、音声出力端子から出力されます。）
48 ページ	**お知らせ** “ TV-ANALOG ”、“ VCR ”、“ AUX ”、“ TV-DIGITAL ”の入力を選んでも、外部機器には録音できません。	**お知らせ** ● “ TV-ANALOG ”、“ VCR ”、“ AUX ”の入力を選んでも、外部機器には録音できません。 ● i. LINK 端子、光入力端子に接続した機器から録音する場合は、[SELECTOR] を押して“ TV-DIGITAL ”を選んでください。録音機器は音声出力端子に接続してください。 （“ TV-DIGITAL ”を選んだ場合は、外部機器に録音できます。）
58 ページ		

お詫びと訂正

説明書の下記ページの記載に誤りがありましたので、お詫びをすると共に訂正させていただきます。

<table>
<tr><th>該当ページ</th><th>(誤)</th></tr>
<tr><td rowspan="3">57 ページ</td><td>
DVD ワンタッチ再生
ボタン1つでネットワークを操作し、DVD を再生します。
[DVD i. LINK 再生] を押す
右の動作が自動的に行われます。
お知らせ
● テレビの i. LINK 待機の設定を「する」にしておいてください。
※ テレビの初期設定メニューで、本機を接続しているビデオ入力の表示を「DVD サウンドシステム」に書き換えておく必要があります。
本機

● 電源「入」
テレビ

● 電源「入」
● 入力を「DVD サウンドシステム」に切り換える※
● DVD 再生開始
</td></tr>
<tr><th>(正)</th></tr>
<tr><td>
DVD ワンタッチ再生
ボタン1つでネットワークを操作し、DVD を再生します。
準備： 次の設定をテレビ側で行う必要があります。
● i. LINK 接続設定
● ビデオ入力の設定
詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
[DVD i. LINK 再生] を押す
右の動作が自動的に行われます。
お知らせ
テレビで映像を見るには、ビデオコード（付属）を接続してください。
（i. LINK ケーブルだけでは、映像は映りません。）
本機

● 電源「入」
テレビ

● 電源「入」
● ビデオ入力を切り換える
● DVD 再生開始
</td></tr>
</table>

BS DIGITAL(デジタル) ランプの表示について



BS DIGITAL ランプ

BS DIGITAL ランプは、i. LINK 接続した **BS デジタルテレビ**からデジタル信号が入力されたとき点灯します。